

# Corporate Social Responsibility

● 国際交流基金CSR連携事業



## 中国における 日系企業の 社会貢献活動に関する 調査報告書 [第3回調査]

# China

Philanthropic Activities by Japanese Companies in China



## はじめに

2008年のリーマンショックは、一企業の破綻が世界規模の経済危機・不況をもたらすという、グローバル化の負の側面を強く印象づけました。経済問題だけでなく、グローバル化に起因する問題を解決するためには、国境を越えた対話・交流を通じた相互理解や協働を推進する必要があり、政府機関やNGO/NPOなどの非営利団体のみならずグローバルに活動する企業などがそれぞれのセクターを越えて共同作業を行なうことが期待されます。

国際交流基金は、このような基本認識を踏まえ、海外で活動する日系企業との連携を推進するため、2007年1月に事業開発戦略室を設置し、企業との連携を通じたあらたな事業の開発に取り組んできました。具体的な活動としては、今回の中国での調査を含め、世界9カ国で「海外における日系企業の社会貢献活動」についての調査を実施し、8カ国で調査結果の報告を行うとともに、報告書を作成・発行して、日系企業間での調査結果に関する情報の共有化に貢献しました。

特に中国では、中国日本商会及び日系団体の協力により3回の「中国における日系企業による社会貢献活動」についての調査を実施しました。また中国国内への広報を通じて、中国における日系企業の社会貢献活動への理解の向上にも寄与しています。

このたび、中国日本商会をはじめとする中国各地の日系団体の協力のもと、特定非営利活動法人パブリックリソースセンターに委託して実施した、前述の「中国における日系企業の社会貢献活動の調査」についての報告書をまとめることとなりました。日本と中国は、経済面においても緊密な関係が構築され、両国の人的・文化的交流は飛躍的に拡大しましたが、さらに両国の相互理解を進展させていく上で、今回の調査結果が少しでもお役に立てば幸いです。

最後になりましたが、本調査を実施するにあたり、全面的にご協力いただいた中国日本商会をはじめとする中国各地の日系団体の皆様、本調査にご協力いただいた日中両国の皆様に対し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

2010年9月  
国際交流基金  
事業開発戦略室

# 目次

<b>本編</b>		
<b>第一章 国際交流基金のCSRとの連携事業の目的と概要</b>		4
1.1	国際交流基金が取り組むCSRとの連携・協力事業とは	4
1.2	中国におけるCSRとの連携事業の概要	5
1.3	報告書の構成、執筆者	6
<b>第二章 中国における日系企業の社会貢献活動に関する現況調査の結果</b>		7
2.1	中国における日系企業の社会貢献活動の課題に関するご意見伺い(アンケート調査)の調査概要	7
2.2	企業概要(進出時期、進出形態、事業内容、社員数と構成)	9
	(1)中国への日系企業の進出時期	9
	(2)中国での日系企業の進出形態	10
	(3)事業内容	10
	(4)総従業員数と日本人従業員の比率	11
2.3	企業活動にあたっての配慮、現地で独自に策定したCSR方針	13
	(1)中国社会への配慮としての企業活動の種類	13
	(2)現地で独自に策定したCSR方針とその内容	15
2.4	社会貢献活動の実施状況	17
	(1)社会貢献活動の実施状況	17
	(2)社会貢献活動の分野・形態	18
2.5	社会貢献活動の実施に必要なサポートと環境の変化	19
	(1)社会貢献活動の実施にあたって必要なサポート	19
	(2)社会貢献活動に関する変化	19
2.6	社会貢献活動を行っていない理由と今後の取り組み意欲	21
	(1)社会貢献活動を行っていない理由	21
	(2)今後の社会貢献活動の予定	21
<b>第三章 日系企業の社会貢献活動の事例の概況</b>		23
3.1	社会貢献活動の事例紹介に関する調査概要	23
3.2	社会貢献活動の事例紹介に関する調査結果	24
<b>第四章 日系企業インタビュー調査にみるCSR / 社会貢献活動事例</b>		31
4.1	日系企業インタビュー調査の概要	31
4.2	日系企業インタビュー調査結果	32
	(1)オムロン(中国)有限公司	32
	(2)キャノン(中国)有限公司	34
	(3)みずほコーポレート銀行(中国)有限公司	37
	(4)三井物産(中国)有限公司	40
	(5)大宇宙情報創造(中国)有限公司	42
	(6)東芝(中国)有限公司	45
	(7)株式会社パスコ 北京博思科空間信息技术有限公司(PASCO CHINA CORPORATION:PCC)	47
<b>第五章 日系企業の社会貢献活動に関するアンケート調査とインタビュー調査結果の考察</b>		50
<b>第六章 国際交流基金の取り組みについて</b>		53
6.1	中国における日系企業の社会貢献活動の促進のために	53
6.2	国際交流基金の今後の取り組み	53
<b>資料編 日系企業社会貢献活動事例データ</b>		56
I.	分野別社会貢献活動事例	56
II.	商工会議所別社会貢献活動事例	82



# 本 編

# C h i n a

Philanthropic Activities by Japanese Companies in China

## 第一章

# 国際交流基金のCSRとの連携事業の目的と概要

### 1.1 国際交流基金が取り組むCSRとの連携・協力事業とは

国際交流基金は、「はじめに」でも紹介したとおり、21世紀における国際社会の課題を解決するためには、従来の政府機関や財団・NPO／NGOなどの非政府機関に加え、グローバルに活動する企業や、近年注目を集めている社会起業家・イノベーターの参加が不可欠であり、これら多様なアクターの活動と連携・協力していくことの必要性を認識している。

以上の考え方に基づき、国際交流基金は2007年1月に事業開発戦略室を設置してCSRとの連携・協力事業に取り組んできている。

現時点での事業の目的と優先領域は以下のとおりである。

#### ・目的

海外における日系企業のCSRに対する取り組みと社会貢献活動に連携・協力することを通じて、国際社会の課題解決に向けた日本の官民双方の対話・交流・協働をさらに推進する。

#### ・優先領域

##### 調査

アンケートとインタビュー調査を通じて、海外における日系企業のCSRに対する取り組み及び社会貢献活動の現状を把握し、国際交流基金等の公的機関と日系企業との連携・協力の可能性を探る。

##### 情報共有・発信

調査結果を現地の日系企業や国内関係団体に報告し、情報共有を通じたCSRに対する取り組み及び社会貢献活動の推進に寄与する。また、調査結果の概要を現地の一般向けに広報し、日系企業のCSRに対する取り組みと社会貢献活動に対する理解の向上を図る。

##### 連携・協力

日系企業に対し情報提供やコンサルティングを行うことにより、特に国際交流・協力分野における日系企業の社会貢献活動の活発化に寄与する。また、国際交流基金と日系企業との共同事業の開発を通じて、パートナーシップに基づく連携・協力を推進する。

なお、事業の実施にあたっては、国際交流基金の公共性、公益性と、CSRの自立性、ステークホルダーへの社会的責任の観点から、以下の点に留意する。

#### ・イコール・パートナーシップ

CSRの基本は、企業のイニシアチブとステークホルダーに対する社会的責任を果たす点にある。このため、連携・協力にあたっては、各企業の自主性を最大限尊重する。また、共同事業を実施する場合には、国際交流基金と各企業の社会貢献活動のミッションが合致する領域を明確にし、双方のステークホルダーに十分説明できるよう配慮する。

・公共性／非営利性

国際交流基金は公的機関であり、国際社会における課題解決に向けた取り組みの一環としてCSRとの連携・協力をを行う。連携・協力にあたっては、公共性、非営利性の確保を原則とし、事業が特定の企業の営利活動や地位向上等に限定されないよう配慮する。

1.2 中国におけるCSRとの連携事業の概要

国際交流基金は、企業のCSRとの連携・協力の必要性を認識し、中国日本商会の協力のもと、2005年、2007年、2009年の3回にわたり「中国における日系企業による社会貢献活動に関するアンケート調査」を実施した。1回目、2回目の調査では、調査結果をもとに報告会の開催と報告書を作成・発行し、中国の日系企業間での調査結果に関する情報の共有化に貢献した。

3回目調査では、2回目と同様の下記の下記の3部から構成される内容についての調査を実施した。それぞれの調査結果については、2回目の調査結果との比較・分析の内容を含めて各章にて報告する。

- 中国における日系企業の社会貢献活動の課題に関するご意見伺い：「第二章」にて調査結果を報告（2回目の調査結果との比較・分析の内容を含む）
- 日系企業の社会貢献活動の事例調査：「第三章」にて調査結果を報告
- 日系企業インタビュー調査：「第四章」にて調査結果を報告

また、1回目、2回目の調査結果の報告会を兼ねた「日系団体代表者会議」を中国日本商会及び中国国内の日系団体の協力のもと、3回北京で開催し、日系企業間の社会貢献活動に関しての情報の共有化に貢献した。

- 2006年6月「第1回日系団体代表者会議」：2005年実施の1回目調査の結果報告
- 2006年11月「第2回日系団体代表者会議」：日系企業へのインタビュー調査の結果報告
- 2007年6月「第3回日系団体代表者会議」：2007年実施の2回目調査の結果報告

第3回日系団体代表者会議では、オムロン株式会社 立石信雄相談役（経団連CBCC委員長）を招へいし、「日本企業が中国社会からよりよい評価を得るために」と題した基調講演をいただいた。講演では中国国内で日系企業が活動を進める上で、社会貢献活動を含むCSR活動の重要性が高まる点が述べられた。

なお、2回目の調査、調査結果分析、報告書執筆、報告会（第3回会議）資料作成、及び3回目の調査、調査結果分析、報告書執筆の業務は、国際交流基金がパブリックリソースセンターに委託して実施した。

■事業概要

2005年8月－10月	1回目 日系企業による社会貢献活動調査
2006年4月	中国国内向け就職情報誌へ調査結果掲載
2006年6月	第1回 日系団体代表者会議
2006年6月	日系企業のヒアリング調査
2006年11月	第2回 日系団体代表者会議
2007年1月－4月	2回目 日系企業による社会貢献活動調査
2007年6月10日	第3回 日系団体代表者会議
2009年9月－11月	3回目 日系企業による社会貢献活動調査
2009年12月	日系企業のヒアリング調査

### 1.3 報告書の構成・執筆者

報告書は以下の構成としている。

第二章では、本報告書の中核となる調査結果の報告及び分析を行った。2回目の調査結果との比較・分析も行い、中国における日系企業の社会貢献活動の傾向や、今後、日系企業が中国で社会貢献活動を推進していくために求められる公的機関の支援の方向性を示す内容となっている。

また、第三章で、中国の日系企業の社会貢献活動事例のまとめと活動の特色を紹介し、第四章では、中国の日系企業の社会貢献活動を促進するため、日系企業へのインタビュー調査をもとに、具体的な社会貢献活動事例を紹介している。

第五章は、調査結果を踏まえて、今後、日系企業が中国での社会貢献活動を推進していくために必要とされる施策を提言の形でまとめると共に、第六章では、国際交流基金としての今後の取り組みの方向性を記載した。

最後に、アンケート調査及びヒアリング調査で収集した中国における日系企業の社会貢献活動事例を参考資料として掲載している。これらの事例を参考に、今後、中国における日系企業の方々が、さらに社会貢献活動を展開していただければ幸いである。

#### ■執筆者

第一章	富岡順一(国際交流基金事業開発戦略室室長) 小林立明(ニューヨーク日本文化センター副所長)
第二章 第三章 第四章	岸本幸子(パブリックリソースセンター事務局長) 武田麻子(パブリックリソースセンター プログラムオフィサー)
第五章	岸本幸子(パブリックリソースセンター事務局長) 武田麻子(パブリックリソースセンター プログラムオフィサー)
第六章	富岡順一(国際交流基金事業開発戦略室室長)

## 第二章

# 中国における日系企業の社会貢献活動に関する 現況調査の結果

## 2.1 中国における日系企業の社会貢献活動の課題に関するご意見伺い(アンケート調査) の調査概要

国際交流基金は「中国における日系企業の社会貢献活動の課題に関するご意見伺い」と題し、アンケート調査を実施した。調査概要は以下の通りである。なお本調査は2007年1月～3月に実施されたアンケート調査の第二回調査に位置づけられる。

- ◆調査方法：中国日本商会の協力のもとに、中国全土の日系団体(商工会議所等)の会員企業を対象に、「中国における日系企業の社会貢献活動の課題に関するご意見伺い」に関するWeb調査を実施した。なおWeb調査以外にも電子メールにて質問用紙を配布し、一部電子メールもしくはFAXにて回収した。
- ◆調査協力：中国日本商会
- ◆調査時期：2009年9月～11月
- ◆回答事業所数：388社（2007年1月～3月実施は353社）

調査項目は以下の通りである。

- (1)企業概要
- (2)CSR（企業の社会的責任）で特に配慮していること
- (3)社会貢献活動の実施状況
- (4)社会貢献活動の今後と必要なサポート
- (5)社会貢献活動を行っていない理由と今後の取り組み意欲

次節以降に調査結果を報告する。

なお調査結果の報告においては適宜、2007年1月～3月に実施された第一回目の「中国における日系企業の社会貢献活動に関する調査」と比較を行った。

日系団体及び商工会別のアンケート回答企業数を以下に示す（表2-1）。

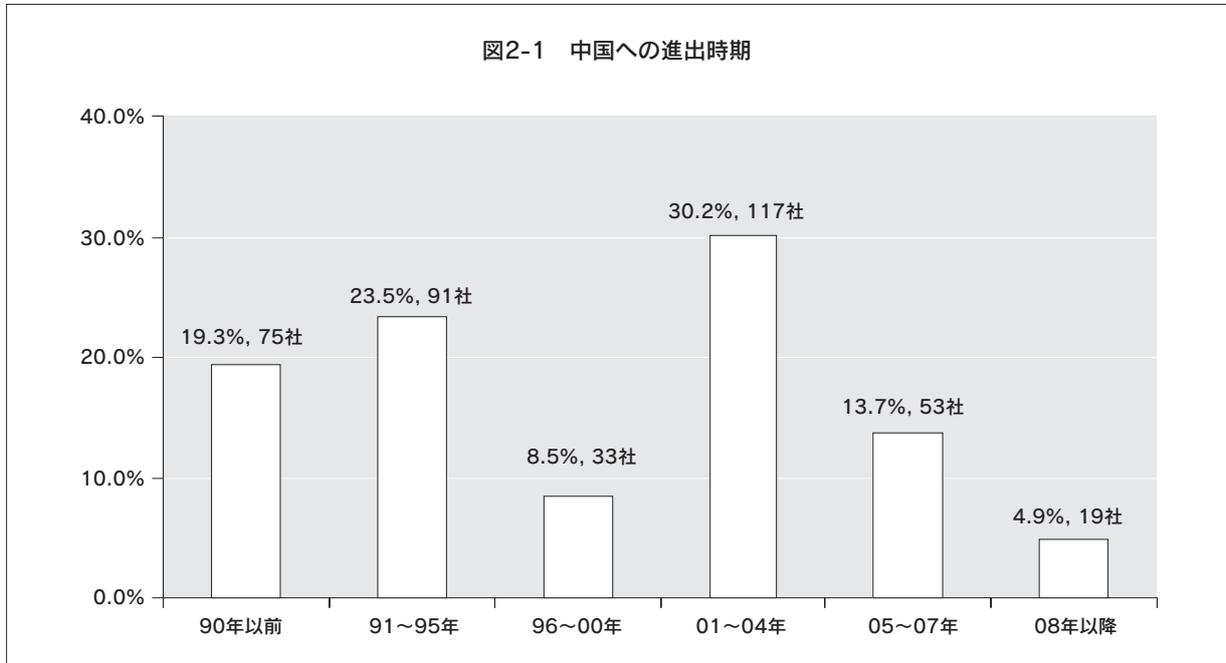
表2-1 日系団体／商工会別アンケート回答企業数

	回答数	%		回答数	%
全体	388	100	全体	388	100
中国日本商会	43	11.1	南通日本人会	1	0.3
上海日本商工クラブ	24	6.2	蘇州日商倶楽部	39	10.1
廊坊日本人会	2	0.5	無錫日本人会	9	2.3
天津日本人会	9	2.3	寧波市外商投資企業協会日商倶楽部	0	0.0
青島日本人会	22	5.7	昆山会	1	0.3
西安日本人クラブ	8	2.1	杭州商工クラブ	8	2.1
武漢日本商工クラブ	10	2.6	蕭山日商クラブ	5	1.3
烟台・威海日本人会	4	1.0	広州日本商工会	35	9.0
湖南省日本人会	2	0.5	深圳日本商工会	23	5.9
拉薩日本人会	0	0.0	珠海日本商工会	7	1.8
済南市日本人会	3	0.8	汕頭日本商工会	0	0.0
成都日本商工クラブ	7	1.8	廈門日本商工倶楽部	0	0.0
重慶日本クラブ	2	0.5	福州市日本企業会	5	1.3
雲南日本商工会	1	0.3	東莞長安鎮日商企業連絡事務所	0	0.0
瀋陽日本人会	0	0.0	惠州日本人会	6	1.5
大連日本商会	36	9.3	香港日本人商工会議所	60	15.5
長春日本商工会	5	1.3	香港日本人倶楽部	8	2.1
黒龍江省日本商工会	1	0.3	澳門日本会	0	0.0
南京日本商工クラブ	2	0.5			

## 2.2 企業概要(進出時期、進出形態、事業内容、社員数と構成)

### (1)中国への日系企業の進出時期

回答企業388社に対し、中国への進出時期について尋ねたところ、2001年から2004年が117社(30.2%)で最も多く、次いで1991年から1995年の91社(23.5%)であった(図2-1)。



今回の調査で、2008年以降の進出企業は19社で全体の約5%となる。今回の調査結果を2007年までの進出企業を100%として換算した場合、1996年以降に進出した企業の割合は2007年の調査に比較して減少している。一方1990年以前に進出した企業の割合は13.6%から19.3%と増加しており、前回調査に比べ、中国市場での事業期間の長い企業が多く回答しているといえる(表2-2)。

表2-2 中国への進出時期(前回調査との比較)

	2009年調査		2007年調査
	企業数	%	
90年以前	75	19.3%	13.6%
91~95年	91	23.5%	23.2%
96~00年	33	8.5%	12.7%
01~04年	117	30.2%	33.4%
05~07年	53	13.7%	16.4%
08年以降	19	4.9%	-

## (2)中国での日系企業の進出形態

回答企業388社に対し、中国への進出形態を尋ねたところ、現地法人が331社で全体の85.3%を占めた(図2-2)。現地法人と回答した企業331社の出資比率については、日本100%が206社(62.2%)であった(表2-3)。

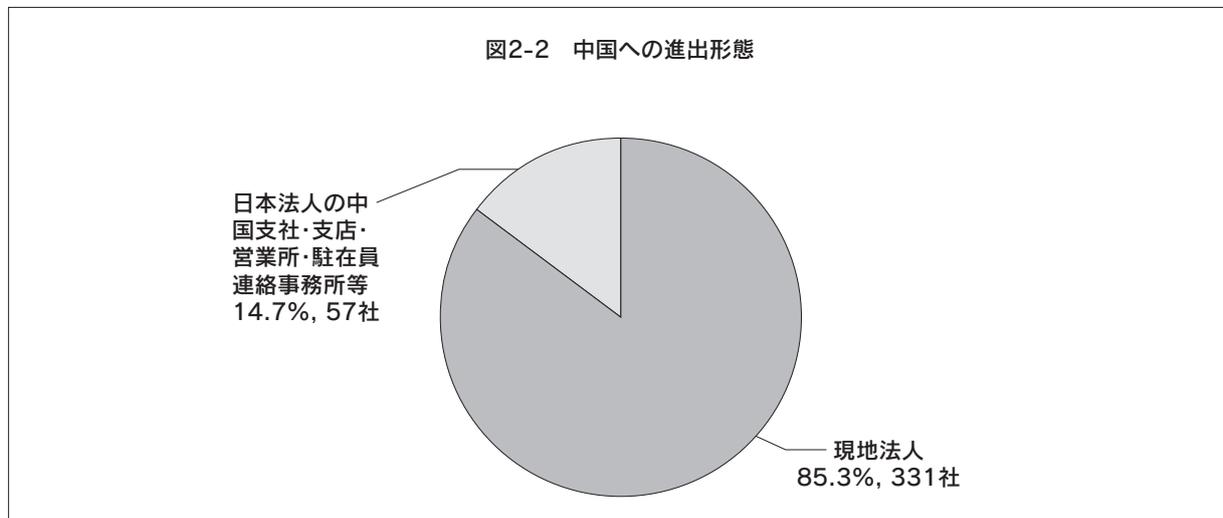


表2-3 現地法人の出資比率

出資比率	社数	割合
100%	206社	62.2%
50～99%	85社	25.7%
0～49%	40社	12.1%

## (3)事業内容

回答企業388社に対し、現在の事業内容について尋ねたところ、製造販売を含む「製造業」が236社(60.8%)、サービス業が152社(39.2%)であった(図2-3)。2007年調査と比較をしたところ、事業内容の内訳には大きな差異はみられなかった(表2-4)。

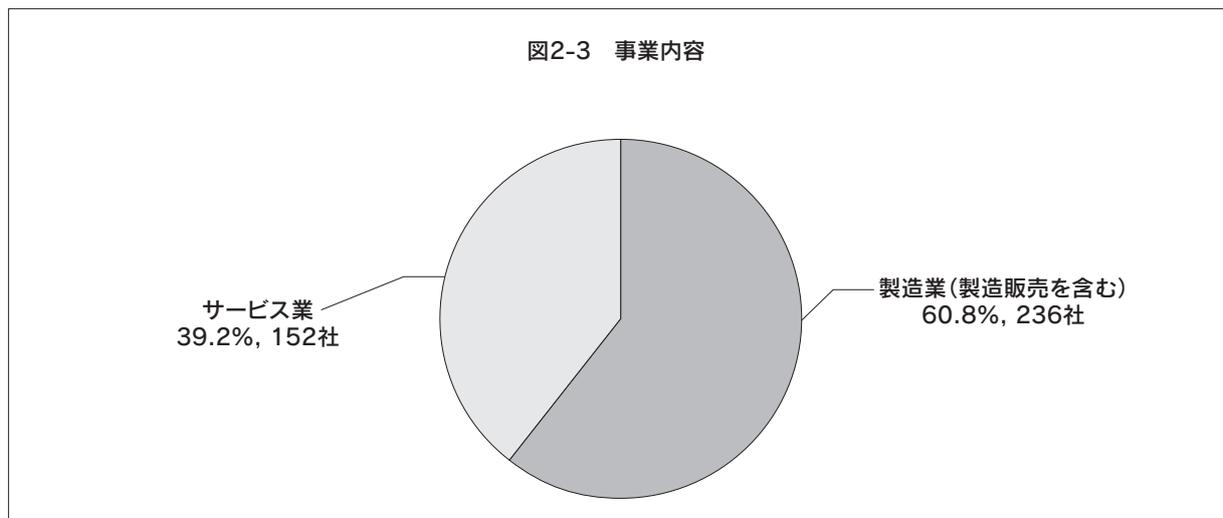
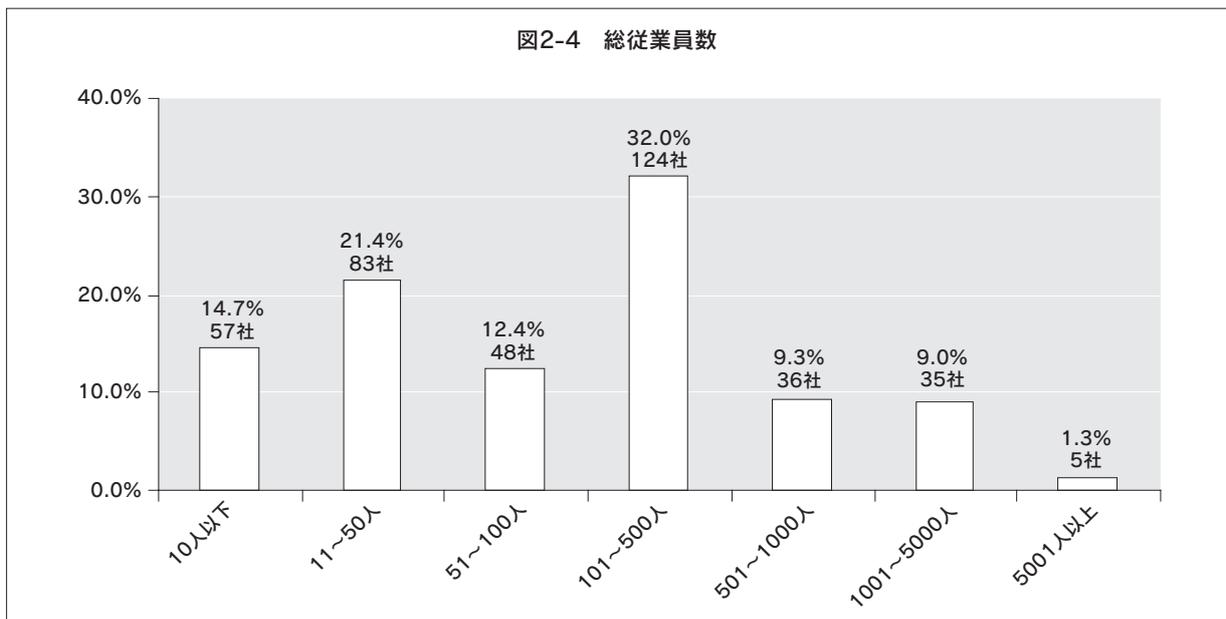


表2-2 中国への進出時期(前回調査との比較)

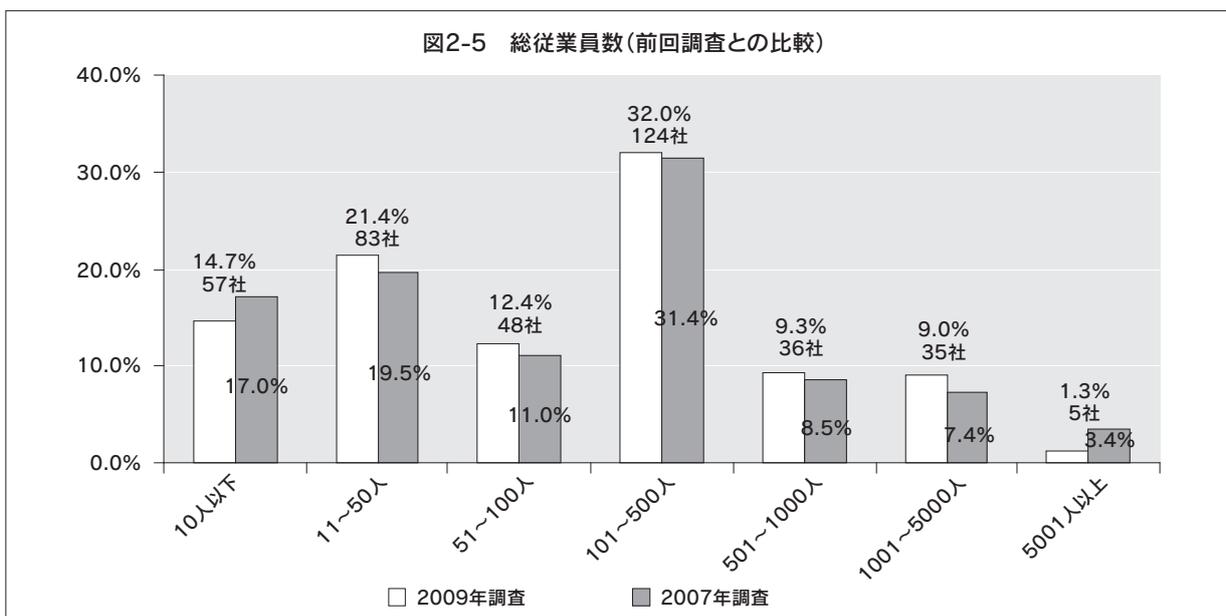
	2009年調査		2007年調査	
	社数	%	社数	%
合計	388	100	353	100
製造業(製造販売を含む)	236	60.8	209	59.2
サービス業	152	39.2	144	40.8

(4) 総従業員数と日本人従業員の比率

回答企業388社に対して総従業員数を尋ねたところ、101~500人がもっとも多く124社(32.0%)、次いで11~50人が83社(21.4%)であった(図2-4)。

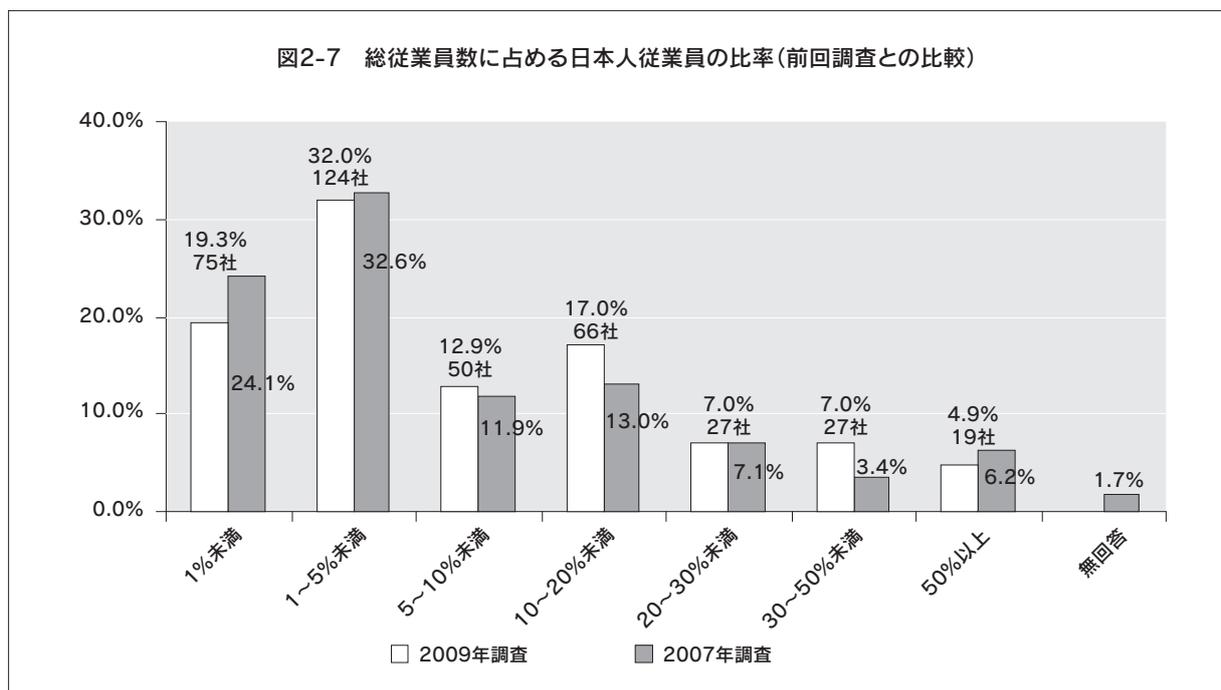
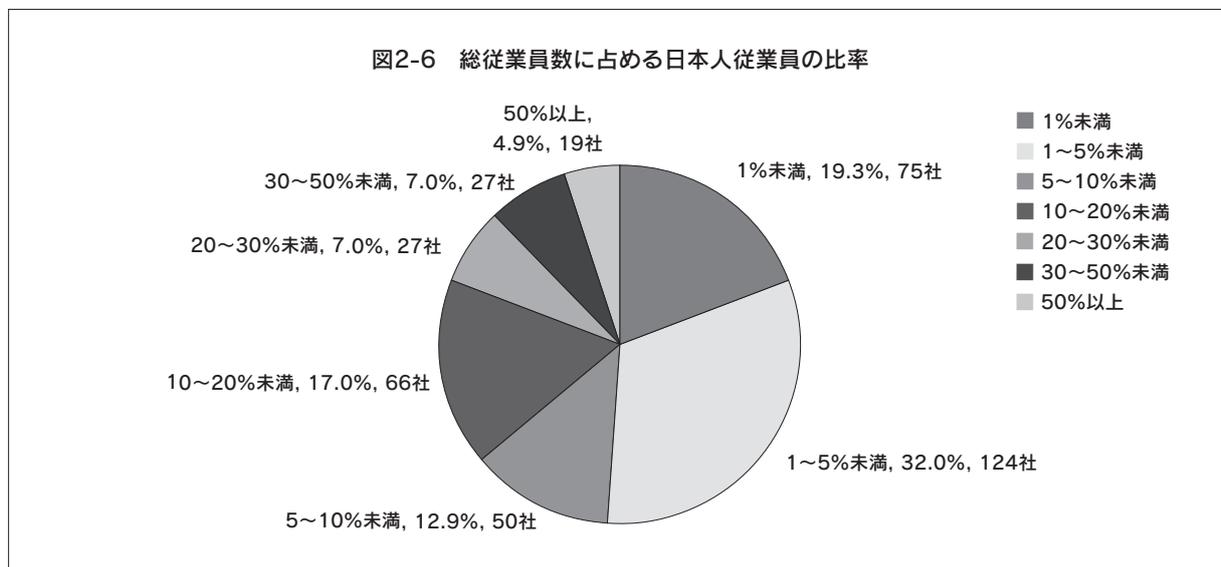


2007年調査と比較すると、従業員規模については大きな変化はないが、10人以下の企業の減少と5001人以上の企業の割合の増加の傾向がみられた(図2-5)。



回答企業388社について、前記の総従業員数と別設間の日本人従業員数をもとに日本従業員比率を算出したところ、1~5%未満が124社（32.0%）、次いで1%未満が75社（19.3%）となり、5%未満の企業が半数を超えた（図2-6）。

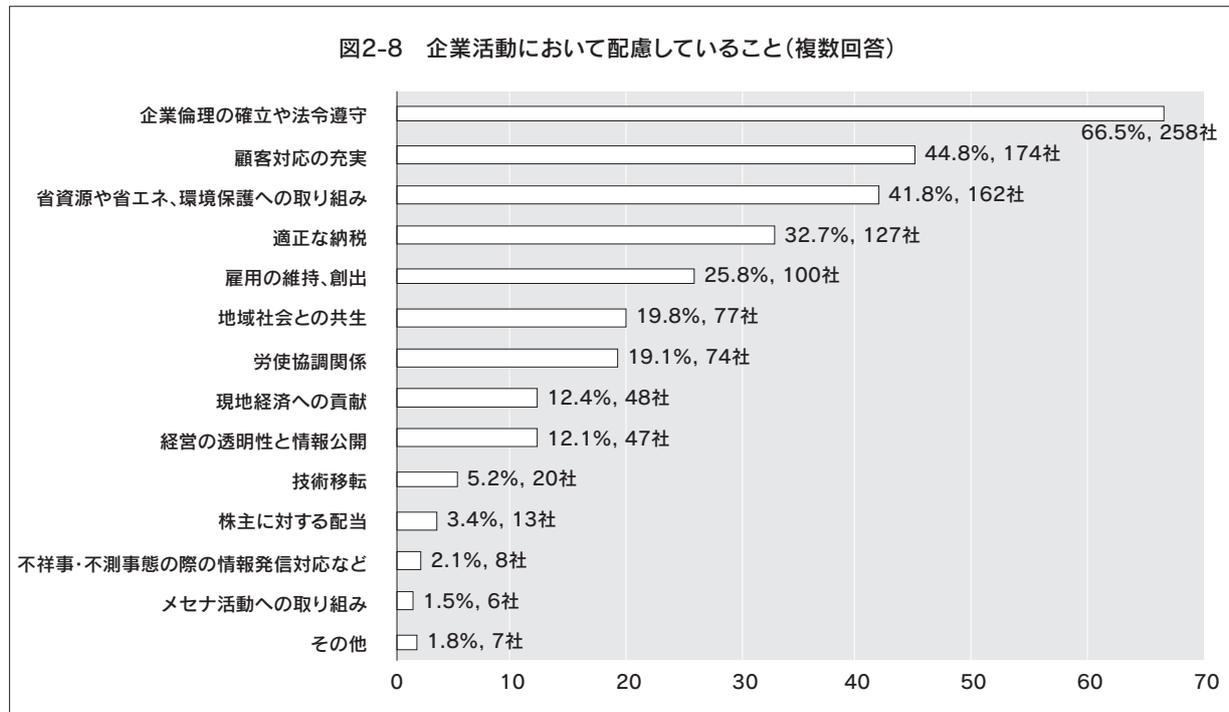
2007年調査と比較すると、日本人比率についても大きな差異はみられないが、日本人比率が1%未満の企業が減少し、10~20%未満の企業が増加している傾向がみられる（図2-7）。



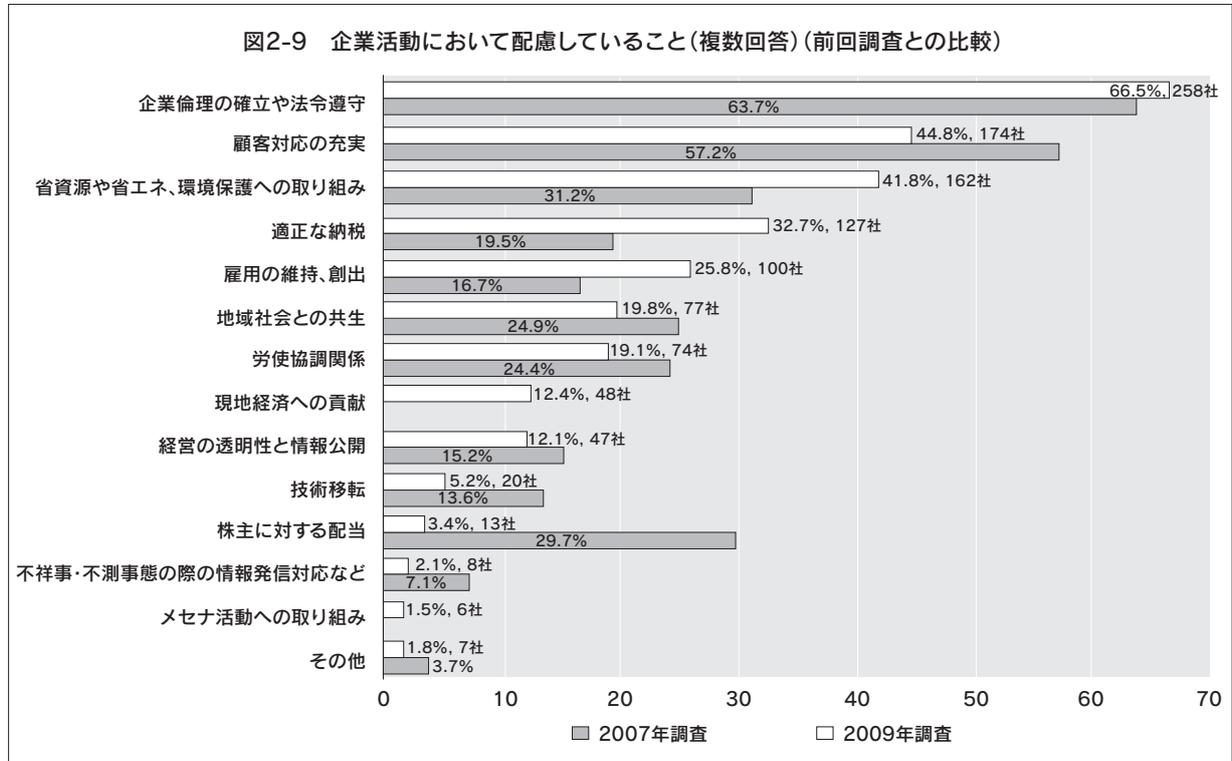
## 2.3 企業活動にあたっての配慮、現地で独自に策定したCSR方針

### (1) 中国社会への配慮としての企業活動の種類

回答企業388社に対して、中国で事業を進める上で企業市民として特に配慮していることを3つまで尋ねたところ、「企業倫理の確立や法令遵守」が最も多く258社（66.5%）、次いで「顧客対応の充実」が174社（44.8%）、「省資源や省エネ、環境保護への取り組み」が162社（41.8%）であった（図2-8）。

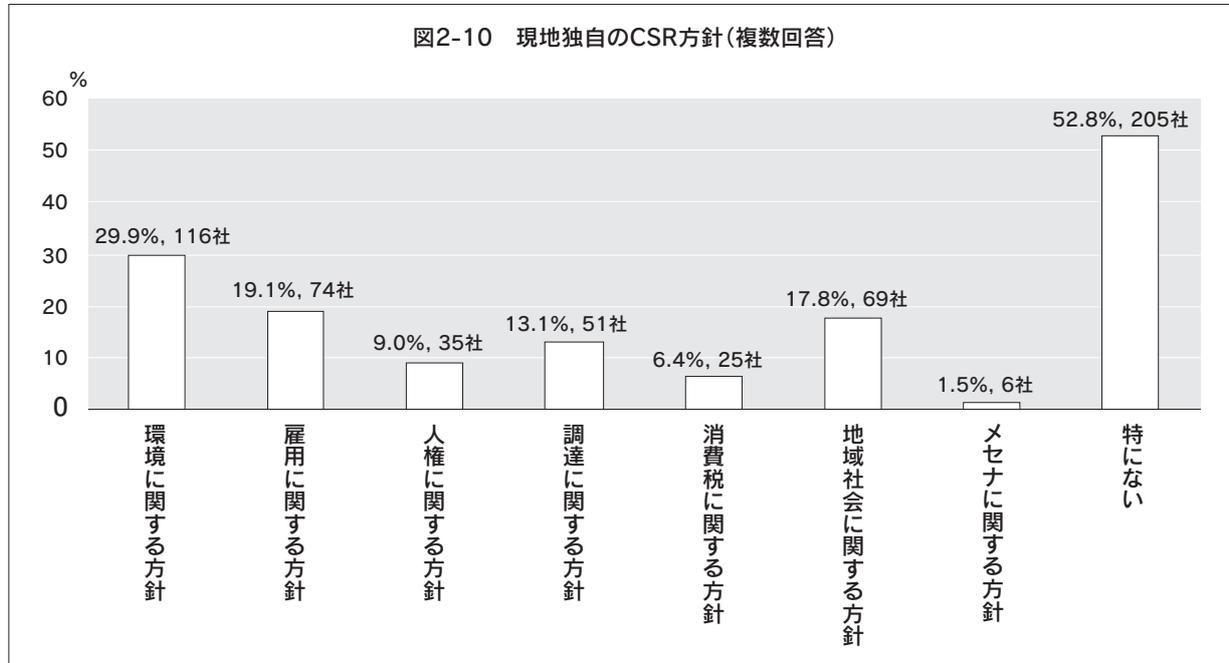


2007年調査と比較すると、最も多かった「企業倫理の確立や法令遵守」は前回と同様であった。「省資源や省エネ、環境保護への取り組み」「適切な納税」「雇用の維持、創出」などの回答は、今回増加している。なお、「現地経済への貢献」「メセナ活動への取り組み」は今回調査より新たに追加された項目である。「株主に対する配当」の回答が減少しているのは、2007年調査時期の中国経済の好況などに起因して一時的に配当意識が高まった可能性が考えられる（図2-9）。



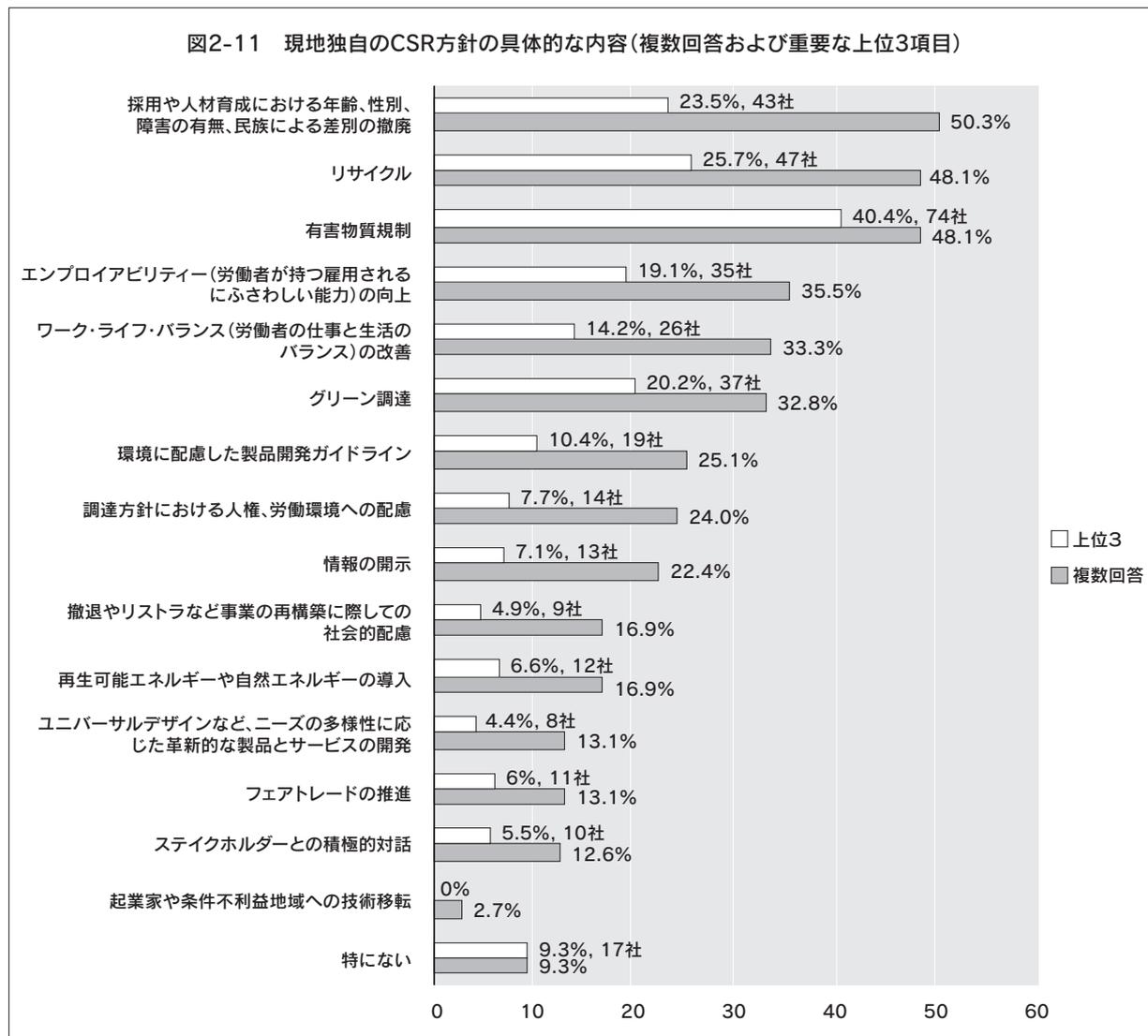
(2)現地で独自に策定したCSR方針とその内容

回答企業388社に対して、日本本社とは別に、現地で独自にCSR方針を策定しているかを尋ねたところ、特に策定していない企業が半数を超える205社（52.8%）であったが、183社は独自に策定していた。その内容は「環境に関する方針」が最も多く116社（29.9%）、次いで「雇用に関する方針」が74社（19.1%）、「地域社会に関する方針」が69社（17.8%）であった（図2-10）。



さらに、現地で独自にCSR方針を策定している183社にその具体的な内容を複数回答で尋ねたところ、「採用や人材育成における年齢、性別、障害の有無、民族による差別の撤廃」が50.3%で最も多く、次いで「リサイクル」「有害物質規制」がそれぞれ48.1%であった。

また回答のあった具体的な項目のうち重要なものを上位3つまで回答してもらったところ、最も多かったのは「有害物質規制」で74社（40.4%）、次いで「リサイクル」47社（25.7%）という結果となった（図2-11）。

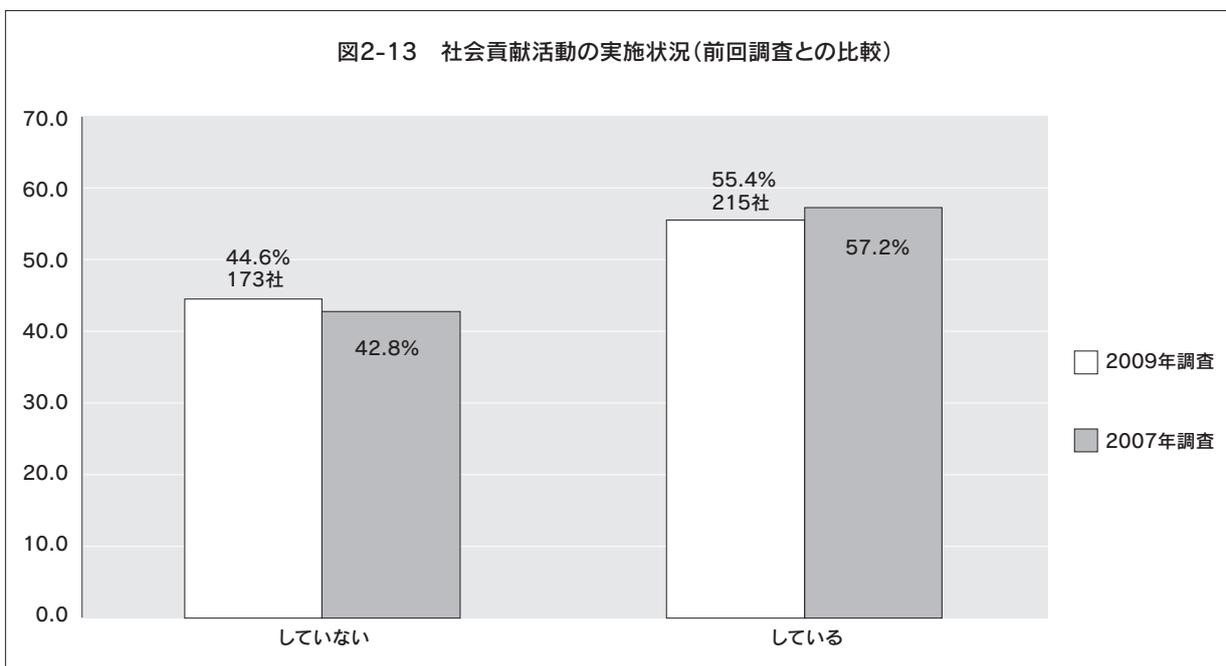
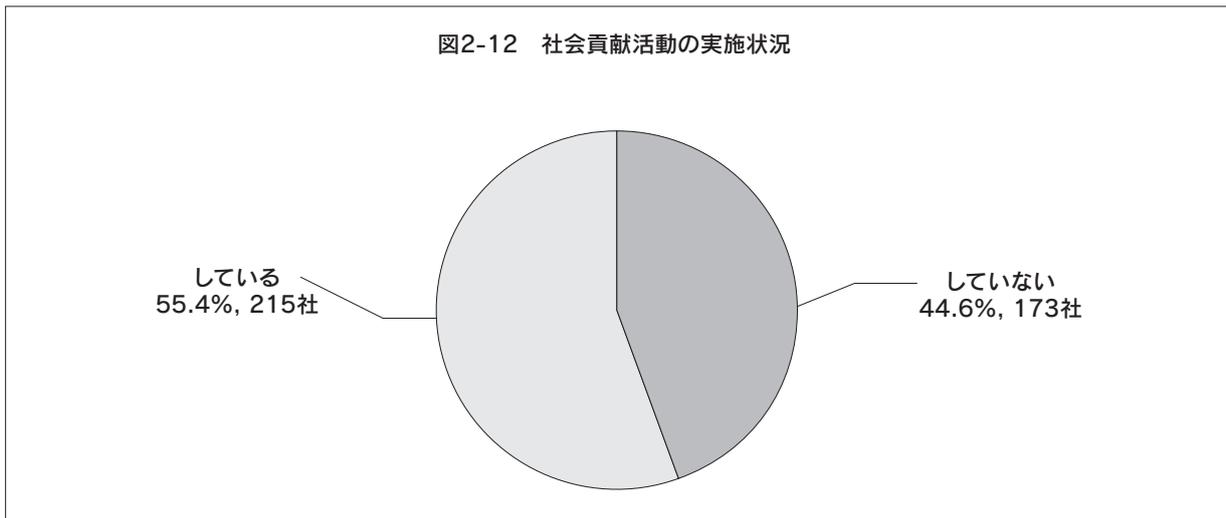


## 2.4 社会貢献活動の実施状況

### (1) 社会貢献活動の実施状況

回答企業388社に対して、現在の社会貢献活動の実施状況を尋ねたところ、すでに社会貢献活動に取り組んでいる企業は215社（55.4%）、実施していない企業は173社（44.6%）であった（図2-12）。

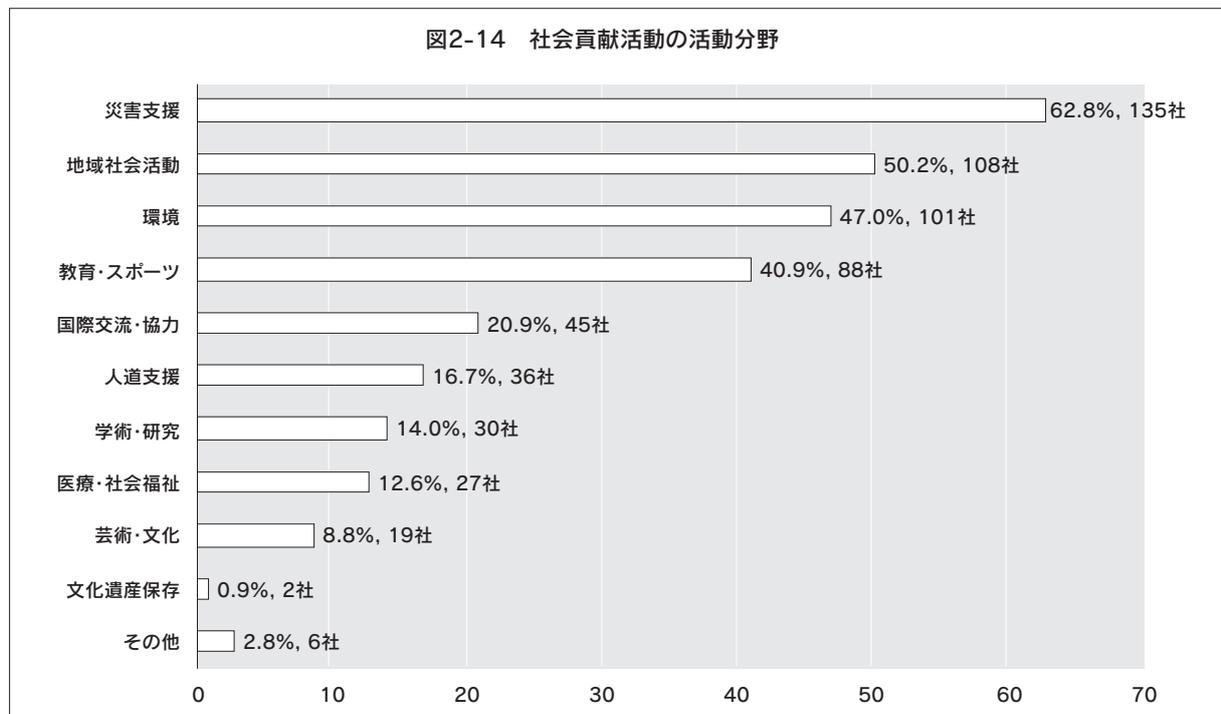
これを2007年調査と比較すると、実施している企業が1.8ポイントとわずかながら減少の傾向にある（図2-13）。



## (2)社会貢献活動の分野・形態

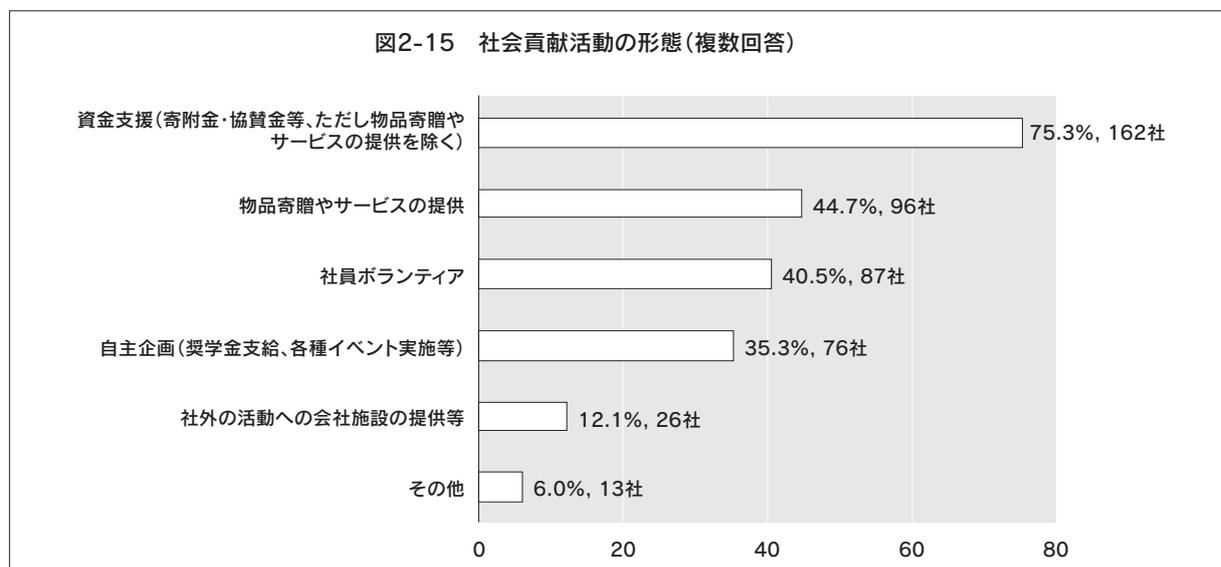
### (イ)社会貢献活動の活動分野

社会貢献活動を実施していると回答した215社に対して複数回答で活動分野を尋ねたところ、「災害支援」が最も多く135社（62.8%）、次いで「地域社会活動」108社（50.2%）、「環境」101社（47.0%）、「教育・スポーツ」88社（40.9%）の順となった（図2-14）。



### (ロ)社会貢献活動の形態

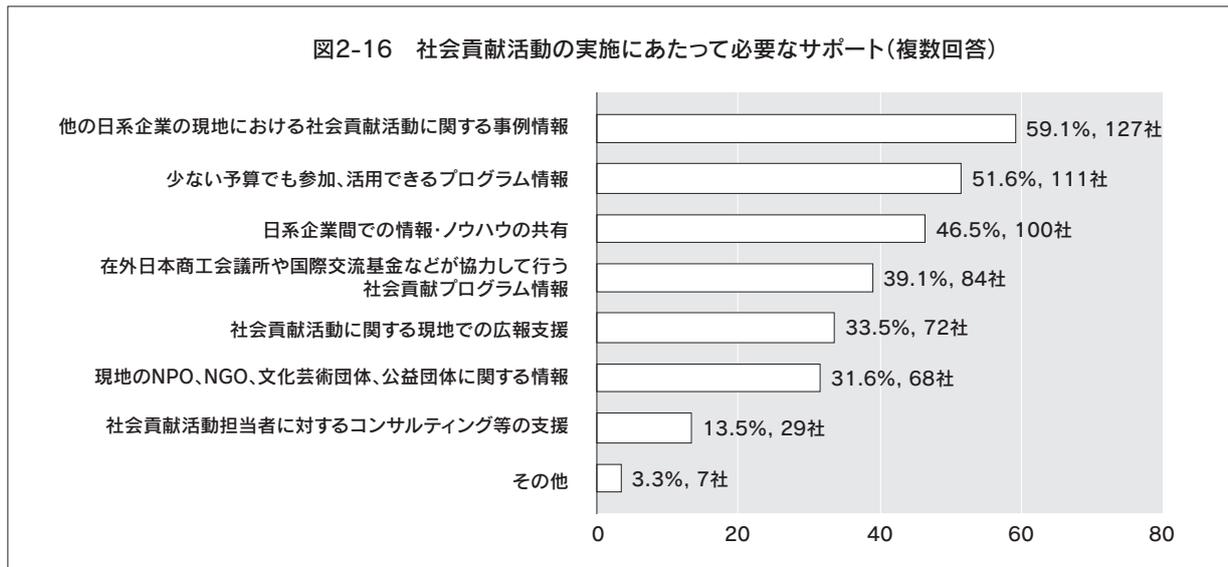
社会貢献活動を実施している215社に対し、社会貢献活動の形態について複数回答で尋ねたところ、「資金支援（寄附金・協賛金等、ただし物品寄贈やサービスの提供を除く）」が最も多く162社（75.3%）、「物品寄贈やサービスの提供」が96社（44.7%）、「社員ボランティア」が87社（40.5%）であった（図2-15）。



## 2.5 社会貢献活動の実施に必要なサポートと環境の変化

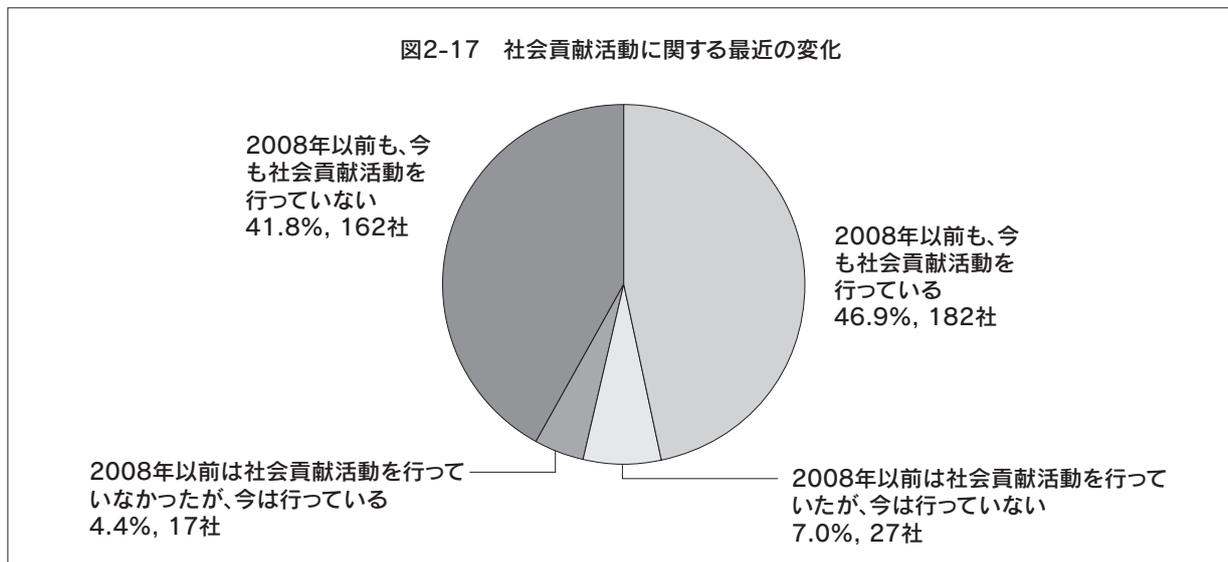
### (1) 社会貢献活動の実施にあたって必要なサポート

回答企業388社に対し、社会貢献活動を効果的に展開する上で必要なサポートは何かを複数回答で尋ねたところ、「他の日系企業の現地における社会貢献活動に関する事例情報」が最も多く127社（59.1%）、次いで「少ない予算でも参加、活用できるプログラム情報」111社（51.6%）、「日系企業間での情報・ノウハウの共有」が100社（46.5%）であった（図2-16）。

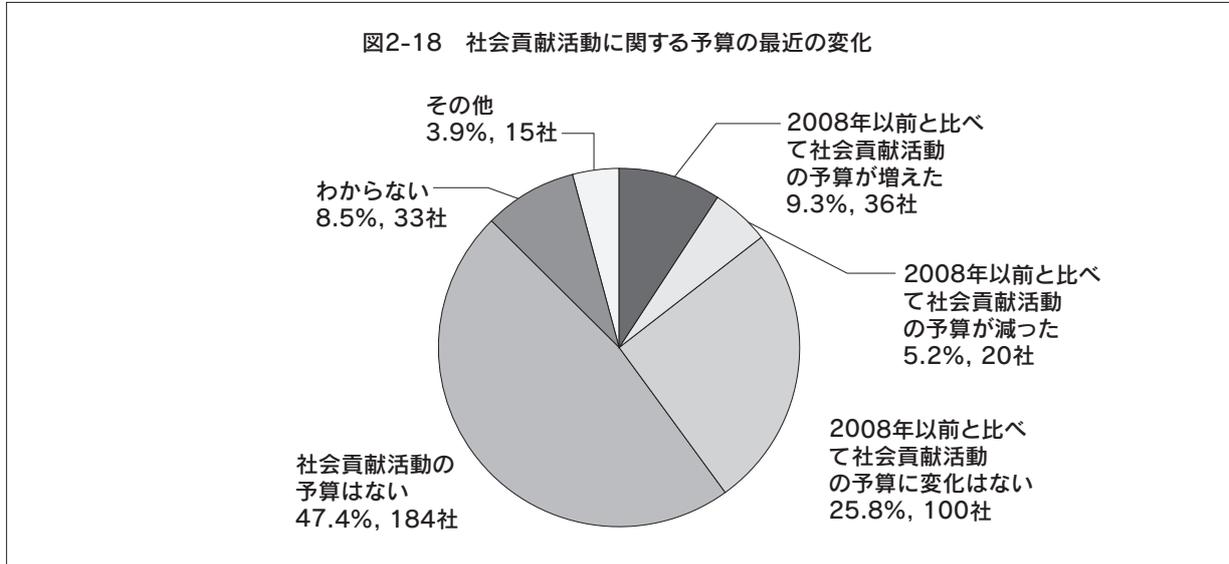


### (2) 社会貢献活動に関する変化

回答企業388社に対し、社会貢献活動に関する最近の変化について尋ねたところ、「2008年以前も、今も社会貢献活動を行っている」と回答した企業は182社（46.9%）、「2008年以前も、今も社会貢献活動は行っていない」企業が162社（41.8%）でおよそ9割の企業が変化はないとしているが、17社（4.4%）が「2008年以前は行っていなかったが、今は行っている」、27社（7.0%）が「2008年以前は行っていたが、今は行っていない」と回答している（図2-17）。



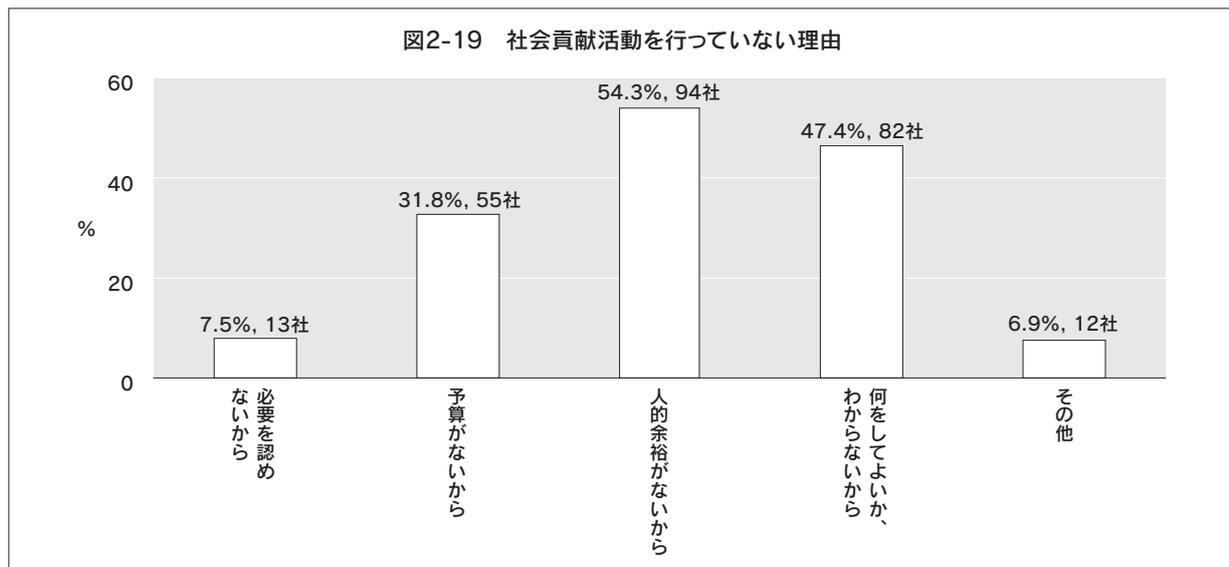
また、回答企業388社に対し、社会貢献活動に関する予算の最近の変化について尋ねたところ、2008年以前と比べ社会貢献活動の「予算が増えた」が36社（9.3%）、「予算に変化はない」が100社（25.8%）であった。「予算が減った」は20社（5.2%）にとどまったが、「予算はない」との回答が184社（47.4%）と半数近くにのぼった（図2-18）。



## 2.6 社会貢献活動を行っていない理由と今後の取り組み意欲

### (1) 社会貢献活動を行っていない理由

社会貢献活動を実施していないと回答した173社に対し、行っていない理由について2つまで尋ねたところ、最も多いのが「人的余裕がない」で、94社（54.3%）であった。次いで「何をしてもよいかかわからない」が82社（47.4%）、「予算がない」が55社（31.8%）であった。「必要を認めない」と回答する企業は13社（7.5%）であった（図2-19）。



### (2) 今後の社会貢献活動の予定

社会貢献活動を行っていないと回答した173社に対し、今後社会貢献活動を行う予定について尋ねたところ、「行う計画がない」とする企業が95社（54.9%）、「検討中」が68社（39.3%）で、「行う計画がある」と回答した企業は10社（5.8%）にとどまった（図2-20）。

社会貢献活動を行う計画がある10社に対し、社会貢献活動を展開する上で必要なサポートは何かを尋ねたところ、「他の日系企業の現地における社会貢献活動に関する事例情報」をあげた企業が7社、「日系企業間での情報・ノウハウの共有」をあげた企業が6社あった（図2-21）。

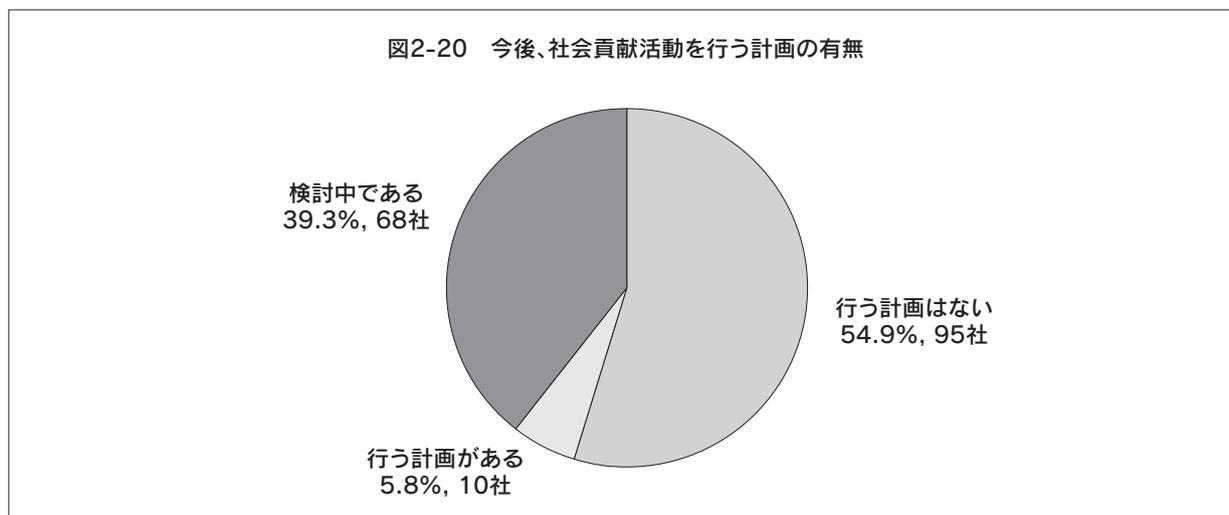
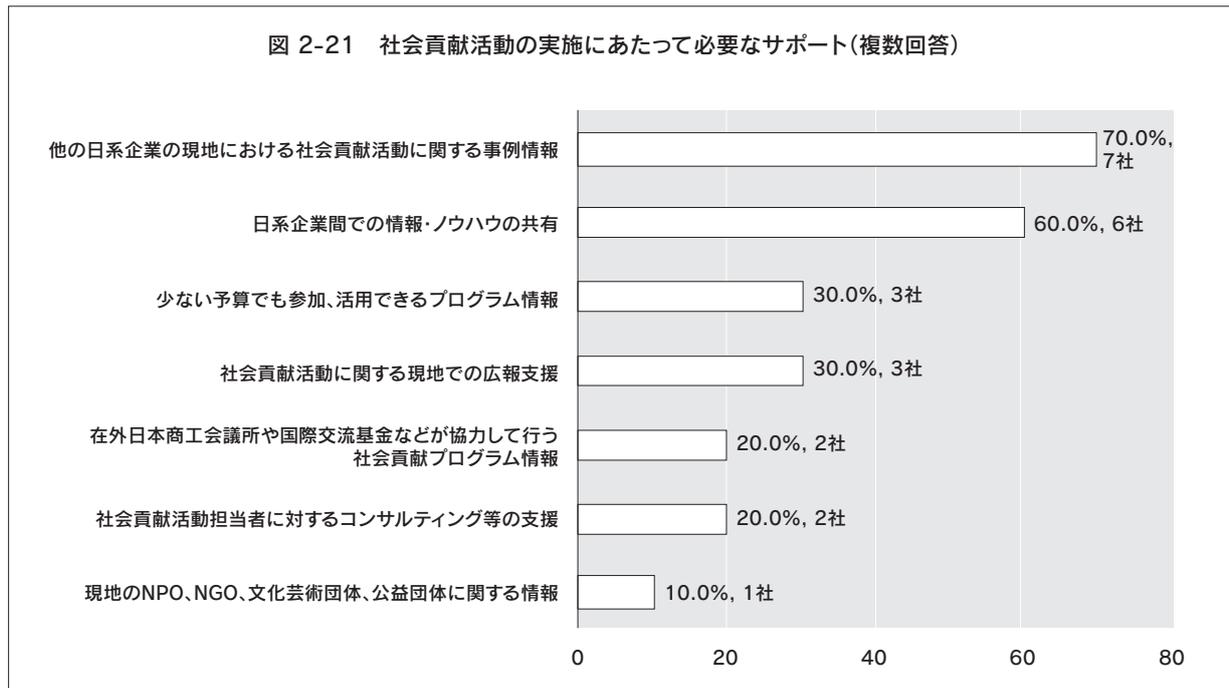


図 2-21 社会貢献活動の実施にあたって必要なサポート(複数回答)



## 第三章

# 日系企業の社会貢献活動の事例の概況

### 3.1 社会貢献活動の事例紹介に関する調査概要

国際交流基金は「中国における日系企業の社会貢献活動の課題に関するご意見伺い」の調査と同時に、「社会貢献活動の事例紹介」に関する調査も行った。調査概要は以下の通りである。

- ◆調査方法：中国日本商会の協力のもとに、中国全土の日系団体（商工会議所等）の会員企業を対象に、「中国における日系企業の社会貢献活動の事例紹介」と題したWeb調査を設置し実施した。なおWeb調査以外にも電子メールにて質問用紙を配布し、一部電子メールもしくはFAXにて回収した。
- ◆調査協力：中国日本商会
- ◆調査時期：2009年9月～11月
- ◆回答事例件数：447件（2007年1～3月調査237件）

調査項目は以下の通りである。

<事例>

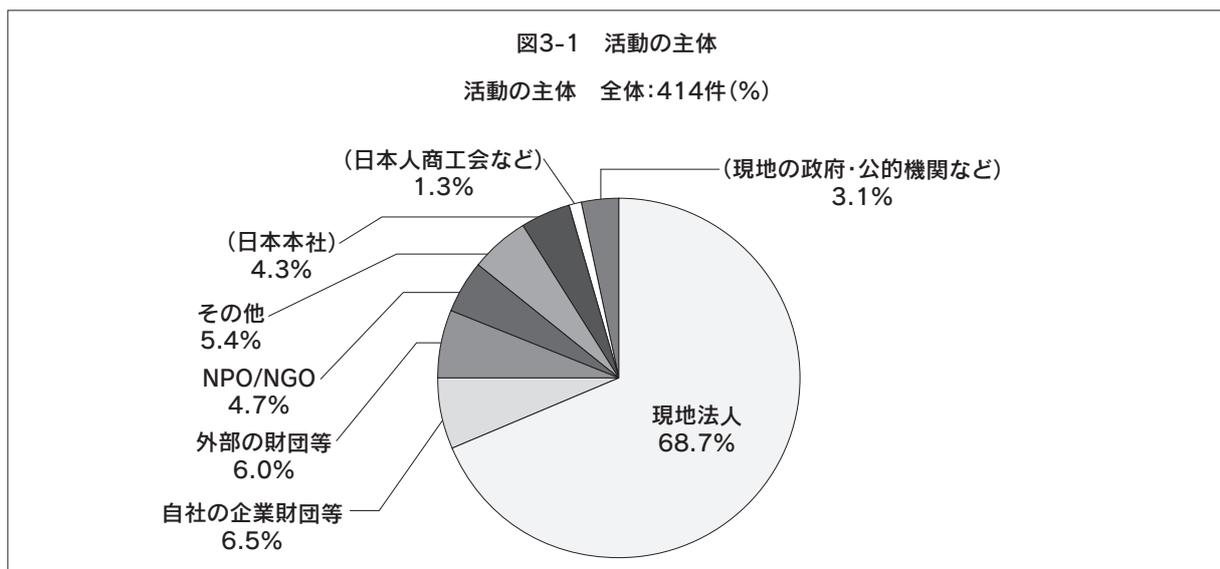
- (1)事業名
- (2)活動主体
- (3)活動分野
- (4)活動形態
- (5)活動時期
- (6)実施場所
- (7)関係団体
- (8)活動の概要
- (9)四川大地震関連の活動：2008年5月に発生した四川大地震への支援状況を把握するために、回答事例について四川大地震関連の活動であったかを尋ねた。

### 3.2 社会貢献活動の事例紹介に関する調査結果

#### (1)活動主体

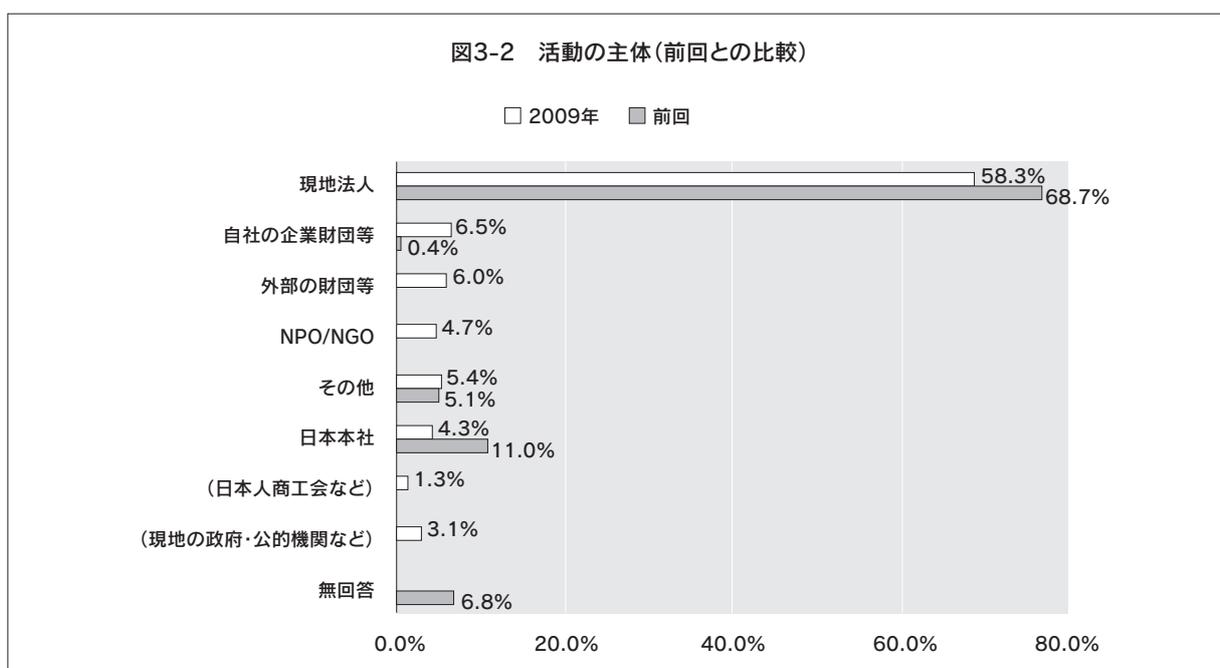
活動の主体は現地法人が約7割を占めた。

しかし前回調査に比べると、現地法人や日本本社の割合はやや減少している。今回より選択肢に加えた第三者機関である外部の財団やNPO / NGOはそれぞれ6.0%と4.7%で、外部機関との連携が増えていることがうかがえる。



注) 外部財団およびNPO / NGOは2009年調査より選択肢として追加

( )内の日本本社、日本人商工会、現地の政府・公的機関などは、「その他」回答から最終集計

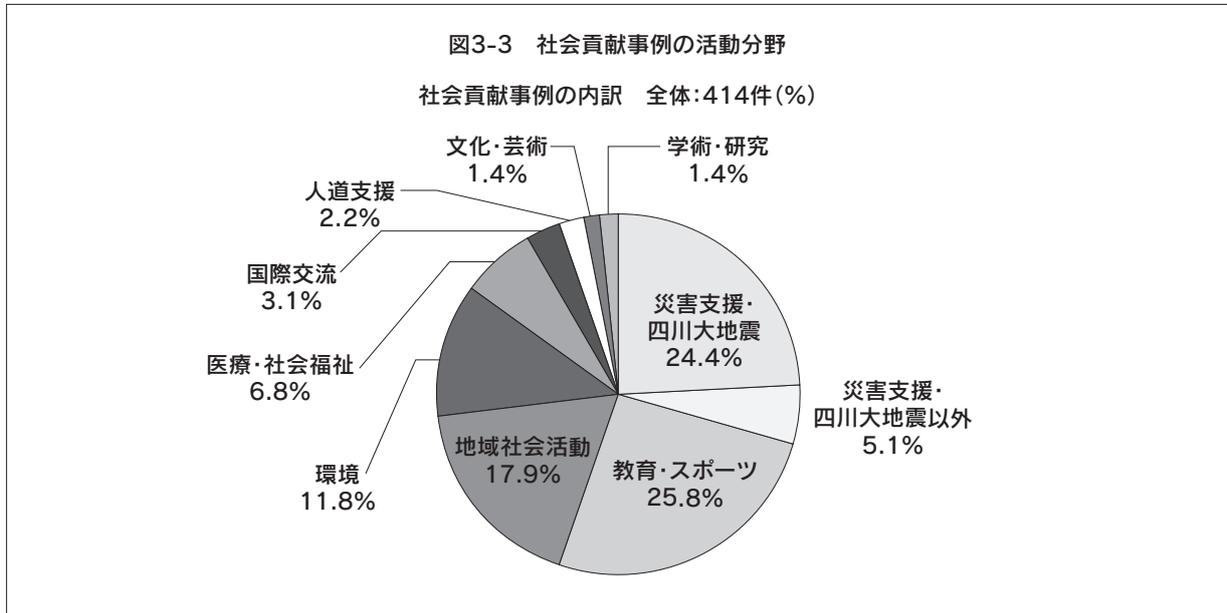


注) 前回・今回ともに回答された回答項目のみ比較

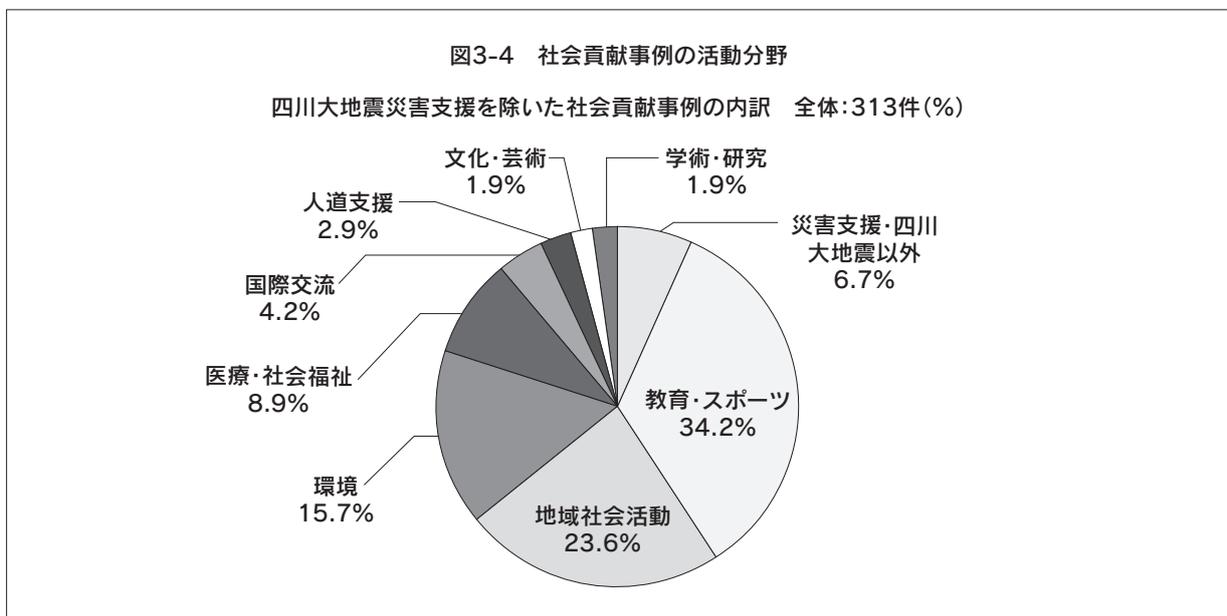
外部の財団、NPO / NGO、日本人商工会、現地の政府・公的機関は前回は集計なし

(2)活動分野

社会貢献事例は414件が寄せられた。そのうち約4分の1の24.4%が四川大地震関連の災害支援であった。そのほか、教育・スポーツ（25.8%）、地域社会活動（17.9%）、環境（11.8%）の順であった（図3-3）。



四川大地震の災害支援を除いた場合、教育・スポーツ分野での活動が34.2%となり、災害支援は教育・スポーツ、地域社会活動、環境、医療・社会福祉に次いで5番目の活動内容である（図3-4）。

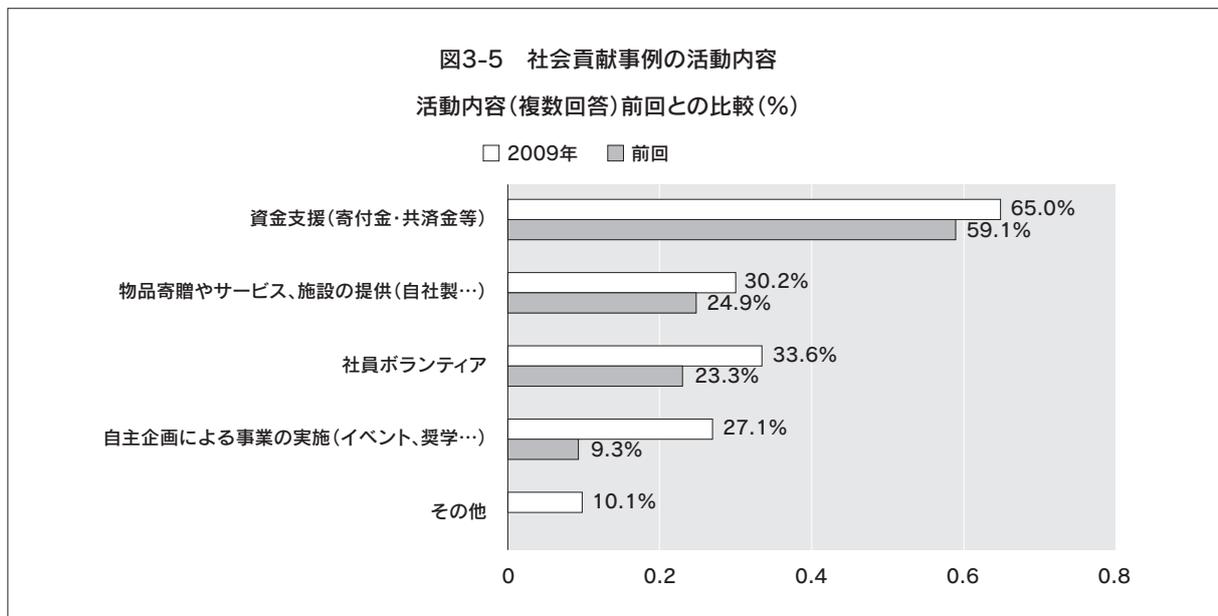


注) 教育・スポーツには大学での交流や講演実施など国際交流の要素を含む活動も含まれる。  
また地域社会活動には、事業所周辺の清掃や植樹など環境美化活動が含まれる。

### (3)活動内容

活動内容としては資金支援が65.0%と最も多く、次いで物品寄贈やサービス等、社員ボランティア、自主企画による事業の実施が30%前後と同程度となっている。

資金の提供が主流であることは変わらないものの、前回調査からの変化として、実施率の低かった自主企画による事業の実施率が9.3%から27.1%と増加して、物品寄贈等や社員ボランティアと同程度の実施率となった。



注) 前回・今回ともに回答された回答項目のみ比較

#### (4)事例にみる社会貢献活動の特色

##### ①災害支援

2008年5月に発生した四川大地震には多くの日系企業が義援金や物資援助を行った。現地法人にとどまらず、日系企業グループ総体として大規模の支援金を供出する企業もみられた。また従業員による自発的な募金活動も活発だった。四川地域に拠点を置かない企業でも被災した同胞を支援する動きがみられ、日系企業側でも中国の従業員意識を尊重し積極的にバックアップしていたことがうかがわれる。

援助の手段としては義損金・寄付の提供が大半を占める中、それらの用途を学校修復・建設および被災した子供たちに特化している事例も多かった。

表3-1 災害支援の主な事例

活動分野	項目	活動事例項目
災害支援(122件) うち四川大地震関連 (101件)	募金・寄付・義援金・ 物資提供(102件)	・被災地への資金援助が120件中102件
		・資金の集め方は、社内での募金活動、本社を含めたグループ会社での支援資金の収集が主な手段
		・支援資金／物資提供は、各地の赤十字や自社基金、中国の中央政府／地方行政などのほか、NPOやNGOを通じての活動
		・物資提供には車両、発電機や照明器具など被災地に必要な自社製品も含まれる
		・1000本の映画上映や、50の図書館への図書寄贈など、被災者の心のケアを目的とする活動も
	学校・子供支援(17件)	・学校再建資金の提供や、被災孤児や貧困層の子供たちへ寄付など、義援金の用途を子供向けに指定
		・被災地の大学など高等教育機関への奨学金提供も
	本業による支援(2件)	・被災地の状況把握のために通信衛星データを関係機関に提供
		・自然水から飲料水を生産するユニット寄贈
	文化遺産保護(1件)	・被災地の貴重な文化遺産を保護するための長期プロジェクトの設立

##### ②教育

教育・スポーツ分野は、災害支援に次いで2番目の件数となった。教育に関する支援には3つの類型がみられた。第一に小中学校の建設支援や学費援助、学習に必要な物品の提供など、子供の教育に関する活動が数多くみられる。農村地帯や都市部の一部経済的に困難な家庭の子供を支援する傾向がみられる。初等教育だけではなく、大学でも経済的に困難な苦学生向けの奨学金を提供する企業もあった。

第二に次世代リーダー層や技術者の育成支援も活発で、奨学金提供や日本での研修などを実施している。次世代のリーダーとなり得る成績優秀な生徒への奨学金提供や日本での研修などを実施している例

が多かった。

第三に日中の青年交流の場の提供がある。大学での特別講座の実施や学生交流セミナーを通じて若者世代の相互理解を深めるイベントなどが、企業単体で、あるいは商工会や政府・経済関係団体など関係団体との連携のもとで開催されていた。

スポーツに関しては地域イベントの資金・施設提供などに加え、ハイレベルな障害者スポーツをバックアップするなど、社会性のあるスポーツ支援も行われている。

表3-2 教育支援の主な事例

活動分野	項目	活動事例項目
教育スポーツ(107件)	小中学校支援(40件)	・学校建設支援
		・農村部での学校建設と教育物資の提供
		・恵まれない子供たちへの教育支援
		・事業と関連する分野についてボランティア授業
	奨学金(25件)	・経済的に困難な学生への奨学金提供
		・成績優秀な学生援助
		・事業に関連する特定分野を学ぶ学生を援助
	日本語学習支援(9件)	・日本語講座の開設
		・日本語図書、資料の提供
		・学生交流会
		・日本語職業訓練の実施
		・日本語弁論大会
	スポーツ(11件)	・地域スポーツ活動の支援
		・ハイレベルな障害者スポーツ支援
教育イベント(8件)	・特別講義の実施	
	・大学の交流プログラム支援	
	・各種コンテストの実施	
日本人学校支援(4件)	・事業に関連する分野の課外授業ボランティア	
インターン(4件)	・インターン生の受け入れ	
基金設立(5件)	・奨学金提供などを目的とした基金の設立	

### ③地域社会活動

地域社会活動については、事業所周辺の清掃や植樹などの環境・美化活動や周辺施設への資金・物資援助など、前回調査時に引き続き活発に取り組まれていた。中国での生産・製造体制が定着し、従業員の会社への帰属意識を高めることも念頭におき、従業員の住む地域への貢献を中心に、地域社会とのコミュニケーションが進められている。

**表3-3 地域社会活動の主な事例**

活動分野	項目	活動事例項目
地域社会活動(74件)	環境・美化活動(35件)	・事業所周辺の清掃活動、植樹活動、公共の場所の清掃活動、およびエコバック配布やアースアワーの消灯イベントへの参加など
	資金・物資支援(20件)	・事業所周辺の団体、公共施設や福祉施設への資金および社内で収集したものを福田物資提供、募金活動参加
	地域イベント(6件)	・工場や職場見学会の実施、地域の文化催事への参加など
	交通安全(4件)	・地域の安全教育、交通整理や横断歩道整備などへの資金援助
	社員ボランティア(3件)	・社員による環境、福祉ボランティア活動
	地域子供支援(3件)	・地域の子供を対象とした学費支援
	雇用(3件)	・地域従業員に対する福利厚生や障害者雇用、募金と抱き合わせたビジネスカジュアル出勤デーの設置など

**④環境**

砂漠化が進行している地域や緑化を必要とする地域への植林活動を継続しているのに加え、動物保護活動なども立ち上がっている。教育現場での環境教育にも積極的で、急速に進む環境への関心や環境に関する法制化の動きに敏感に対応していることがうかがえる。

**表3-4 教育支援の主な事例**

活動分野	項目	活動事例項目
環境(49件)	植林(24件)	・モンゴルや各地域での植林活動、砂漠化防止と緑化が目的であることが多い
	環境教育(13件)	・小中学校での環境教育の実施、環境に関する技術やノウハウを伝授する講座やセミナーの開催、環境に関する表彰やコンテスト支援など
	環境プロジェクト(9件)	・緑化活動や動物保護を目的としたプロジェクトの実施、自社廃棄物の環境影響度を測定する設備導入も
	基金・資金物資援助など(3件)	・緑化や自然保護の基金への支援や緑化推進のための土地提供など

### ⑤医療・社会福祉

障害者施設や老人ホーム、孤児院などへの援助のほか、HIVや乳がん、白内障などの特定疾病への医療援助がみられる。また重病を患う同僚への治療費の募金など、同僚を思いやる活動が社内で社会貢献として認識されている例もあった。

表3-5 医療・社会福祉支援の主な事例

活動分野	項目	活動事例項目
医療社会福祉(28件)	福祉施設援助(17件)	・身体障害者、知的障害者、老人ホーム、孤児院などへの資金・物資支援と社員ボランティアによる訪問など
	献血(4件)	・社員ボランティアによる献血
	医療施設援助(4件)	・HIV、乳がん関連の活動と白内障治療への支援
		・農村の医療設備拡充の支援
	社員援助(2件)	・重病を患う社員の治療費を募金で収集
福祉イベント参加(1件)	・社員ボランティアで福祉イベントWalk for Millionに参加、会社からイベントへ寄付	

### ⑥国際交流、学術・研究

国際交流や学術研究の分野では、政府機関や経済団体を巻き込んだ規模のイベントが開催されつつあり、特に日中の次世代リーダーや技術者養成に関心が高いことがうかがえる。また反日感情や歴史認識をめぐる確執を解消することで、より実業界での日中での相互理解を深めようとする積極的な動きがみられた。

表3-6 医療・社会福祉支援の主な事例

活動分野	項目	活動事例項目
国際交流(13件)	国際ビジネス交流(6件)	・政府機関や経済団体に関連する日中のビジネス交流機会への参画支援
	青年交流(7件)	・日中の学生の相互交流を目的としたプログラムで交流会や企業訪問、ホームステイなどで互いの生活文化を体感
活動分野	項目	活動事例項目
学術・研究(6件)	研究プロジェクト支援(4件)	・日中の次世代リーダー育成や日本研究、若手研究者への日本での研修機会提供など

## 第四章

# 日系企業インタビュー調査にみるCSR / 社会貢献活動事例

国際交流基金が2009年に中国において行ったインタビュー調査にもとづき、先進的な社会貢献活動事例における取り組みの内容、ねらい、課題について報告する。

### 4.1 日系企業インタビュー調査の概要

#### ◆調査担当

国際交流基金

特定非営利活動法人パブリックリソースセンター

#### ◆取材先

下記の皆様に貴重なお話をお伺いいたしました。ご協力に感謝申し上げます。

2009年12月7日

オムロン（中国）有限公司

経営企画室 CSRグループ グループ長：Ms. JIA WEI

経営企画室 CSR委員：Ms. Hui Son

2009年12月8日

キヤノン（中国）有限公司

社長：小澤秀樹氏

上級副社長兼コーポレートコミュニケーション部ディレクター：鈴木敬二氏

同部マネージャー：古賀崇文氏

同部アシスタントマネージャー（CSR担当）：顧梅氏

みずほコーポレート銀行（中国）有限公司

北京支店 総務課/資金為替課 課長：武沢弘貴氏

三井物産（中国）有限公司

総経理：上井傑氏

業務部部长：鳥居秀明氏

業務部経理（マネージャー）：Ms. LIU YUBING

2009年12月9日

大宇宙情報創造（中国）有限公司

董事長：中山国慶氏

大宇宙ジャパン株式会社

営業企画部部长：本江思帆氏

東芝（中国）有限公司

執行役常務・中国総代表：田中孝明氏

2009年12月10日

株式会社パスコ

北京博思科空間信息技术有限公司

Director of China：佐藤充氏

## 4.2 日系企業インタビュー調査結果

### (1) オムロン（中国）有限公司

#### (i) 事業概要

- 中国への進出年と進出の経緯

1991年 オムロン（中国）有限公司設立。

1994年 中国に地域統轄会社（OMRON（CHINA）CO.,LTD.）を設立。

2006年 中国上海に制御システムのグローバル中核拠点が開業。

オムロン中国は1991年と製造業としては比較的早期に生産拠点のひとつとして中国に進出。進出以降しばらくは生産拠点として稼働していたが、近年特に2005年以降、生産機能に加え開発・営業機能を強化するなど中国事業の活性化が顕著である。現在オムロンのグローバル総売り上げの約10%、従業員数としては全社員の3分の1をオムロン中国が占めるに至る。2006年には主要事業の制御システムのグローバル拠点を中国に設置するなど、オムロングループにおいて中核的な存在となっている。

- 従業員、事業所数と構成等

従業員数：中国全体で13,463人（2009年3月31日）

本社機能：4拠点（北京、上海、香港、深圳）

生産工場：8社（大連、上海、蘇州、東莞、深圳、広州、台北）

開発：大連、上海ほか3社

集中購買：広州ほか2社2拠点

販売：約70拠点

#### (ii) 社会貢献活動の内容

- ① 5月10日創業記念日「オムロンデー」の活動
- ② エコボラン活動
- ③ 障害者就業への支援

##### ① 5月10日創業記念日「オムロンデー」の活動

オムロンでは、1991年より毎年オムロンの創業記念日である5月10日を「オムロンデー」と定め、全社的に社員が社会によいことを実践することを奨励している。中国では清掃活動や植樹、障害者・高齢者施設の訪問や無料血圧測定などオムロンならではのボランティアなども実施している。オムロンデーに際しては社内でポスターが掲示され、全社的に社会貢献活動を実践する日として定着している。

##### ② エコボラン活動

環境に配慮した行動やボランティア活動をポイント化、各部署で従業員がポイントを自己申請し積み立て累計を金額に換算、その金額を各種社会貢献活動資金とするもの。各部署での競争もあり「よいことへの目標設定に対してもりあがる」など、社内の活性化に貢献している。

### ③障害者就業への支援

2005年に中国の全拠点で法定障害者雇用率を超えることを決議し、各拠点で障害者雇用を促進しており、一部を除き2009年時点で法定雇用率を超えた。また年300万元の障害者関連施設・イベントへの寄付を3年間継続している。また1991年の中国進出時より工場建設にあたってバリアフリー工場を導入しており中国における障害者雇用の先駆けともなっている。

### (iii)取り組みの背景、特徴、ねらい

オムロン（中国）有限公司では、企業の社会的責任（CSR）に関する方針の本社と海外拠点での共有が徹底されている。その基盤となるのが社憲の頂点に掲げられる「企業は社会の公器である」という基本理念であり、CSR方針は基本理念に立脚している。CSR方針は、経済・環境・社会を軸に、

- 1) 事業を通じてよりよい社会をつくること
- 2) 企業活動を進めるうえで、常に公明正大であること
- 3) 社会が抱える課題に当事者として自ら取り組むこと

をテーマに据えているが、経済・環境・社会のパラダイムシフトに留意しながら、常に取り組みの見直しを実施している。中国でのCSR活動は、A)法令順守、B)ステークホルダーコミュニケーション、C)ビジネス活動による貢献、D)企業市民・社会貢献活動の4つの領域を設定し、それぞれの領域でのプログラムを企画実践している。今回とりあげた3つの社会貢献活動も、D)企業市民・社会貢献活動やA)法令遵守に伴う人権尊重としての障害者雇用など、中国におけるCSR領域設定に沿って立ち上げられたものだ。全社の経営理念・基本方針をベースに中国における具体的なCSR活動方針を定めロードマップを策定、着実に「オムロンらしい」CSRを実践しているといえる。

オムロン（中国）有限公司における社会貢献活動は、オムロンデー活動など地域社会との共生、エコボラン活動に見られる社員の環境意識の育成や就労以外の活動を通じた社員の一体感・コミュニケーションの促進、そして障害者雇用や障害者関連事業やイベントへの貢献など、地域社会・社内・人権と幅広い分野で成果が確認できる。また、CSRを推進するチームのヘッドに中国人女性を登用し、より中国社会に密着した社会貢献活動を推進しようとする姿勢が確認できる。

### (iv)今後に向けて

今後に向けては、

- CSR教育活動
- CSR企業認定

の2点での取り組みを視野にいれている。CSR教育活動については幹部・中堅社員を対象にコミュニケーションや仕事と生活のバランスなど幅広い項目で研修を行い、社員の能力や忠誠心の向上およびCSR先進企業の一員としての自覚の育成を期待する。CSR企業認定は2008年に浦東新区が策定した「CSRガイドライン」「CSR評価指標」に基づく任意のCSR認定の開始に伴い上海地区の拠点が申請を行うもので、CSR企業としてのステータスの向上やメディア効果および行政の優遇政策に期待ができる。当社のCSR活動も教育や具体的な社会貢献活動が軌道に乗り、より組織的なCSRの定着と企業の価値付けのフェイズに進みつつあるといえる。

## (2)キヤノン（中国）有限公司

### (i)事業概要

- 中国大陸への進出年と進出の経緯

1979年 周恩来元総理夫人の鄧女史のキヤノン訪問をきっかけに、1984年より湛江、天津の複写機機器の関連企業と技術提携

1985 - 88年 広州、北京、上海に駐在員事務所を設立

1989年以降 中国大陸各地に生産拠点を設立

1997年 キヤノン（中国）有限公司を設立。その後、アジアマーケティンググループの本部を同社北京本社に移転、ならびに中国の国内販売権を取得。中国を生産拠点としてだけでなく、大きなマーケットとしてとらえ、販売拠点の拡充のほか、QRC（Quick Response & Repair Center）の設立など、カスタマーサービスの充実を図る。

- 従業員、事業所数と構成等

従業員数：1423人（2009年12月末）

支社・支店：16（本部：北京）

サテライトオフィス：長沙、昆明

華北（北京）、華東（上海）、華南（広州）の3大地区を拠点として、全国販売、サービスネットワークを構成している。

### (ii)社会貢献活動の内容

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①Earth Hour（地球消灯1時間）</li> <li>②キヤノン緑援使者2009</li> <li>③植樹活動</li> <li>④「映像・希望の光」プログラム</li> <li>⑤「チャン族」文化保護プログラム</li> <li>⑥四川大地震後の人道支援活動</li> <li>その他、多数</li> </ul> |
|---|

#### ①Earth Hour（地球消灯1時間）

WWFによる地球温暖化の防止を呼びかける国際的なキャンペーン「地球一小时（Earth Hour）」に欧州や米国のグループ会社とともに参画。キヤノン中国を含むキヤノンアジアマーケティンググループ8社において、約3,800人の社員およびその家族・友人が参加した。イントラネットやポスターなどを活用し、積極的な社内PRを展開することでより多くの社員の参加を促進し、キヤノン中国はWWF中国から「Earth Hour 2009企業参与最佳創意賞」を与えられた。社員ひとりひとりが企業市民としての意識をもって環境活動に参加することを期待するとともに、社内の一体感の醸成に大きく寄与している。

参加にあたってはキヤノン社員らしく、消灯時間中に各自が行った様子の写真を撮影し、後日社内展示するなど、参加意識を促すおもしろみのある企画も行っている。

## ② キヤノン緑援使者 2009

キヤノンのコア事業である映像分野の技術・製品を活かし、自然保護や生物多様性の維持に貢献しようとする取り組みで、2008年までは自然保護区のスタッフに対して、撮影技術の研修を行った。2009年から、大学生に自然保護区における生態や地元経済発展の実態調査などの貴重な社会実践の場を提供、あわせて研究に必要な資金や研修も協賛している。中国の主要大学から多くのチームが応募、初年度は5大学のチームが参加メンバーとして選考された。さらに2009年以降に規模の拡大した活動企画は、キヤノン中国が提案し中国野生動物保護協会の協力を得ている。

## ③ 植樹活動

2008年から北京郊外の長城のふもとで、社員とその家族・友人からなるボランティアにより植樹を行っている。活動費用は会社が負担、植樹後の管理面もキヤノン中国が支援している。北京だけではなく、各支社・支店においても地元での植樹活動を実施している。

## ④ 「映像・希望の光」プログラム

各地の希望小学校で「撮影教室」を開設し、生徒に外の世界を認知させ感受性を高めることを目的とし、3年間で100校の支援を計画している。また学校教師に撮影技術の講習を行い、各小学校に戻り生徒に伝授するなど、限られた人材で効果的に撮影技術のイロハを伝える工夫をしている。

また、キヤノンは異なる地域や国の青少年の間で映像を通じての交流を推進し、子供のうちから友好関係を築き、互いに理解を深める努力をしている。

## ⑤ 「チャン族」文化保護プログラム

四川大地震の被害を大きく受けたチャン族の支援を視野に、チャン族文化の保護プログラムを起動、キヤノンの映像機器を活用し独特の文化である祭りや手工芸、音楽などを記録し、チャン族の無形文化を継承するデータベースの作成に寄与した。記録したコンテンツは展示会の形で披露され、北京の国家大劇院に3万人の来場者を迎えるほど盛況だった。

## ⑥ 四川大地震後の人道支援活動

2008年5月に発生した四川大地震は全世界から支援を受けた。キヤノングループ全体として1,153万元を寄付するとともに、医療機材やオフィス機器など325万元相当を寄贈した。世界各地のキヤノン社員から158万元以上の募金が集まった。

### (iii) 取り組みの背景、特徴、ねらい

キヤノンはグローバル優良企業として、それぞれの地域で「優秀な企業市民」であることが極めて重要であると認識している。優秀な企業市民であるためには、地域社会との共生が必要であり、キヤノンの企業理念としても「共生」（キヤノン中国では、「共生共享、共創理想」と表現）をかかげている。共生とは、文化、習慣、言語、民族などの違いを問わずに、すべての人類が末永く共に

生き、共に働いて、幸せに暮らしていける社会を目指していくことで、その姿勢は中国内の各拠点で多くの雇用を創出するだけでなく、社員が一体となり共鳴し合えるために、環境プロジェクトへの参加（Earth Hour）、歴史的価値のある地域文化の保存（チャン族文化のデータベース化と展示）、各地の希望小学校への支援などにあらわれている。

また社会貢献活動を行うにあたっては、キヤノンというブランドの持つ「つよみ」を意識し、「Why CANON? なぜキヤノンがやるのか？」が一目瞭然な、映像を軸としたプログラムを企画していることが特徴だ。「キヤノン緑援使者2009」や「チャン族文化保護プログラム」などがその好例で、その成果物は多くの中国市民の関心を集めている。

また、キヤノン中国のコーポレートスローガンである「Delighting You Always - 感動常在」は、本来はお客様（ユーザー）に「満足」以上の「感動」を提供したいというメッセージであるが、「You」を自然環境や地域社会、サポートを必要とする人々と定義することにより、社会貢献活動を展開する際の指針としても活用されている。企業理念やキヤノンブランドのつよみの実践とともに、キヤノン中国が提供する社会貢献活動の意図を明確にするスローガンとなっており、これをベースにした基本方針の策定がキヤノン中国としての包括的かつ多面的な社会貢献活動を可能にしている。

また、社員たちが社会貢献活動に参加しやすいよう、キヤノンはプログラムの中に社員ボランティア活動を計画し、企業と社員と一団となって地元へ貢献する努力をしている。どの社会貢献活動にもキヤノン社員の姿がある。

キヤノン中国では、これら社会貢献活動について積極的に外部への公表を行っている。それは事業を展開するそれぞれの地域との共生も企業理念のひとつであり、地域市民にキヤノン中国の活動を理解・共鳴してもらいたいと考えるからであろう。あるいは、社会貢献活動が資金援助や災害支援など寄付行為に偏りがちな中、本業との親和性が高い内容を社会貢献活動の中核に採り入れ中国市民からの関心を集めるなど、社会貢献活動の企画・実施への手ごたえがあることも後押しをしているといえる。

#### (iv) 今後に向けて

キヤノン中国での社会貢献活動は、中国人社員からなるCSR担当部門を中心に実践・推進されており、より現地化がすすんでいる。すでに歴史的文化遺産への貢献や自然保護活動への取り組みなどにおいて、現地社員が参画してこそ可能になる情報収集やネットワーク形成、コミュニケーション、円滑な企画立案・実施などの成果が見られるのではないかと。同時に、キヤノンならではの映像・撮影をキーワードにした社会貢献活動は、今後もより多様な場面でつよみを発揮する可能性がある。

### (3) みずほコーポレート銀行（中国）有限公司

#### (i) 事業概要

- 中国への進出年と進出の経緯

1981年～ 北京に駐在員事務所開設。

1987年～ 深圳支店開設、以後上海支店ほか順次支店開設。

2002年 第一勸業銀行、富士銀行、日本興業銀行の3行が統合し、みずほコーポレート銀行として中国各拠点を再編。

2007年 みずほコーポレート銀行（中国）有限公司として現地法人化。

みずほコーポレート銀行は、みずほフィナンシャルグループの中で大企業（一部上場企業等）及び海外の日系・非日系企業などを担当している。みずほコーポレート銀行（中国）有限公司は、このみずほコーポレート銀行による100%出資の、邦銀初の中国現地法人である。中国における日系企業・マルチナショナル企業向けの金融サービスとして、外貨業務、人民元業務など、銀行業務全般を取り扱う。

- 従業員、事業所数と構成等

資本金：40億人民元

事業所数：10（本店：上海）

支店数：8（大連、天津、北京、青島、無錫、深圳、広州、武漢）（\*）

（\*）このほか、現在、蘇州支店開設準備中

出張所：大連経済技術開発区

従業員：約1,200人（日本人は駐在員、現地採用含めて約90人）

#### (ii) 社会貢献活動の内容

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①みずほ奨励基金</li> <li>②みずほ基金</li> <li>③環境配慮型金融普及に関する啓蒙活動</li> <li>その他、多数</li> </ul> |
|--|

##### ①みずほ奨励基金

中国の重点的な国家政策である基礎教育分野への支援を目的に、2007年から、北京市内の中学校3校（中国人民大学附属中学、北京大学附属中学、清華大学附属中学。日本の中高一貫校に相当）それぞれに「みずほ奨励基金」を設置した。大学への基金援助は多いが、中学校への援助は珍しい。基金では、各校の生徒と、その基礎教育を担う教師を対象に、毎年各校へ40万元の奨励金を授与している。基金の授与期間は10年間である。3校は、卒業生の多くが、中国のトップリーダーを育成する国家重点大学の清華大学、北京大学、中国人民大学へと進学するエリート高である。

##### ②みずほ基金

将来、中国の金融界で活躍する国際的人材となる若者の育成支援を目的として、旧富士銀行が

1995年に中国人民銀行傘下の旧金融学院、現・对外経済貿易大学（北京）に設置した50万米ドルの基金を「みずほ基金」と改め、日本のみずほコーポレート銀行とともに運営している。学生や教師を対象に、2年に1回程度、外部講師による金融制度や世界の経済動向に関するセミナーや教育関係設備贈呈などの活動を展開している。

2005年の金融セミナーでは、当時関心の高まっていた人民元の自由化問題について、みずほ総合研究所のエコノミストが講演を行った。人民元切り上げの影響予測を、日本の高度経済成長期に実施された日本円切り上げとその後の動きから導いた内容は、専門誌も取材に来るなど注目された。

### ③環境配慮型金融普及に関する啓蒙活動

「国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）」に署名するみずほフィナンシャルグループの一員として、経済が急拡大する中国においても環境配慮型金融の考え方を普及させるため、金融当局、銀行業協会、大学・シンクタンク等を対象に講演会やセミナーを開催している。

また、2008年度から清華大学（環境科学工程系）と中国環境投資網（環境産業・投資の専門コンサルティング機関、ウェブサイト運営）が主催する、グローバルな気候変動問題や省エネルギーなどに関わる中国内での環境投資に向けたトップレベルの会合「中国環境投資大会」にも協賛し、環境金融への貢献が評価されて第2回の「銀行緑色金融貢献大賞」を受賞した。

### (iii) 取り組みの背景、特徴、ねらい

みずほコーポレート銀行（中国）有限公司が、社会貢献活動で一番力を入れるのは教育支援、人材育成の分野である。「中国で仕事をするにあたり、中国の人たちの将来を見据えて事業や社会貢献活動を展開するみずほという銀行がある」と、中国の人々から理解を得ることを目標とする。

同行は、中国の改革開放政策が始まった直後の1979年から旧日本興業銀行が実施していた「フィナンシャルセミナー」を引き継ぎ、中国の政府機関、金融機関の若手20～30人を毎年日本に招いて、日本の経済、金融に直に触れてもらう事業を30年余り続けている。同セミナーの卒業生は現在約1,000人に達している。中国の現場で活躍する実務担当者、政府機関や実業界の歴代要職者も輩出していることから、この取り組みは一定の役割を果たしているといえる。

また、中国の教育・人材育成に対する金融分野での貢献として、1995年からみずほ基金で金融・経済セミナーを実施しており、近年は環境配慮型金融に関するセミナーにも力を入れている。

この環境配慮型金融の啓蒙活動は、中国金融当局や金融機関、大学・シンクタンク等を対象に、親会社である日本のみずほコーポレート銀行グローバル環境室の協力を得て行っている。みずほは、総額1千万ドル以上のプロジェクト・ファイナンスにおいて環境配慮型であることを確認する世界的な統一基準「エクエーター原則（赤道原則）」を採用した日本で最初の銀行としての立場から、自社が持つそのノウハウを中国側へ提供している。また、1銀行では対応できない、このような大型プロジェクトに有効なシンジケートローンについても、日本で積極的に展開してきた経験を生かし、中国銀行協会のシンジケート業務委員会に、外資銀行の代表委員として参加している。

このように、ノウハウや技術移転を指導するという取り組みは、中国環境投資大会での「銀行緑色金融貢献大賞」授与の形で評価された。

2010年3月には、武漢市人民政府との間で省エネルギー・環境保護分野に関する協力協議書を締結、当該分野に携わる日中各機構・企業の連携促進、ビジネスマッチング等を支援する取り組みも開始している。

その他、このような独自の活動にとどまらず、四川大地震をはじめ、雪害、水害など、度重なる大災害に対して、日本の赤十字にあたる中国紅十字や日系・外資企業団体を通じた復興支援募金活動への協力を行ったり、太陽村児童センターなど社会的弱者への支援、植樹活動やイベントへの参加など、さまざまなボランティア活動にも取り組んでいる。

#### (iv) 今後に向けて

中国を、銀行全体として取り組むべき、戦略的に最重要なマーケットと位置づけ、社会貢献活動についても日本の親会社と一体となって実施し、30年近く活動を継続してきた。しかし、2005年頃には、「政冷経熱」で反日デモが起こるような状況のなか、これまで地道に培ってきた日中友好という中国ビジネスの基盤が揺るぎかねない事態も経験した。今後、ふたたびこのようなことが起きないように、また、中国に根ざした企業としての社会的責任を強く意識しつつ、中国社会への貢献活動を展開するとともに、各種活動のより積極的なアピールも必要と考えている。

社会貢献活動の内容としては、息の長いプログラムとして継続する人材育成と教育支援が、金融サービス業として最も貢献できる分野と考え、今後もこれらを柱とする。

本業の金融分野では、発展途上国の中国が最大のCO<sub>2</sub>排出国で資源消費大国であることに着目し、日本で培った金融機関としての環境配慮のノウハウを生かした事業展開や、幅広い顧客基盤と中国主要機関との良好な協力関係のもと、省エネルギー・環境保護型産業に携わる関係者間の各種事業促進連携支援等を考えている。実際の環境への効果が出れば、中国国内だけでなく世界的にも評価される取り組みといえる。

#### (4)三井物産（中国）有限公司

##### (i)事業概要

- 中国への進出年と進出の経緯

1980年 三井物産北京事務所開設

1995年 三井物産（中国）有限公司を北京に設立

2005年 三井物産（中国）貿易有限公司を北京に設立

2009年 三井物産（中国）貿易有限公司の業務を三井物産（中国）有限公司に移管・統合

日系商社として早期に中国に着目し駐在員事務所を開設、以来資源・エネルギー系事業からコンシューマー事業まで多様な分野で事業展開をおこなってきた。一方、近年の中国における外資規制緩和のなか、各地に現地法人、出張所を設立するなど体制整備を進めている。総合商社としての中国の各種産業・主要企業との幅広いネットワークを活かし、北京を核に東北から中西部に至るまでの地域で事業創出を進めている。

- 従業員、事業所数と構成等

従業員数等：従業員数91人、うち日本人社員16名（2009年10月）

拠点構成：在北京の三井物産（中国）有限公司を核に、青島・大連・天津に現地法人、ハルビン・長春・重慶・成都・武漢・フフホトに事務所・出張所を展開。

##### (iii)社会貢献活動の内容

- |                  |
|------------------|
| ①冠講座「北京大学三井創新論壇」 |
| ②学生交流「走近日企・感受日本」 |
| ③災害支援            |

###### ①冠講座「北京大学三井創新論壇」

「国際交流」領域では、北京を中心とした産業界・知識層との幅広いネットワークを基盤に、2006年より冠講座「北京大学三井創新論壇」を継続開催することで日中間の経済・文化交流ならびにビジネス活動の促進に寄与している。内外の産業分野のトップを招聘し、中国の最高学府のひとつである北京大学にて2015年まで継続開催を予定しており、当該事業へ多額の寄付金も提供している。

###### ②学生交流「走近日企・感受日本」

「走近日企・感受日本」は、中国の若者の日本に対する理解を深める民間活動で、中国における2005年の反日活動後の2006年から日中環境省エネフォーラムにおける日中学生交流を契機に5年計画で毎年50～60名の中国人学生を日本に迎え入れ、日本企業訪問や日本人学生との交流および日本人家庭でのホームステイを通じて様々な角度から日本を体感してもらうプロジェクトである。創新論壇と同様に次世代を担う中国並びに日本の若者に対して早い時期から日中友好の感覚を体感してもらうことを目的としている。毎年中国人学生50～60名を一定期間日本に滞在させるプロジェクト費用は多大なものであるが、活動費用は全額を中国日本商工会メンバー企業

およびその親企業の寄付によりまかなわれている。三井物産（中国）有限公司は、中国人学生の派遣と、日本でのホームステイ受け入れに際しての協力を中心に、現場レベルで本活動の運営をサポートしている。

### ③災害支援

中国での近年の地震などによる自然災害は日本でも大きく報道され、特に四川大地震については多くの日系企業が災害義援金供与を行っているが、三井物産では大規模な総合商社として全世界に多数の拠点をもち、それぞれの国で常に災害支援活動を行っている。中国においても四川大地震に加え、南方地域の雪災害や江西省九江市地震にも資金支援を行い、現地社員や現地関連会社と災害時の感情を共有している。

### (iii) 取り組みの背景、特徴、ねらい

三井物産ではグローバルグループ全体として「国際交流」「教育」「環境」を社会貢献活動の重点領域として定めており、三井物産（中国）有限公司でも3領域を意識した具体的な社会貢献活動を企画実践している。「北京大学三井創新論壇」の実施や「走近日企・感受日本」へのサポートは本社基本理念の実践であると同時に、長年の中国産業界とのビジネス連携に対する還元であり、管下地域内でのリーダーシップのあらわれといえる。三井物産ではこれらの社会貢献活動についてマスコミ等への露出を最小限にとどめている。それは冠講座や交流プロジェクトに参加した若者がその経験を生かして次世代の産業界で活躍することが社会貢献活動の成果であり、彼らのパフォーマンスそのものが社会貢献活動の価値を体現するものであると考えるからであろう。こうした長期的視点での国際交流・教育分野での活動が三井物産の社会貢献活動の特徴といえる。

### (iv) 今後に向けて

「北京大学三井創新論壇」の実施や「走近日企・感受日本」への継続的参画に加え、今後は「環境」分野での諸活動の活性化が見込まれる。現在三井物産では全社で環境アセスメントに関するプロジェクトが進行中であり将来的な大規模なヴァリュー・チェーンに環境調達基準の適用が目論まれている。中国についても、内モンゴル地域での多業種事業の推進に際しては環境に配慮した諸要件が盛り込まれており、中国での環境関連規制の強化への対応との折り合いを含め今後注目される。またこのような環境コンシャスな事業と並行し三井物産ならではの長期視点での環境分野での社会貢献活動も生まれるかもしれない。

## (5)大宇宙信息創造（中国）有限公司

### (i)事業概要

- 中国への進出年と進出の経緯

1995年 トランスコスモス株式会社100%出資で設立。

2000年 社員40名になる。

2005年 黒字に転換。

2006年 中国広州市に広州支社、日本東京に日本支社設立。

2008年 日本法人大宇宙ジャパン株式会社設立。

2007年には、CMMI5（ソフトウェア開発品質管理体制成熟度）世界最高レベル、及びISO27001（情報セキュリティ管理システム認証）を取得した。また、連続7年、中国国家計画内重点ソフトウェア企業に認定；連続2年、「中国ソフトウェア輸出とアウトソーシング企業」トップ10入賞。

- 従業員数、事業所数と構成等

従業員数：1,300人（日本人10%）

構成：事業所、支社、子会社6（天津本社、広州支社、日本支社、蘇州支社、北京事務所、日本法人）

### (ii)社会貢献活動の内容

- ①大宇宙助学金
- ②「教育事業と人材育成」支援
- ③中国四川大地震寄付金を中国赤十字会へ贈呈
- ④中国南部暴風雪害に義援金、救援物資寄付及び支援活動を実施
- ⑤地元中学校への教育支援
- ⑥闘病患者の高額手術費用を支援するための社内募金活動

#### ①大宇宙助学金

2006年から、天津市の天津大学、南開大学、天津理工大学の3校で、特に経済的理由で生活が困難な優秀な学生を支援しようと奨学金制度を設立し、毎年給付を実施している。給付対象者は各校の計算機学部、日本語学部の学生15人である（2008年実績）。

社内幹部の出身大学に対する感謝の気持ちと、地元の教育レベルが上がるのが自社ビジネスにもプラスになるとの考えから設立された制度だが、給付を受けた優秀な学生が毎年同社に入社しており、他社では奨学金を受けた学生が社員になるケースはあまりないことから、この事業が高く評価されている証であると考えている。

#### ②「教育事業と人材育成」支援

天津各大学スポーツイベントのスポンサーとなったり、地元中学校への教育援助交流などを行っている。

2007年4月に、天津大学ソフトウェア学院、コンピューター学院、環境学院、電信学院の4

つの学院学部が共同で主催する「天津大学“大宇宙杯”バスケットボール大会」が開催され、1カ月に計50試合が行われた。この大会では、資金援助（寄付金・協賛金）、施設の提供、社員ボランティアの派遣、自主企画によるイベントなどの各種事業の実施をサポートした。

③中国四川大地震寄付金を中国赤十字会へ贈呈

2008年5月の「四川大地震」で、日本支社を含む各支社で、発生2日目から被災者支援のための社員ボランティアによる義援金募集を始め、15.47万元を集めた。このほか、物品寄贈や施設の提供を実施し、義援金の募集はその後も2回行った。

④中国南部暴風雪害に義援金、救援物資寄付及び支援活動を実施

2008年1月より中国・日本関連企業とともに、中国全土の同社グループ会社を拠点にして、中国南部の暴風雪の被害を受けた被災者の支援活動を実施した。寄付金・協賛金の支援のほか、施設の提供やサービス、社員ボランティアの派遣など、きめの細かい支援を目指した。

⑤地元中学校への教育支援

天津市慈善協会、天津市修学援助基金連合会の協力を得て、天津市内の中学校へ資金援助（寄付金・協賛金など）や物品寄贈、サービスの提供を行うほか、パソコン、椅子、デスク、書籍の寄付、教員ボランティアの派遣などを実施している。また、奨学金プログラムなど各種事業を自主企画している。

⑥闘病患者の高額手術費用を支援するための社内募金活動

天津、広東省を中心とした地域の闘病患者の高額手術費用を支援するため社内募金活動を実施している。この活動は、同社元社員の闘病実態を聞いた人事担当者が、社内のイントラで情報を流したことをきっかけに、社員側から支援の要望が高まったことによるものである。

(iii) 取り組みの背景、特徴、ねらい

大宇宙情報創造は、トランスコスモス100%出資の子会社ながら、日本の会社の駐在から現地法人化という手順を踏まず、いきなり現地に法人を設立した特異なケースである。通常、中国に進出した企業には、社名に中国の地域名を冠することが義務づけられているが、まだ日系企業が少なかった頃に資本金10億円を投じて設立した大宇宙情報創造には、特別に中国にマッチする社名を命名することが許された。

事業の内容は、中国の優秀な人材を生かした日本向けのシステム開発である。顧客は金融系、流通系、製造業など多岐に渡るが、日本の大手システム会社がほとんどを占めている。

現在、日本ではIT人材の減少の影響を受け、個人の労働量の増加で3K、5K化し、人材不足に拍車がかかっている。大宇宙情報創造は、この問題をクリアし、日本の3分の1程度に抑えられた高いコストパフォーマンスを提供する事で、2005年度から一気に黒字化を果たした。中国政府は、より付加価値の高いハイテクサービスに自国のエンジニアの力を結集し、産業を育成したいと考えているが、それは同社のサービスと合致するところであり、毎年大量の大卒エンジニアを雇用する

同社に政府も協力的であるという。

大宇宙信息創造が、経営理念「企業の責任」である社会貢献に積極的に乗り出したことは、本来の利益還元のみならず、新しい優秀な人材を確保するという点においても有益なものとなっている。生活難から大学教育を受けられない成績優秀な学生を対象とした奨学金や募金、学校の設備や物品の提供、教師の派遣などを通して、教育環境の向上に寄与している。その活動が認められ、2007年に中国赤十字、天津市などから、「愛の就学援助賞」受賞、2009年には「愛の就学援助先進企業」の称号を授けられた。その他さまざまな賞も受賞している。こうしたことは、社員が「社会貢献活動に熱心な良い会社に勤めている」と周囲から評価されることにもつながり、社員からも積極的に支持されている。

3年連続で天津市優秀ソフトウェア企業1位の座を守り続ける同社は、人事面においてもスキルの底上げを図っている。社員の95%は新卒採用し、入社1年目から大宇宙育成ハンドブックを渡して何を学ぶか指南している。その後、キャリアマップを作成し、リーダーになるための条件や自分に足りないものを認識させ、改善するノウハウを伝授し、さらなるレベルアップにつなげられるように指導している。これは、社員一人ひとりのスキルアップに貢献することが、広い意味での“教育”の一環にもなるとの考えによるものである。

#### (iv) 今後に向けて

会社が有名になるにつれ、さまざまな方面から援助を求められたり、協力を仰がれることが多くなってきているが、そのための特別な部署は設けておらず、1つ1つの案件について、その都度、管理や人事、経営層が相談し対応している。効率は上げなくてはならないが、しばらくは個別対応する方式を維持するとしている。ただし、天津の日本人会のウェブサイトを作ったり、日本人学校のシステムを作ったりといったようなネットワークの構築は、今まで以上に充実させていく予定である。また、日系企業同士で話し合いをもち、他社相乗りの社会貢献活動も視野に入れている。

今後、中国にも日系企業が増加することが予想され、現在力を入れている日本語教育への支援に一層の厚みを持たせることで、基金との相乗効果を狙い、中国の優秀な人材のさらなる実力アップに貢献したいと考えている。

## (6)東芝（中国）有限公司

### (i)事業概要

- 中国への進出年と進出の経緯

1995年 東芝（中国）有限公司設立

設立以来、デジタル製品、家電、電子デバイス、社会インフラなどの分野で多角的な事業展開を行っている。中国の各地に合資・独資あわせて全69社を有し、売り上げ規模は2008年で約768億人民元（日本円約1兆円）と中国内外資企業の上位に位置する。

東芝（中国）有限公司は、東芝の中国における統括会社であり、社会インフラ系事業、マーケティング、R&Dに関する機能を有する。

- 従業員数、事業所数と構成等

従業員数：中国全体 29,000人

東芝（中国）有限公司 245人 内日本人22人（2009年12月時点）

事業所：中国全土に合資・独資あわせて69社を展開。

### (ii)社会貢献活動の内容

- ①東芝カップ 中国師範大学師範専門理科大学生教学技能創新実践コンテスト
- ②教育支援：希望工程小学校建設支援や大学奨学金供与
- ③四川大地震復興支援

#### ①東芝カップ 中国師範大学師範専門理科大学生教学技能創新実践コンテスト

本コンテストは、2008年中国の師範大学生を対象に、将来の優秀な理系部門の教師を育成し、中国の科学および自主創新の振興を目指し、中国教育部との共催によりスタートした。各師範大学から理系（数学、物理、化学）の教師を志す4年生が参加し、各大学での予選を経た代表者が全国大会（決勝）に出場、小中学生向けの教案論文をまとめ発表を行う。テーマは「子供に科学のおもしろさを理解させるためにどのような授業を行えばよいか」で、初等教育における理科系授業の創意工夫が評価の対象となる。優秀者には表彰状と副賞を贈呈し日本での研修に参加することができる。現在12大学で2年目を実施、中国教育部からの本コンテストに対する期待も大きく、3年目から中国各地の全師範大学（38校）での実施が検討されている。

#### ②希望工程小学校建設支援

中国青少年發展基金会と協働し、東芝中国グループとして毎年2校の建設支援を継続している。これまでに15校が開校しており、今後も同様のペースで支援予定である。また、高等専門教育の現場では、清華大学および浙江大学の学生を対象にした「東芝之友奨学金」を継続的に実施し、毎年90名の優秀な大学生に奨学金を提供している。

#### ③四川大地震復興支援

震災直後に東芝グループとして、総額1億円相当の現金と物資を被災地に寄贈した。そのうち

139万元は、「抗震希望教室」50室分の建設に充ててもらうために、中国青少年発展基金会へ寄付した。また、綿陽にある綿陽富楽中学校と綿陽花園小学校2校の復興支援として、約22万元相当の東芝照明器具を寄付した。

### (iii) 取り組みの背景、特徴、ねらい

中国における東芝の社会貢献活動の基本理念は、中国社会のよき企業市民として中国社会の発展に貢献することであり、教育、環境、文化を主領域として様々な活動を展開してきた。

特に教育の領域には力点を置いており、希望工程小学校建設支援や奨学金の提供など継続的に実施しているが、近年の活動では寄付金や資金支援などのフィランソロピー的援助にとどまらず、理科系分野における人材育成について幅広く独自性のあるプログラムを提案していることに特徴がある。

「東芝カップ 中国師範大学師範専門理科大学生教学技能創新実践コンテスト」は、理科系のおもしろさを子供のころから体感するためには、小中学校教育の教案プログラムが重要であることに着眼し、主要な師範大学の学生を対象に、創造性のある教案の提案を競うという独創的なプログラムである。コンテストの企画にあたっては、教育をより重視する国策に着眼し東芝から中国教育部に提案して関心・賛同を喚起、コンテストを中国教育部との共催にこぎつけている。日系企業側から将来の中国の技術系人材の育成を意識し、長期的な成果を期待した企画を提案、中央政府組織と協働するという社会貢献活動は、外資企業の中でも類をみない。

この社会貢献活動の背景には、東芝が長年中国事業を展開し現在69のグループ会社と29,000人の社員を擁するにあたり、「Leading Innovation」のブランド・ステートメントを掲げる会社として、中国の「自主创新」に貢献したいという考えに基づくものである。急速な産業発展の中で、これまでは日欧米先進国企業からの借り物の技術や外資の技術の組み立て工場的な立場となることもあった中国製造産業において、中国内部から技術革新と実用化を牽引する人材を育成することに寄与することが、企業市民としての役割であるという考えだ。また、中国では多くの優秀な人材が金融などの分野に流れており、今一度ものづくりの技術革新のための理系人材を育てたいという東芝ならではの意思もうかがえる。さらに膨大な人口と生産力を有する中国では環境課題が山積し、環境関連の規制が急ピッチにすすめられているが、将来的にはこのような長期的な理系人材育成から中国における環境関連の技術革新に寄与する人材が輩出される可能性もあろう。

### (iv) 今後に向けて

コンテストは2009年に第2回が成功裡に実施され、中国教育部の期待はさらに上昇の傾向にあるようだ。現在12大学で実施されているが、今後対象校を広げ規模を拡大していくことに期待が高まっている。また日本の関係省庁・団体からの関心も高く、今後も日中の産・官・学で幅広く注目を集めることが予想される。

一方で、歴史的・地理的そして近年の経済・産業的な観点から日本と中国との関係性は他の欧米諸国に比べより結びつきが強いにも関わらず、それぞれの国の若者の相手国の認識はいまだ大きな隔りがあるのが実情である。そうした認識のズレを少しでもなくすためにも、教育を通じた相互理解は引き続き重要課題であると考ええる。

**(7)株式会社パスコ 北京博思科空間信息技術有限公司 (PASCO CHINA CORPORATION : PCC)****(i)事業概要**

- 中国への進出年と進出の経緯

2002年 第1回日中GIS交流会を東京で開催したのをきっかけに、中国政府、江蘇省から合弁企業設立要請

2003年 蘇州超維地球科学研究開発有限公司 (SDR) 設立

2004年 北京博思科空間信息技術有限公司 (PCC) 設立

2006年 SDRのパスコ出資をPCCが買取

PCCは外商投資企業、高新技術 (ハイテク) 企業、ソフトウェア企業に認定され、RS、GIS、SOLUTIONの中国トップブランド企業として、主に政府系機関と業務提携を行っている。西部の新疆、東北の吉林や大連、南京など中国各地において政府系機関や大学との共同研究や客員教授、国際委員を努め強固なパートナーシップを結ぶことで、ネットワークを築いており、受注額の95%は中国政府機関が占める。

SDRはPCCと江蘇省が出資した内資企業で、高新技術企業、ソフトウェア企業に認定され、中国以外の世界各国向けカーナビシステムの開発に取り組む。

- 従業員、事業所数と構成等

PCC 従業員40人 (日本人1人\* 董事長のみ日本人)

SDR 従業員50人 (日本人1人\* 董事長のみ日本人、PCC 董事長が兼務)

**(ii)社会貢献活動の内容**

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①四川大規模震災技術支援</li> <li>②政府系機関との共同研究</li> <li>③血吸虫撲滅計画</li> <li>他多数</li> </ul> |
|---|

**①四川大規模震災技術支援**

2008年5月に発生した四川大規模震災に関して、初動調査から復旧活動まで積極的に支援し重要な役割を果たした。震災発生から1時間後に中国政府から衛星データ収集を依頼され、世界中のネットワークを利用しデータ収集と衛星処理を手がけた。震源の位置座標を即時に全世界の関係先へ配布し、さらにEROS-B画像および独自の被害抽出結果も中国政府へ無償提供するなど、情報収集に貢献した。衛星データの提供先数は27 (国家機関・政党) にのぼった。

また、日本の防災権威者である砂防地滑りセンター池谷理事長を招聘して、自然ダム対策を指導するなど人的ネットワークを活かしたボランティアを派遣して復旧支援も行なった。その他、PCC社員一同でEROS-B1シーンを国家へ寄付するなど、ハード、ソフト両面において幅広い支援を行なった。

これらの貢献については、外資企業がボランティアとして中国国家に技術支援をしたことに対する国家の謝意の表れとして、中国の約10機関から感謝状が贈られた。

## ②政府系機関との共同研究

数多くの政府系機関や大学と共同研究や業務連携を行なっている。一例をあげると、国家測絵局測絵研究院と「SAR衛星データの地形図作成の応用、実用化」、中国科学院CEODEと「衛星データ土地利用変化モニタリング」、農業科学院、農業大専校と「衛星データを利用した農地管理及び農作物生育モニタリング」の共同研究に取り組んでいる。

また、国家海洋局とは国連との連携事業として、2010年度より西太平洋海洋リモートセンシング教育センターの実施を計画している。そのほか、民政部国家減災センターと「災害シミュレーションシステム」、建設部都市規制研究院と「水害シミュレーションシステム」、南京大学と「土地利用変化の自動抽出等」、北京科学技術大学と「SAR衛星データを利用した地滑り監視システム等」を共同研究し、吉林大学とは環境水益経済センターを設立予定である。

## ③血吸虫撲滅計画

中国で数千万人が被害を受けている血吸虫の撲滅計画に取り組んでいる。特許の感染症伝播メカニズム解析および伝播シミュレーションシステムを用いて、被害の最も大きい湖北省荆州市で、正確な被害状況データベース作成やホテルを用いたグリーンエコによる血吸虫の撲滅計画を進行中である。

### (iii)取り組みの背景、特徴、ねらい

中国3S（リモートセンシングや衛星データ販売のRS、GIS、SOLUTION）ナンバーワンを目指すPCCでは、事業を通じて社会に貢献することを企業の社会的責任と認識し、社会貢献に積極的に取り組んでいる。社会貢献の指針としては、技術提供という姿勢を明確に打ち出している。PCCのもつ空間情報および人工衛星データ解析の最先端技術を、社会に役立つ形で提供することを根幹にしている。

企業ならではの技術とノウハウを活かしつつ、組織をこえた人的ネットワークも活用するベスト・ソリューションという形で取り組む点に特徴があり、人的スキルというソフト面も重視した柔軟かつ実用的な対応が、より有益な貢献を可能にしているといえる。

こうしたPCCの社会貢献の成果は、国家レベルの課題にまで及ぶ場合もあるが、これはPCCと中国政府との間に信頼関係が構築されていることによる。四川大規模震災や青海大規模震災では中国政府から直接、初動調査を依頼されたのがその好例といえる。中国の政府系機関や大学と共同研究を行い、中国の防災、環境、農業などの発展に寄与したり、中国の中南米、アフリカなどの海外進出を支援したりするなど活動は多岐にわたっている。

また、ソフト面での貢献として人材育成がある。PCCでは、最先端の重要な開発テーマを、南京大学や北京の大学等と共同研究することで、優秀な人材確保とともに、最先端産業の中国人材育成という中国政府の意図にも一致するものである。

民間分野においては、PCC社員家族が中心となり福州市に民営自閉症児童施設を開設し、PCCが後方支援している。佐藤董事長以外の社員は全員が中国籍ということも、現地に根付いた取り組みを可能にしている。

**(iv) 今後にむけて**

PCCは技術提供によって社会貢献するという立場を明確にし、さまざまな政府系機関との取り組みや、共同研究を通して日中友好を深めている。しかし、日中共同研究に関しては、研究成果を一方が承認しても、もう一方が承認しないなど、日中両国の政府機関の足並みが揃わないことがあり、今後の課題といえる。

今後は中国国家や国連とともに、東アジアにも目を向けた取り組みを進めていくことを予定しており、PCCならではの空間情報、衛星システムなどの技術提供を根幹に、国家間ではできない柔軟な対応で社会貢献していきたいと考えている。

## 第五章

# 日系企業の社会貢献活動に関する アンケート調査とインタビュー調査結果の考察

2004年に中国各地で反日デモや日本製品の不買運動などが繰り返された後、日系企業がビジネスだけでなく社会貢献活動にも力を入れていることを明らかにしたいという狙いから、国際交流基金は、日系企業の中国における社会貢献活動の実態調査を、これまで2005年、2007年と実施してきた。今回の調査は、前回の調査以降、四川大地震、金融不況、中国におけるCSR（企業の社会的責任）への関心の高まり等を経て、日系企業の社会貢献活動に生じた変化をとらえることを主たる目的としていた。回答事業所数は388社、寄せられた社会貢献活動事例は447件と、2007年調査の同353社、237件を上回った。各地の日系団体のご協力に改めて感謝申し上げたい。

本章では、今回実施したアンケート調査ならびにインタビュー調査結果からみえてきた中国での日系企業の社会貢献活動推進における特色について述べる。

### (1) 回答企業の概況

前回調査以降、中国経済は高度成長を続け「世界の工場」となると同時に、都市を中心に中間所得層が拡大した。これにともない日系企業の進出も製造業主体からサービス業へと拡大し、製造業においても、中国国内市場を重視するように変化してきているといわれる。しかし、今回調査における回答事業所388社の属性は進出の時期、事業内容、従業員規模のいずれでも、2007年調査の時と大きな変化はなかった。

### (2) 進むCSR推進体制の構築

中国製品の欧米市場への輸出拡大に伴い、中国製品の品質だけでなく商品の生産プロセス・生産方法が問われるようになるにつれ、中国政府もCSRの推進を重要視するようになった。会社法を改正して「CSR条項」を追加した2006年以降、政府主導でのCSRの普及が進んでいる。一方中国国内においては、都市農村間の格差の拡大、企業モラルの低下、激化する環境汚染など、経済成長のひずみともいえる社会問題が露呈している。中国政府は「経済位一辺倒から“調和の取れた社会建設へ”」という理念を掲げ、環境問題や国内の所得格差の問題などを解決するためのツールとして、今後も積極的にCSRを推進する政策を打ち出すものとみられている。

今回のアンケート調査では、日系企業が現地で経済活動を営む上で重視している項目としては、前回同様「企業倫理の確立や法令遵守」の回答が最も多く、次いで「顧客対応の充実」「省資源、省エネ、環境保護への取り組み」となっており、上位3項目に変化はなかった。前回の調査と比較して、「省資源や省エネ、環境保護への取り組み」「適切な納税」「雇用の維持、創出」などの回答が増加している。現地で独自に策定しているCSR方針に関しては、「環境に関する方針」が最も多く、次いで「雇用に関する方針」、「地域社会に関する方針」だった。具体的な項目としては、「有害物質規制」「リサイクル」「採用や人材育成における差別の撤廃」を重要視する傾向が強かった。

アンケート調査では大きな変化は出なかったものの、事例調査で訪問した企業においては、前回調査

時に比べ、日系企業のCSR推進体制は前進がみられた。前回は本社でCSR方針が定められていたものの、まだ中国における事業活動に具体的に適応され浸透するに至っている企業は少なかった。しかし今回の調査対象企業においては、CSR担当部署や社会貢献担当者に中国人社員の登用がなされ、経営者層のリーダーシップや日本でのCSR研修を経て、CSR方針に沿った具体的な対応策がとられていた。社員研修なども積極的に行われる傾向がみられた。また社会貢献の実施においても、現地社員が主導的役割を果たしニーズを汲み取るなど、より効果的な社会貢献活動を実施している事例がみられた。社員教育やサプライチェーンマネジメントを通じ、日系企業のCSRの取組みが中国企業に徐々に伝播していくことが期待される。

### (3)社会貢献活動の実践は横ばい

現在の社会貢献活動の実施の有無をたずねたところ、「実施している」が55.4%「実施していない」が44.6%と、前回調査に比べ、社会貢献活動の実施率は1.8ポイント減少した。最近の社会貢献活動に関する変化については、「2008年以前も今も社会貢献活動をおこなっている」46.9%、「2008年以前も今も社会貢献活動は行っていない」41.8%と、活動に変化がないとの回答が9割近くを占めた。社会貢献活動予算についても、「予算がない」企業が47.4%を占めたものの、「予算に変化はない」が25.8%で、「予算が増えた」企業が9.3%と「予算が減った」企業の5.2%を上回った。日本経済は低迷しているものの、拡大する中国市場においては、日系企業は、企業市民としての存在を発揮するために社会貢献活動を継続してきたとみることができる。

### (4)四川大地震の影響

2008年5月に発生した四川大地震には多くの日系企業が義捐金や物資援助を行った。アンケート回答で得られた社会貢献活動事例414件のうち、四川大地震関連の災害支援は約4分の1の24.4%を占めた。現地法人にとどまらず、日系企業グループ総体として大規模な支援金を供出する企業もみられた。また中国人従業員による自発的な募金活動も活発で、日系企業側でも中国の従業員意識を尊重し積極的に募金活動をバックアップした。

一方、四川大地震の災害支援以外の社会貢献活動も継続的に展開されている。活動分野では、教育分野が最も多く、地域社会活動、環境、医療・社会福祉の活動も活発であった。特に教育に関する領域では、農村地域を中心に経済的に困難な家庭の子どもや学生を支援するパターンと、次世代リーダーや技術者となりうる優秀な生徒への支援のパターン、日中の青年交流という3つのパターンがみられ、各社の理念や戦略によって展開されていた。また従業員の住むコミュニティへの貢献や、自社の特色を活かした環境教育の取組み事例も多くみられた。

### (5)多様化する社会貢献活動の方法

社会貢献活動の方法としては「資金支援」が75.3%と最も多く、次いで「物品寄贈やサービスの提供」が44.7%、「社員ボランティア」40.5%「自主企画」35.3%となっている。資金の提供が主流であることは変わらないものの、前回調査からの変化として、実施率の低かった自主企画による事業の実施率が前回の9.3%から35.3%へ大幅に上昇し、物品寄贈や社員ボランティアと同程度の実施率となった。また中国の財団や地方自治体との協働の事例も多くみられた。

### (6) 自社の強みを活かした戦略的社會貢献活動

今回事例調査で訪問した企業では、それぞれ自社の理念を明確にもち、強みを活かした社会貢献活動を展開していた事例をみることができた。オムロンでは日本で展開しているのと同様に障害者雇用に積極的に取り組み、中国における取り組みの先駆けともなっている。キヤノンはコア事業である映像分野の技術・製品を活かす社会貢献活動プログラムを各種展開していた。みずほコーポレート銀行は赤道原則を採用した日本で最初の銀行としての立場から、自社のもつ環境配慮型金融の啓蒙活動に取り組んでいる。東芝は技術系人材の長期的な育成を目指し、理科系教師の教材コンテストを中国政府組織と協働で取り組んでいる。いずれも各社の強みを活かした社会貢献活動であり、中国社会への貢献と企業価値の向上を両立させる戦略的な取り組みといえよう。

### (7) 中堅企業の特徴ある社会貢献活動

中堅の日本企業においても特色ある社会貢献活動が展開されていた。大宇宙情報創造はトランスコスモス株式会社の100%出資会社であるが、天津市において3年連続で優秀ソフトウェア企業1位の座を守り続けている。同社は地元大学に対する奨学金制度を設置しているのみならず、社員の人材育成と登用に熱意をもって取り組んでいる。また株式会社パスコの中国法人である北京博思科信息技术有限公司は、四川大地震の際に、中国政府からの要請に応え衛星からの被災地情報をいち早く届けるなどして、中国の約10の機関からの感謝状を受けている。この2社は本業において中国政府のハイテク産業育成という期待に応えている事例であるが、同時に中堅企業においても、自社の強みを活かした社会貢献活動が可能であることを示す好例といえるだろう。

## 第六章

# 国際交流基金の取り組みについて

## 6.1 中国における日系企業の社会貢献活動の促進のために

### (1) 社会貢献活動に対する認識の高まり

企業は、グローバル化が進む中で、「持続可能な成長」を続けていくために、CSR（企業の社会的責任 = Corporate Social Responsibility）が重要であるという認識を高めており、多くの企業が企業活動の中にCSR活動を積極的に取り入れてきている。特に、企業のステーク・ホルダーとの良好な関係を維持し、社会的信頼を獲得し、企業価値を高めることにつながるという点で、社会貢献活動を通じた地域社会への融和が不可欠となっている。海外で活動する日系企業においても進出先で円滑に事業活動を続ける上で、現地地域社会への貢献活動の重要性は高まっている。

### (2) 調査結果を踏まえた国際交流基金の取り組みの方向性

このような状況を踏まえ、国際交流基金は「日系企業による社会貢献活動の調査」を9カ国で実施し、中国では3回の調査を実施した。3回目の中国の調査の概要であるが、アンケート回答企業数は388社で、社会貢献活動の実施状況については、実施していると回答した企業が215社、55%となっている。

海外で活動する日系企業にとって、社会貢献活動は必要不可欠となってきているが、社会貢献活動を行っている中国の日系企業にとって今後活動を推進する上で、「社会貢献活動を展開するために必要なもの」について聞いたところ、2回目の結果と同様に以下の点が上位3位の回答となっていた。

- ①他の日系企業の現地における社会貢献活動に関する事例情報（59.1%）
- ②少ない予算でも参加、活用できるプログラム情報（51.6%）
- ③日系企業間での情報・ノウハウの共有（46.5%）

また、社会貢献活動を実施していない企業の理由については、次の点があがっている。

- ①人的余裕がない（54.3%）
- ②何をして良いかわからない（47.4%）
- ③予算がない（31.8%）

上記のような日系企業の要望に対応する意味で、今後、他社の社会貢献活動についての情報の提供や人的・予算的負担があまりかからない社会貢献活動プログラムを具体的に提示していくことを通じて、日系企業の社会貢献活動の推進に今まで以上協力していく考えである。

## 6.2 国際交流基金の今後の取り組み

国際交流基金は、日系企業が社会貢献活動を進める上で必要とする点について、具体的な提案を行っていく。

### (1) 日系企業の社会貢献活動に関する情報の収集と外部への発信

中国の日系企業が必要とした情報の共有については、1回目、2回目の調査でも実施したと同様に、中国の日系団体代表者・事務局長を対象に開催した会議において各社の活動内容を発表しており、3回目調査についても、報告会の開催とともに、今回作成する調査結果報告書の配布による情報提供も行なっていく。

北京日本文化センターは、中国日本商会の協力のもと、日系企業の社会貢献活動についての情報交換の場としての役割を担うとともに、各社の円滑な情報収集に協力していく。また、報告書のホームページでの掲載や北京日本文化センターの図書館での閲覧等による情報発信を行う。

### (2) 負担のかからない社会貢献活動プログラムの開発と提供

プログラム支援としては、国際交流基金事業の中で、例えば日本語スピーチコンテストへの協力（賞品提供）など、企業にとってあまり負担とならずに参加できるプログラムなど具体的な提案をしていく。また、新しいプログラムの開発にあたっては、企業のニーズを十分にくみ取り、使い勝手の良いものとするよう留意する。

上記の取り組みを基礎として、今後、国際交流基金は、さらに中国における日系企業の社会貢献活動との連携、協力を深めていきたいと考えている。日系企業の方々のご理解とご支援、さらには、積極的な事業のご提案をいただければ幸いである。



# 資料編

# C h i n a

Philanthropic Activities by Japanese Companies in China

# ■日系企業社会貢献活動事例データ

## I. 分野別社会貢献活動事例

本調査で収集した社会貢献活動事例を分野別に分類した一覧表を下記に示す。

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
芸術・文化	日中写真文化交流事業「北京写真展」協賛	日中写真文化交流の促進を目的としたNPO写真展開催にあたり、協賛金1万円を拠出。
	羌(Qiang)民族無形文化財保護プログラム	3000年の歴史を持つ羌(Qiang)民族は、四川大地震で人口が十分の一に減り、口コミで受け継いできた文化は伝承人の遭難によって絶滅寸前な状態になった。2009年5月から、この文化保護プログラムのワークチームは汶川の山奥に入り、ありのままの羌文化を静態、動態、3Dなどの技術で全方位に記録した。映像のデータベースは祭り文化や手工芸、音楽、伝統祭りの四つに分かれて、国家無形文化財保護センターに贈呈される。また、一般市民に関心と保護意識を高めるため、11月5日から2週間の間に、北京にある国家大劇院で「感動羌魂、雲影共生-羌(Qiang)民族無形文化財保護成果展覧会」を開催する。
	故宮・神武門での共同写真展に協賛	NPO法人日中写真文化交流協会が主催する「日中写真文化交流事業-故宮・神武門での共同写真展-」に協賛
	HKPO (Hong Kong Philharmonic Orchestra)への協賛金	HKPO(Hong Kong Philharmonic Orchestra)へ協賛金を提供
	東芝春季音楽会	文化活動の面から地元北京に対する社会貢献を行う主旨で、2000年からスタート。毎年、各種の音楽家を招いてのコンサートを開催。
	今年行われている花の博覧会の資金支援	今年行われている花の博覧会の資金支援
学術・研究	【清華大学-イオン教育と研究リサーチプログラム】	当プログラムは中国の教育・ビジネスおよび技術におけるキャリアの開発が目的のプログラムで奨学金(1学部対象)、研究リサーチ、校内緑化プログラムの3つの柱からなる。当社はイオンストアーズ(香港)と共同で2000年より2008年まで総額130万香港ドルの協賛を行う。2008年度からは日本のイオン1%クラブ主導、イオンストアーズ(香港)と弊社3社共同の全学部を対象として奨学金プログラム「清華の友-イオン奨学金」として引き継がれている。
	中国指導力研究センター(清華・Panasonic共同プロジェクト)	清華と共同で次世代のリーダー育成のための講座を06年に開設。中国政府幹部候補生に対しリーダーシップ研修を実施。これまでに累計で約4,500名の幹部候補生(全国17省(直轄市、自治区)から選抜された副処長以上のクラス)が当該講座を受講している。
	清華大学日本研究センターへの資金支援	2009年4月10日、キャノン、他の日本企業と協力し、清華大学で日本の社会研究や日中間の人材交流などを進める研究機構「日本研究センター」を設立。日本研究センターの運営には、キャノン、セコム、野村総合研究所、三井住友海上火災保険、全日本空輸などが支援。総額で1億~2億円の資金を提供し、中国人学生らの日本での研修費用なども負担する。
	日本語資料室の提供	日本語資料室を提供
	四川大地震以外に関する活動	学術・研究分野への支援
	日立フェロニッシュ	中国の代表的なシンクタンクの若手研究者の日本での研究の支援。
国際交流・協力	【ユニセフ青年大使プログラム2010】	当プログラムは世界の子供の権利についての世間の関心を高めるため、また、一連のトレーニングや活動プログラムを通じて、青少年のリーダーシップの育成を目的としている。弊社はこのプログラムへのメインスポンサーとして毎年180,000~200,000香港ドルを協賛しており、2010年で3年目となる。
	中国日本商会「走近日企、感受日本」事業への参画	中国の若い世代に日本企業・文化を理解してもらうため、中国日本商会主催の中国大学生訪日派遣事業に100万円を寄付するとともに、日本での企業見学、ホームステイ受入等、積極的に活動に参画。
	中国大学生「歩近日企、感受日本」プログラムへの参画	中日友好協会と中国日本商会は2007年3月22日、「走近日企、感受日本(日本企業に触れ、日本を感じよう)」をテーマとする中国大学生訪日交流プロジェクトを立ち上げた。同プロジェクトは毎年30~60人の中国大学生を日本に招待するというもので、内容は日本企業の視察、大学間交流、農村探訪、日本の一般家庭でのホームステイなど。キャノンも参画して、5年間継続する方針。
	アイセック	国際交流。

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)	北京	在中国日本大使館、中国日本商会、中日青年交流中心、日本中国写真文化交流協会	みずほ(中国)北京支店
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	四川省現地採集、展覧会やDBの贈呈式は北京	深圳派爱文化科技有限公司	佳能(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)		NPO法人日中写真文化交流協会	三井物産(中国)有限公司(三井物産(株)北京事務所)
資金支援(寄付金・協賛金等)	香港	HKPO	三菱電機香港集团有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	北京市内音楽ホール等	北京地区の東芝グループ	東芝(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			山東安吉丸食品有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	中国・北京 清華大学	Development Research Academy for the 21st Century of Tsinghua University イオンストアーズ(香港)	AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.
資金支援(寄付金・協賛金等)、講師の派遣		清華大学公共管理学院	パナソニックチャイナ
資金支援(寄付金・協賛金等)	清華大学(北京)	セコム、野村総合研究所、三井住友海上火災保険、全日本空輸など	佳能(中国)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)			西安凱愛房地產開發有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、他		中国青年連合会、成都市共青团委員会	東京海上日動火災保険株式会社代表処
資金支援(寄付金・協賛金等)	日本(研究の実施)、北京(選考場所)	国務院發展研究センター、社会科学学院、發改委マクロ経済研究院、商務部研究院	日立(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	香港及び發展途上国(中国甘肅やネパールなど毎年異なります)	Hong Kong Committee for UNICEF	AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	北京、日本	中国日本商会、中日友好協会	みずほ(中国)北京支店
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	日本国内	中日友好協会と中国日本商会	佳能(中国)有限公司
見学場所を提供している	自社		華鐘コンサルタント

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
国際交流・協力	日中交流サロン	広州の地元の大学にある日本語学科の学生と日本人ボランティアの交流会を運営。日本に興味、関心を持っている学生が「生」の日本人と接する機会は極めて少ない。一方、日本人には中国人と交流したいと思っているがきっかけがない、中国語がしゃべれない、など気持ちはあるが実現できていない人も多い。この2つのニーズを組み合わせた交流会を07年12月よりスタート、毎月1回のペースで開催。休日の2時間程度、喫茶店を借切って、小グループ(日本人数人+学生数人)に分かれて自由なおしゃべりを楽しんでいる。会話は日本語が中心。毎回、約50名が参加。毎回の費用(ドリンクと軽食)を当社が負担している。日本人メンバーは広州総領事館員、広州日本人学校教員、民間企業の駐在員など様々で、合計40名ほど。毎年秋には広州総領事館が主催する「Japan Day」にも参加している。
	広東省国際諮問会議への参加と、広東省に対する提言	広東省長に対して、広東省の経済発展の為の提言実施と、諮問会議への参加。(日本本社社長)
	「走近日企・感受日本」	中国の若者の日本に対する理解深化を目的とする民間活動。所要資金は全額中国日本商会(=北京日本商工会)会員企業(親会社を含む)の寄付によるもので、2007年から5年間継続して年間50ないし60名の中国人大学生を日本に招聘する活動。日本では協賛企業の有志社員によるホームステイも実施する(当社社員も受け入れた)。
	アイセック	国際友好交流及びさまざまな社会活動を実施している。
	日中中小企業の交流	日中経済貿易機構を通じて日中中小企業の交流のサポート。
	国際交流展示会への参加	無錫市の国際交流展示会への参加(06年07年08年09年4回)。
教育・スポーツ	希望小学校に対しての援助	2006年9月、経済的に困難な状況にある庄河市栗子房鎮永記小学校を対象に、大連希望工程事務所を通じ合計6万円の資金支援。
	希望小学校に対しての援助	2007年11月、会社及び社員より、庄河市栗子房鎮永記小学校に学校の教育条件改善のための費用として、12,117円の資金支援。
	希望小学校に対しての援助	2007年、2009年、社員から庄河市栗子房鎮永記小学校に勉強用具、書類など8220件の物品を提供、会社からはデジタルカメラ、各種スポーツのボール30個を寄贈。
	希望小学校に対しての援助	2006年以来、経済的に困難な状況にある庄河市栗子房鎮永記小学校を対象にした、毎年“中秋節”の際、会社の党支部書記と工会主席より、従業員代表として学校の全従業員と学生に月餅を寄贈。
	希望小学校に対しての援助	2009年6月13日、経済的に困難な状況にある庄河市栗子房鎮永記小学校の全従業員と学生を対象に“大連一日旅行”のイベントを行い、社員がボランティアの形で参加した。(聖亜海洋世界、大連観光塔、中山路沿い、会社内の参観)。この活動は大連晩報(2009/06/15 B7版)、半島晨報(2009/06/14 B05版)、新商報(2009/06/14 05版)で報道された。
	希望小学校に対しての援助	2009年9月、経済的に困難な状況にある庄河市栗子房鎮永記小学校を対象に、会社より27,915円を資金支援し、学生服、従業員・学生のスポーツ用服、無線マイク、テーマ測量器、卓球用具、MP3デジタル放送器等を購入。また全従業員の健康検査を行った。
	希望小学校に対しての援助	2009年8月に、経済的に困難な状況にある庄河市栗子房鎮永記小学校を対象に、会社から出資し、大連理工大学の大学生による半月間の現地教育支援イベントを行った。
	【第22回香港特別行政区優秀学生コンテスト】	当プログラムは個人の品格・能力の開発、市民としての意識、社会に対する関与などバランスの取れた青年リーダーを育成し、地域社会に貢献することが目的のプログラムである。香港内のセカンダリースクールの校長先生からの推薦がある、特に優秀な学生のみがエントリーできるコンテストで、論文と面接により10名の優秀学生が選ばれる。今年で22回目となる当プログラムへ当社はメインスポンサーとして毎年120,000～200,000香港ドルを協賛しており、2009年で3年目となる。
	【清華の友—イオン奨学金】	当プログラムは次世代を担う小売業を志す優秀な貧困家庭の子女に対しイオンより奨学金を付与し財政的援助を行い、これを通じ、真に国際社会で活躍できる「商人」を育成し小売業の発展を通じて平和に貢献することを目的としている。毎年合計30万人民元を以下3社の協賛で行っており、2009年で2年目となる。イオン1%クラブ イオンストアーズ(香港) イオンクレジットサービス(アジア)
	【中山大学—イオン奨学金】	当プログラムは教育事業の発展を促進するため、優秀な大学生を奨励し、学生たちが予定通りに卒業でき、社会へ優れた人材をより多く輩出することを目的としている。2009年度より、5年契約で毎年30万人民元を以下3社で協賛している(5年間合計150万人民元)。イオン1%クラブ 広東吉之高天貿百貨有限公司 イオンクレジットサービス(アジア)と協働。
【中山大学—イオンクレジット教育基金2008】	当プログラムは中山大学華南日本研究所の日本研究の研究費や書籍発行に対して協賛することにより、日本語スピーカーの育成を目的としている。当社は毎年12万人民元を協賛しており、2010年で2年目となる。	
香港リトルリーグ、GAY-WUラグビークラブ、サッカークラブ、香港ドラゴンボートクラブ	香港にある各スポーツクラブに対して資金支援。実績は以下のとおり。香港リトルリーグ:HK\$2万/年、GAY-WUラグビークラブ:HK\$2万/年、サッカークラブ:HK\$2万/年、香港ドラゴンボートクラブ:HK\$1万5千。	

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	広州市内の喫茶店		広州
広東省に対する提言	広東省政府	広東省人民政府	三井住友海上火災保険(中国)広東支店
資金支援(寄付金・協賛金等)			三井物産(中国)有限公司(三井物産(株)北京事務所)
見学場所を提供している	自社	アイセック	上海華鐘投資コンサルタント
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	都度状況に応じて実施	日中経済貿易センター	青島寿技研商貿有限公司
展示会への参加			無錫住化電子
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア			共立精機(大連)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			共立精機(大連)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)			共立精機(大連)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)			共立精機(大連)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	大連市内		共立精機(大連)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			共立精機(大連)有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	庄河市栗子房鎮永記小学		共立精機(大連)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	香港及びその他の国や地域(日本や台湾など毎年異なります)	Yuen Long Junior Camber	AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	中国・北京 清華大学	清華大学教育基金会 イオン1%クラブ イオンストアーズ(香港)	AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	中国・広州 中山大学	中山大学教育發展基金会 イオン1%クラブ 広東吉之島天貿百貨有限公司	AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	中国・広州 中山大学	中山大学華南日本研究所	AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.
資金支援(寄付金・協賛金等)	香港		Agehan Japanese Restaurant

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
教育・スポーツ	現地の日本人少年サッカーチームのコーチング	香港で活動する少年サッカークラブチームのコーチの引き受け。
	地元の日本人学校への図書寄贈	今年9月に児童図書を約150冊寄贈。
	Caritas Hong Kong - Computer Refurbish Project	低所得層の子供を対象にしたコンピューター再生計画を参加し、自社製品のコンピューター及びマウスなどを香港明愛(Hong Kong Caritas)に寄付。
	大学生への奨学金	大学生への奨学金として16万円を毎年支援。
	走近日企感受日本	北京地区の大学生を年2回日本へ研修旅行へ派遣。企業見学、日本の大学との交流、ホームステイ等。
	エプソン「愛心教室計画」農村教育支援プロジェクト	08～09年に、権威のある教育機構及び教育専門家と連合をし、甘肅省天水市秦安県千戸郷の山村小学校に対する調査、研究、教育、教師向け育成トレーニング、学生夏キャンプなどの一連の教育支援活動。
	大連市「キヤノン杯」日本語弁論大会	1989年から毎年大連市政府との共催により、小・中・高・大学生、社会人を対象に日本語弁論大会を開催。20回目を迎えた今年は、予選を含めた参加者が約11,000人を数えた。
	希望工程小学校の開設と継続的な支援	大連市内の経済的に恵まれない地域に、小学校を設置し、毎年継続的に教材・器材等の支援を行っている。
	地元大学奨学金制度の実施	地元の大連理工大学で奨学金制度を実施。経済的に恵まれない学生を対象に奨学金を支給。
	子ども環境教育	2009年5月から、従業員が小学校へ出向く環境教育をスタートさせた。同様の活動を中国国内の全事業所が同時に行い、10年間で10万人の児童に対する環境教育を実施することを目指す。環境活動にも関連している。
	パナソニック育英基金	1995年に松下育英基金(当時)を設立、以後中国各地の大学生に奨学金を支給。これまでに約5,500名の学生に対し、累計約550万円の奨学金を支給。
	みずほ奨励基金	中国における基礎教育分野での支援を目的に北京の中学校3校に基金設置。各校生徒・教師を対象に毎年各40万円の奨励金を授与。計10年間の活動を行っている。
	みずほ基金	将来、中国の金融界で活躍する若者の育成支援を目的として、対外経済貿易大学に50万米ドルの基金設置。現地の学生や教師を対象に金融セミナー開催。教育関係設備贈呈等様々な活動を展開。
	行員及び親族の子女に対する「子ども参観」の実施	2009年8月19日、みずほコーポレート銀行(中国)有限公司大連支店は「子ども参観」を実施し、行員及び親族の子女13名が参加。子供達は支店見学やお金に関する知識を学び、父母の仕事に対する理解を深めるとともに行員間の交流に役立った。
	亜細亜大学「アジア夢カレッジ」での講義を実施	2008年11月13日、みずほ(中国)大連支店太田支店長は、大連外国語学院で開催されたアジア大学の産学連携教育プログラム「アジア夢カレッジ」で、日中の大学生27人に「中国の仕事と生活」について講義した(国際交流、協力にも該当)。
	障害者スポーツへの支援	障害者のスポーツ選手を社員として雇用。昨年の北京でのパラリンピックにも中国代表として出場し、金メダルを取った。
	「映像・希望之光」教育支援プログラム	2009年から中国青少年発展基金会の基金で建設された希望小学校の中で「撮影教室」を開設し、写真を撮ることを通じて、子供たちの世界への認知と感受性を高めることをサポート。三年間で100校を目指す。また、映像交流活動を通じて、青少年たちの視野を広げ、彼たちに心の交流を深めてもらう。キヤノンは資金と機材の提供で支援している。
	キヤノン愛心助学活動	2006年から、キヤノン(中国)が中華慈善総会と協力し、特定モデルのキヤノン複写機を一台販売したら100円を雲南省麗江貧困地域の子供たちに援助する。その援助金は貧しい子供の学費に使われる。2008年末までは、90校近くの800名余りの生徒がこの援助金に恵まれた。今後も継続する予定。
	北京大学キヤノン奨学金基金	1998年、キヤノンが北京大学建校100周年を記念して「北京大学佳能奨学金基金」を設立した。基金の金額は5,000万円で、毎年大学生の奨学金として支給する。
	尚庄郷東芝希望小学校に援助している	毎年、尚庄郷東芝希望小学校に援助している。四川省汶川大地震に現金を94937元寄付した。
東芝希望小学校に援助している	毎年、東芝希望小学校に資金を寄付している	

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
社員ボランティア	香港島および九龍	Junior J Leaguer	MEP Hong Kong Limited
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	杭州日本人学校		NEC軟件系統科技(杭州)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	オフィス	香港明愛 (Caritas Hong Kong)	Toshiba International Procurement Hong Kong, Limited
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	大連		アルプス(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	北京・日本	中国日本商会	アルプス(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	甘肅省天水市秦安県千戸郷の山村小学校	中国21世紀メディア集団 中国青少年發展基金会	エプソン(中国)有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	大連市内のホテルの特設会場	大連市人民政府	キヤノン大連事務機有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	大連市内:4地域	大連市希望工程弁公室	キヤノン大連事務機有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	大連理工大学		キヤノン大連事務機有限公司
社員ボランティア	北京市内の小学校		パナソニックチャイナ
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)			パナソニックチャイナ
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	北京	中国人民大学附属中学、北京大学附属中学、清華大学附属中学	みずほ(中国)北京支店
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	北京	対外經濟貿易大学	みずほ(中国)北京支店
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	みずほコーポレート銀行(中国)有限公司大連支店		みずほコーポレート銀行(中国)有限公司 大連支店
講義の実施	大連外国語学院		みずほコーポレート銀行(中国)有限公司 大連支店
資金支援(寄付金・協賛金等)	自社	障害者のスポーツ団体	欧姆龍電子部品(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	今年は湖北、安徽、広西、四川、甘肅、寧夏、江蘇、遼寧の八つの省から始まる。	中国青少年發展基金会(CYDF)	佳能(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	雲南省麗江地域	中華慈善總會	佳能(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	北京大学		佳能(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	会社	尚庄郷東芝希望小学校	河南
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	会社	東芝希望小学校	河南

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
教育・スポーツ	中国児童少年基金会「春の蕾」	中国児童少年基金会を通じて女子50名の中学教育支援(10万元)および文房具等を寄付。
	江南大学奨学金付与制度の設置	江南大学奨学金制度の設置
	奨学金支給他	西部地区の12の大学の学生(約300名/年)に奨学金支給。京セラの主たる拠点所在地の小中学生約40名を日本に招待。
	地元小学校における絵画コンクール	地域の小学校における絵画コンクール実施を提案、支援。
	学生見学会	日本人学校の学生職業体験。
	インターンシップ生受け入れ	香港内大学よりインターンシップ生として学生を毎年若干名受け入れ、社内各部にて数週間に渡る研修を行う。
	チャリティ・ゴルフ参加による寄付金の拠出	日本人倶楽部主催、スマートーン・ボーダフォン社協賛のチャリティ・ゴルフイベントに社員が参加。この参加費用は、香港公益金および港日文化・教育交流基金に寄付される。
	中山大学冠講座への参加	広州日本商工会、広州日本総領事館による中山大学冠講座の第7回目について、中国現地法人南董事総経理が講演。
	北京大学三井創新論壇	日中間の経済・文化交流並びにビジネス活動と相互理解を促進する目的で北京大学の在学学生(EMBA、MBA、EDPコース)や同コースの卒業生、企業関係者を対象に世界トップクラスの企業CEOまたは中国地区総代表、日中の著名学者を講師として年間6～8回の講座を開講するもの。
	陽春市合水鎮三菱商事希望小学校建設援助	2002～2003年、陽春市合水鎮三菱商事希望小学校に対して、建設援助。
	海豊県三菱商事希望小学校建設援助	2003～2004年、海豊三菱商事希望小学校に対して、建設援助。
	清遠地区連山三菱商事希望小学校建設援助	2004～2005年、清遠地区連山三菱商事希望小学校に対して、建設援助。
	2007年度、清遠連山県太保希望小学校教育設備支援	2007年、清遠市連山県太保希望小学校に対し、合計約10万元の図書、黒板、本棚等の教育設備を寄付。
	2008年度、汕尾市海豊県三菱商事希望小学校運動場改善及び教育設備支援	海豊県三菱商事希望小学校に対し、約15万元を運動場の改善の支援、及び体育用品、図書に寄付。
	希望小学校優秀学生代表及び先生の広州視察招待	2009年9月に、援助した清遠市連山県太保希望小学校、海豊県三菱商事希望小学校、陽春市合水鎮平北三菱商事希望小学校の優秀学生代表及び先生合計12名を広州に招待。ヤクルト工場、科学センター見学等を行った。
	中国希望工程プログラムに則った、貧困地区への学校建設支援	希望工程に寄付を実施し、貧困地区への学校建設(08年度にて資金提供)。
	Hong Kong & Kowloon Walk	Community Chestへの協賛金。
	三洋バスケットエネループ杯	地元対象のバスケットボール大会を開催。
	地区運動会	地元の運動会に寄付金贈呈。
	華鐘希望小学校建設と奨学金基金	華鐘小学校の設立、奨学金プログラムに毎年10万元を上海青少年基金会にて資金支援。
	小学校寄付	07年より毎年1校の小学校へ20万元を寄付し建物の老朽化防止や学習用具を寄付。
	地元小学校への奨学金寄贈	地元の低所得層の生徒向けに、教材や学費に充当してもらう目的で毎年1万元寄贈。(2005年まで)
	大学生への奨学金援助	貧困学生への支援。

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	四川省平昌	中国児童少年基金会	華昇富士達電梯有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	江南大学	江南大学	貝斯(無錫)信息系統有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)		中日友好協会、友好平和發展基金会	京セラ株式会社北京事務所
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	主に広東省紫金市藍塘県などの事業地で山村の分校などへの支援を意識している	地元鎮政府、地元小学校	惠州南油林業經濟發展有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	建設工事現場	日本人学校	五洋建設株式会社
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	三井物産香港オフィス	香港大学	香港三井物産
資金支援(寄付金・協賛金等)	香港内ゴルフコース	香港日本人倶楽部、SmarTone-Vodafone、香港総領事館、香港日本商工会議所、香港公益金、港日文化・教育交流基金	香港三井物産
講演	中山大学	広州日本商工会 広州日本総領事館	三井住友海上火災保険(中国)広東支店
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)			三井物産(中国)有限公司(三井物産(株)北京事務所)
資金支援(寄付金・協賛金等)	陽春市合水鎮		三菱商事(広州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	汕尾市海豊県		三菱商事(広州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	清遠地区連山		三菱商事(広州)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	清遠市連山県		三菱商事(広州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	汕尾市海豊県		三菱商事(広州)有限公司
社員ボランティア	広州		三菱商事(広州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	安徽省六安市霍山県	安徽省希望工程弁公室、安徽省青少年發展基金	三菱電機空調影像設備(上海)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	Hong Kong	Community Chest	三菱電機香港集團有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	社内	地元政府	三洋能源
資金支援(寄付金・協賛金等)	地元小学校	地元政府	三洋能源
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	内モンゴル自治区、雲南省、四川省		上海華鐘投資コンサルタント
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス		四川省教育厅	成都伊藤洋華堂有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	青島市城陽区前桃林工業園		青島倍速得汽車部件有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	大学	四川大学・中国科学技術大学・浙江大學・武漢大学	村田(中国)投資有限公司

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
教育・スポーツ	“大宇宙助学金”、中国天津市3校大学で毎年給付を実施	2008年12月、「第3回大宇宙助学金」給付を行った。対象大学は、中国天津市の天津大学、南開大学、天津理工大学の3校。「大宇宙助学金」は、経済的な理由で学習が困難な優秀大学生を支援するため、2006年に設立したのもで、給付を実施するのは今年が3回目。各校の計算機学部、日本語学部の学生15名を給付対象者に選定。
	天津各大学スポーツイベントのスポンサーや地元中学校への教育援助交流など、「教育事業と人材育成」支援	天津大学「大宇宙」杯バスケットボール大会は、天津大学ソフトウェア学院、コンピューター学院、環境学院、電信学院など4つの学院及び学部が共同で主催するもので、2007年4月から1ヶ月間、計50試合を行う。今年開催された試合は、多くの感動とドラマを生み出した。
	地元中学校への教育支援	地元中学校への教育支援、パソコン・椅子・デスク・書籍寄付・教員ボランティア。
	四川大地震以外に関する活動	教育・スポーツ分野への支援
	東芝カップ 中国師範大学師範専門理科大学生教学技能創新実践コンテスト	・中国の師範大学生を対象に、将来の優秀な理系部門の教師を育成し、中国の科学および自主创新の振興を目指し、2008年から中国教育部との共催によりスタート。 ・師範大学から将来、理系(数学、物理、化学)の教師になることを志す4年生が参加し、各大学での予選を経た代表者が全国大会(決勝)に出場。小中学生向けの教案論文をまとめ、発表を行う。それぞれの優秀者には、表彰状と副賞を贈呈し、さらに日本での研修を実施。
	希望工程小学校建設支援	中国青少年発展基金と共同で、中国東芝グループとして毎年2校の建設支援を続けており、既に15校が開校している。
	大学生に対する奨学金	教育支援の観点から、清華大学および浙江大学の成績優秀な学生を対象にした、「東芝之友奨学金」を継続実施中。
	宏志班の支援	全国初の宏志班である北京広渠門中学校の宏志班支援を継続実施。毎年、文房具や生活用品を寄贈。
	近隣小学校への寄贈	近隣の小学校へ文房具等の寄贈。
	東芝希望小学校の設立、継続支援	農村地域の子供達に教育の機会を与えるために、小学校を設立すると共に継続的に支援を行う。また、自社に児童を招待し、生産ラインなどの見学を通じて社会に関する学習の機会を提供。
	小学校建設	小学校建設費用を支援。
	近隣小学校へのPCの寄贈及びトレーニングの実施	近隣小学校へのパソコンの寄贈及び基本的な操作方法的先生へのトレーニング実施。
	インターンシップ	中国人大学生に対してインターンシップを実施。
	『NEC愛心書庫』書籍寄贈活動	「NEC愛心書庫活動」とは、中国で日本語を勉強している学生に対して、日本から副読本として本を寄贈し、日本語学習を支援するプログラムだ。家庭や職場で不要になった書籍を日本の従業員が出勤時に持参し、それぞれの職場に設置された収集箱に入れる。収集した書籍は、「障害者の雇用促進」を目的としたNECの特例子会社であるNECフレンドリースタッフ株式会社の従業員により40～50冊づつ、ダンボールに詰められ、中国の大学や専門学校へ送られる。寄贈先の学校では、現地にある中国法人の協力により、寄贈式典を行っている。
	アモイ大学『NEC中日友好助学金』	中国の学校教育を支援する社会貢献活動の一環として、NEC中国はアモイ大学と協力して、家庭の経済が困難ながら、勉強に頑張っている大学生を対象に『中日友好助学金』を設けた。活動は2007年からスタートし、毎年学校側が選出した30名の優秀学生を対象し、約1,000元の助学金を贈呈しており、学生らの成長を見守ってきた。
	中国障害者向け車椅子テニス講習会	NEC(中国)は中国各地の障害者連合会と協力して、2004年から中国における車椅子テニスの普及とレベルアップに貢献してきた。中国における車椅子テニスは、認知度が低くスポーツ用の車椅子さえ普及していない状態だった。NECでは選手育成を目指し、国際大会への遠征や日本の選手との交流試合、選手合宿などの支援を行った。北京パラリンピック出場など、選手の活躍が認められ、2007年からは中国政府による支援も開始される。
	上海市大学生日本語弁論大会活動支援	上海市大学生日本語弁論大会(年1回開催)に航空券の支援。
日立希望小学校	江西省黎川県の小学校の寄宿舎の建設費用を支援。また、毎年運道具、寄宿舎用の布団などを寄付。	

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	中国天津市の天津大学、南開大学、天津理工大学の3校		大宇宙信息創造(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	天津大学ソフトウェア学院、コンピューター学院、環境学院、電信学院など4つの学院	天津大学	大宇宙信息創造(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	天津	天津市慈善協会と天津市修学援助基金連合会	大宇宙信息創造(中国)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、他		中国青年連合会、成都市共青团委員会	東京海上日動火災保険株式会社代表処
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	予選:各師範大学、決勝:北京師範大学(2008年)	中国教育部	東芝(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	中国全土	中国青少年發展基金会	東芝(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	清華大学および浙江大學	清華大学および浙江大學	東芝(中国)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	北京広渠門中学校		東芝(中国)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	横嶼小学校にて		東芝照明(福州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	東芝希望小学校および自社		東芝大連有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	東風本田勵志小学校	東風ホンダグループ	東風本田汽車
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	Wanliao Primary School in Shanghai		東洋工程(上海)有限公司
インターンシップ	上海本社		東洋工程(上海)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	長春、北京、西安、武漢、杭州、アモイ		日電(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	アモイ大学	アモイ大学外文学院	日電(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	北京、天津、上海、広州、南京、昆明	中国障害者連合会及び各地方の障害者連合会	日電(中国)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	上海市	上海市教育委員会	日本航空 上海支店
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	江西省黎川県	中国青少年發展基金会	日立(中国)有限公司

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
教育・スポーツ	小学校建設一部支援	地域社会貢献を代理店共同で実施することを考えていた際、弊社子会社が修理工場を新設する臨沂の地方政府幹部から話があり、図書館・パソコン教室・食堂(計280㎡)及びグラウンド建設、校舎(教室棟)塗り替え等の費用を寄付。
	希望工程に寄付金、物品寄贈、ボランティア	武漢日本商工クラブが主催した希望工程に協力
	貧困学生助学金	家庭経済が困難な学生の学業支援のため、民政局を経由して毎月800円の資金支援。
	牽手奨学金	教育事業の発展を支持し、家庭経済が困難な学生を助けるため、立信職教学校へ毎年10万円の資金援助。
	第十屆運動會損款	建国60周年記念無錫市第10回運動會のため、政府要請による寄付。
	日本への留学生の授業料負担	南通市出身の南山大学(名古屋)への留学生のうち、毎年1名の授業料を負担。
	地域住民公開イベント	毎年8月に福山区公園にて『矢崎の夕べ(文芸会)』を企画し地域社会との融合を図っていたが、本年は福山区公安と協同主催にて交通安全啓蒙活動を企画実施。
	華中科技大学ソフトウェア学院「日本ID奨学金制度」	学費の支払いが困難な大学生を対象に、学費、生活費、実習、就業の機会を提供、支援。
	湖北经济学院計算機学院「ID日本語講座基金」	コンピューター技術専攻の大学生を対象に、大学内に日本語講座を新設し、講座運営資金を支援。
	小学校建設支援	08年09年2つの小学校への建設支援(安徽・河南)。
地域社会活動	事業活動を通じてお客様と取り組む社会貢献活動	弊社の主要事業であるクレジットカード事業活動を通じて社会に貢献するため、以下のような取り組みを行っている。1.社会貢献型カード(チャリティーカード)の発行。2.カードのご利用で獲得したイオンボーナスポイントによる寄付の受付。3.クレジット決済による寄付の受付。4.支店営業所への募金箱の設置。 上記の取組みにより、多くのお客様の善意を各慈善団体にお届けしている。
	会社周辺の清掃活動	会社周辺の環境改善のため、塵拾い等の清掃を行う。
	食物銀行への寄付	社員たちは自発的に購入したインスタントラーメン、コメなどの食料品を都市の社会的弱者支援に役立てるため香港「衆膳坊」(Food Bank)機関に寄付。
	Dress Special Day	出勤時にスーツを着用することを義務付けているが、毎年「公益服装デー」では、60香港ドル以上を寄付した人がスーツ以外の服装で出勤できる。2009年には約5,000香港ドルを集め「香港公益金」へ寄付。
	各種環境美化活動	当社の環境活動の一環として、年間計画に基づき、主に社員ボランティアを募り、会社周辺や市内観光地の美化活動、市政府主催の植樹活動・海岸美化活動への参加などを実施。
	河北省豊寧県社員ボランティア植林活動	トヨタ豊寧県植林PJTに付随する社員ボランティア植林活動で年1回実施。
	交通安全体験活動	幾つかの体験項目を設置して、一般来場者に死角確認・シートベルトの重要性、子供の視野、緊急時の脱出方法、チャイルドシートの装着方法などについて体験してもらって、交通安全意識を向上させる。
	北京オリンピック関係支援活動	北京オリンピック期間中の邦人トラブルサポートのため、日本からの緊急送金プログラム整備。また、期間中の緊急医療支援のため、有志による献血ボランティアも実施。
	湾岸掃除活動の実施	2008年11月8日、みずほ(中国)大連支店は中国東北地方で最も有名な海浜の一つ付家庄公園の海岸でゴミ拾い活動を行う。当日は101人の行員が参加。
	ピンクリボン活動	毎年10月乳がん早期発見啓蒙活動に協賛し、イベントへの社員参加。
	近隣地域への植樹ボランティア	近隣の山門にある寺院へ植樹。
	会社前の公道に横断歩道橋を寄付する。	自社の社員の安全確保を目的として、横断歩道橋の建設資金を寄付。
オムロンデー活動	5/10の創業記念日にオムロングループ各社でボランティア活動を実施。	

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	山東省臨沂市開発区	主催企業:山東省青少年發展基金 共同会社:青島誠日建機有限公司	日立建機(上海)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	クラブ総会や忘年会	武漢日本商工クラブ	武漢東芸建築設計有限公司(I株式会社AO竹田設計)
資金支援(寄付金・協賛金等)	無錫市濱湖区	無錫市濱湖区民政局	無錫大昌機械工業有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	無錫市	支援先:立信職教学校、 連携会社:無錫明芳と台湾信昌	無錫大昌機械工業有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	無錫市	無錫市十運会組委會と無錫市体育局	無錫大昌機械工業有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	愛知県		名古屋銀行 南通事務所
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	福山区河辺広場	福山区総工会、烟台市公安局福山分局交警大隊	烟台矢崎汽車配件有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	各大学	武漢市人民政府	艾迪系統開發(武漢)有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	各大学	武漢市人民政府	艾迪系統開發(武漢)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	無錫市体育館		無錫住化電子
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	香港	Sowers Action SPCA 聖雅各福群會眾膳坊 香港公益金 等	AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.
社員ボランティア	会社周辺	NECグループ全世界一斉の社会貢献活動として実施	NEC東金電子(吳江)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	オフィス	聖雅各福群會「眾膳坊」(St James Settlement - People's Food Bank)	Toshiba International Procurement Hong Kong, Limited
資金支援(寄付金・協賛金等)	オフィス	香港公益金(Community Chest Hong Kong)	Toshiba International Procurement Hong Kong, Limited
社員ボランティア	会社周辺、および大連市内	大連市政府	キヤノン大連事務機有限公司
社員ボランティア	河北省豊寧県		トヨタ自動車(中国)投資有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	今まで上海、広州、天津で実施	現地交通管理部門	トヨタ自動車(中国)投資有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	北京	日本領事部、FESCO	みずほ(中国)北京支店
社員ボランティア	大連付家庄公園		みずほコーポレート銀行(中国)有限公司 大連支店
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	上海、北京		ワコール(中国)時裝有限公司
社員ボランティア	浙江省山門寺院内		横浜密封材料/ホース配件(杭州)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	会社前の道路		欧姆龍電子部件(深圳)有限公司
社員ボランティア	オムロングループ各社の所在する場所		欧姆龙(中国)有限公司

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
地域社会活動	四川省地震関係の義捐	汶川孤児に18万円を支援し、四川華鐘希望小学校の設立に50万円を支援。
	華鐘希望小学校建設と奨学基金	華鐘希望小学校を対象にして、上海青少年発展基金会の奨学金に毎年10万円を支援。
	深圳市の海岸清掃活動	深圳市の海岸清掃活動(従業員有志(48名)によるボランティア活動)
	工場周辺の清掃活動(従業員参加型の環境保護活動の推進)	工場周辺の清掃活動(従業員参加型の環境保護活動の推進)
	ミシン寄贈による農村女性の自立支援(地域社会への経済的な支援の推進)	学費の支払うことが困難な農村女性を対象にした、職業訓練学校へのミシン寄贈による農村女性の自立支援を定期的実施。
	従業員家族の工場参観	従業員の家族を対象にした、家族の工場参観を毎年実施。
	お客様、従業員から古本、子供衣料を集め僻地へ送る活動。	お客様、従業員から古本、子供衣料を集め、僻地の子供たちに使わなくなった本や衣料品を送る。
	各種寄付金寄贈や献血活動	大規模災害時に随時、従業員とともに寄付金寄贈を実施。
	植樹活動	地区に於ける環境緑化の一環として、会社の周辺で植樹活動を行った。
	社員による植樹活動の推進	自然環境の改善・保護をめざし、会社の所在地である番禺区内にて植樹活動を定期的実施。
	市内公園清掃活動	毎年秋に市内の公園のゴミ拾いを、社員のボランティアとして実施。
	蘇州市内公園清掃	毎年10月に蘇州市内の公園のゴミ拾いを社員有志(60名くらい)で行う。
	従業員による近隣清掃活動	従業員による会社周辺の清掃活動を実施。
	地下鉄駅構内整列要員・交差点交通指導員などの社員ボランティア	区の要請に応じて地下鉄駅構内での整列指導活動や、交差点での交通指導員活動を行う。
	清掃活動 老人ホーム慰問 等	社員ボランティアによるゴミ拾い 社員ボランティアによる老人ホーム慰問 等
	公共場所の清掃活動	公共場所の清掃活動
	植樹活動	東芝グループの150万本植樹活動の一環として植樹。
	地区納涼祭の協賛	自社のある社区(共産党の地域組織)が行う地域住民を対象とした納涼祭を協賛。
	社外道路の清掃活動	自発的に社員を集めて社外道路の清掃活動。
	5S活動内容の啓発	会社所在地無錫において2006年に職場環境維持に関する5S活動内容(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の啓発活動を実施。
	会社施設での運動	会社の設置(サッカー場、バスケットボール場)での運動(08年から約10回)。
	地域清掃活動	工場周辺への清掃活動などにより、環境活動に貢献。
	近隣老人ホームへの寄付 現地小学校に奨学基金の設置	近隣老人ホームへの慰問と寄付贈呈を実施。 現地小学校の成績がよいが家庭が貧しい生徒を対象に、資金を支援。(09年実績5000元、以後は未定)
	『従化十五年』記念本の作成資金に 献金した	従化市成立15周年を記念するために、『従化十五年』記念本の作成資金に献金。
	老人ホーム慰問	毎年旧暦9月9日(重陽節)前に会社、工会約15名で老人ホームを慰問。10,000元程度の生活設備寄贈と会社の文芸部による催し物。
	身障者児童村の慰問	毎年6月1日児童節前に会社、工会約10名で身障者児童村への慰問。お菓子等のお土産と児童村の生活環境改善用設備7,000元程度を寄贈。
	低所得児童への学費支援	低所得児童を対象に学費支援(小学校～高校卒業まで2,500元/年)。
	環境	Friend of the Earthでの植林活動

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	四川榮経県及び汶川		華鐘コンサルタント
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	上海青少年発展基金会		華鐘コンサルタント
社員ボランティア	深圳市海岸		吉田拉链(深圳)有限公司
社員ボランティア	工場周辺		兄弟縫纫机(西安)有限公司
社員ボランティア	陝西省渭南市培華芸術学校や自社工場	陝西省渭南市培華芸術学校	兄弟縫纫机(西安)有限公司
社員ボランティア	自社工場		兄弟縫纫机(西安)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	店頭	麦田計画 湖南分社	湖南平和堂実業有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	会社内(広州を中心)		広汽本田汽車有限公司
植樹活動に参加	開発区内	開発区役所	広州曙光制動器有限公司
社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	会社の所在地である番禺区内にて。		広州松下空調器有限公司
社員ボランティア	蘇州新区内の公園(場所は毎年変わる)		三光化成塑膠(蘇州)有限公司
社員ボランティア	蘇州市内で会社近辺の公園		三光化成塑膠(蘇州)有限公司
社員ボランティア	会社に隣接する公共場所		斯大精密(大連)有限公司
社員ボランティア	シュウジャファイ駅地下鉄構内及び同区における交差点。	シュウホエ区	清水建設(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)			蘇州エプソン
社員ボランティア	工場周辺		蘇州松下電工有限公司
社員ボランティア	大連開発区林業管理部門の指定場所	大連開発区林業管理部門	東芝大連有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	社区会場	翠竹社区	東芝大連有限公司
社員ボランティア	会社外回りの道路		東麗塑料(深圳)有限公司
5S内容の宣伝			無錫住化電子
社外の運動をすること			無錫住化電子
社員ボランティア	所在地域		理光軟件研究所(北京)有限公司
社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	近隣老人ホーム 現地小学校		佛山東海理化汽車部件有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	『從化十五年』編委会		广州从化科昂诗汽车配件有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	烟台市福山区回里鎮		烟台矢崎汽車配件有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	烟台市福山区張格庄鎮		烟台矢崎汽車配件有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	福山区小学校	福山区民政局	烟台矢崎汽車配件有限公司
社員ボランティア	Tai Lam Country Park	Friend of the Earth	MAXELL ASIA LTD.

活動分野	活動事例	活動概要																												
	名称																													
環境	Green Power Hike	現地の環境教育のために、「緑色力量(Green Power)」の例年活動グリーンパワーハイクの長距離慈善レースに参加し、4万円の寄付金を集めた。																												
	エプソン「グリーン次世代」青少年環境保護教育プロジェクト	毎年、北京にある小学校の学生、教師を対象に、環境保護トレーニングを行う。																												
	環境対象論文「オルガノ賞」の設置と表彰者への奨学金授与	環境対象論文を対象とした「オルガノ賞」を設置。優秀な論文を表彰し奨学金を授与。																												
	公園緑化運動	毎年深圳市の緑化運動に参加し、約30人のスタッフが指定の公園に苗木を植える運動。																												
	エコバッグの配布	自社でエコバッグを製作し、取引先お客様及びスタッフに配布した。スタッフに配布することにより、環境活動への意識を高めることが出来るとともに、継続的にエコバッグを使用し環境活動へ貢献している。																												
	スバル生態保護基金	中国野生動物を保護するための基金活動。																												
	中国青年トヨタ環境保護賞	中国青年の省エネと環境保護に対する責任感と主体的意識を育成するため環境保護活動における優秀な個人及び団体に資金提供等の形で表彰。																												
	植樹活動	中国国内の各事業所が毎年従業員の数分ずつ植樹を行ない、10年間で100万本の植樹を目指す。2009年5月よりスタート(地域社会活動、国際交流にも該当)。																												
	環境専門人材育成	これまでにグループ内で培った環境保全のノウハウを中国企業とシェアするための講座。講師派遣、研修内容やテキストの提供を実施。09年5月よりスタート。第1回講座は中国国有企業の人材を対象に開催され、30名余りが受講。																												
	環境配慮型金融普及に関する啓蒙活動	中国での環境配慮型金融普及のため、金融当局、銀行業協会、大学・シンクタンク等向け講演会、セミナー実施。環境保護投資大会にも協賛。																												
	植樹ボランティア活動の実施	2009年5月9日、みずほ(中国)大連支店の有志行員81名が、大連市郊外での植樹ボランティア活動に参加。大連市が推進するCO <sub>2</sub> 削減と環境改善に呼応して、参加者は緑化に適している荒地に約200本の苗木を植樹。																												
	地域清掃活動	年に1度、有志社員で地元の山の清掃活動。																												
	省エネ事業を推進	現地で省エネ項目のR&D																												
	華東師範大学の環境保護科学課題の支援	毎年10万円寄付																												
	杭州の杜活動	杭州にある横浜ゴム関連3社にて植樹を実施。昨年は12,000本の植樹を実施。今年度は10月17日に実施。																												
	植樹	毎年1回、政府の主催する植樹イベントに参加する。社員代表50名、植樹する苗木の購入資金を寄付。																												
	「大学生映像公益行」2009キャンソン緑援使者調査活動プログラム	キャンソン(中国)は映像の力で環境保護を支援し、中国の自然や多様性の発展に力を注ぐ。2009年より、大学生を対象に、自然保護の最前線で生態や地元経済発展の実態調査など、貴重な社会実践の機会を提供。キャンソン(中国)は研究活動に必要な資金や機材を協賛する。今後も毎年実施する予定。																												
	WWF児童環境保護教育ウェブサイトの協賛	2008年から、キャンソン(中国)がWWFの「児童環境保護教育ウェブサイト」(www.delightearth.org)を協賛し、三年間に渡ってウェブサイトの建設をサポート。																												
	WWF中国野生動物植物保護小額基金への支援	WWFの動物保護基金に毎年15万円の資金支援を提供し、レッサーパンダと東方白鶴の分布範囲や数量、生存状況、保護措置の研究をサポート。																												
	環境社会活動	蘇州工業園区内の小中学校と提携し、社外外部環境活動への参加、学生への環境勉強会の実施、蘇州工業園区主催の蚤の市への参加等。																												
	植樹活動	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>2004年</td> <td>植樹活動</td> <td>樹木50本</td> <td>5万元(梁山公園)</td> </tr> <tr> <td>2005年</td> <td>植樹活動</td> <td>樹木180本</td> <td>10万元(蓮花山公園)</td> </tr> <tr> <td>2006年</td> <td>植樹活動</td> <td>樹木50本</td> <td>2万元(中心公園)</td> </tr> <tr> <td>2007年</td> <td>植樹活動</td> <td>樹木376本</td> <td>12万元(大沙河公園)</td> </tr> <tr> <td>2008年</td> <td>植樹活動</td> <td>樹木200本</td> <td>8万元(南山公園)</td> </tr> <tr> <td>2009年</td> <td>植樹活動</td> <td>樹木200本</td> <td>8万元(大沙河公園)</td> </tr> <tr> <td>2010年</td> <td>植樹活動</td> <td>樹木100本</td> <td>3~4万元(PLAN)</td> </tr> </tbody> </table>	2004年	植樹活動	樹木50本	5万元(梁山公園)	2005年	植樹活動	樹木180本	10万元(蓮花山公園)	2006年	植樹活動	樹木50本	2万元(中心公園)	2007年	植樹活動	樹木376本	12万元(大沙河公園)	2008年	植樹活動	樹木200本	8万元(南山公園)	2009年	植樹活動	樹木200本	8万元(大沙河公園)	2010年	植樹活動	樹木100本	3~4万元(PLAN)
	2004年	植樹活動	樹木50本	5万元(梁山公園)																										
	2005年	植樹活動	樹木180本	10万元(蓮花山公園)																										
2006年	植樹活動	樹木50本	2万元(中心公園)																											
2007年	植樹活動	樹木376本	12万元(大沙河公園)																											
2008年	植樹活動	樹木200本	8万元(南山公園)																											
2009年	植樹活動	樹木200本	8万元(大沙河公園)																											
2010年	植樹活動	樹木100本	3~4万元(PLAN)																											
広東省環境保護基金	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>2006年</td> <td>環境保護を目的に環境保護基金に寄付(10万元)</td> </tr> <tr> <td>2007年</td> <td>環境保護を目的に環境保護基金に寄付(10万元)。</td> </tr> </tbody> </table>	2006年	環境保護を目的に環境保護基金に寄付(10万元)	2007年	環境保護を目的に環境保護基金に寄付(10万元)。																									
2006年	環境保護を目的に環境保護基金に寄付(10万元)																													
2007年	環境保護を目的に環境保護基金に寄付(10万元)。																													

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員が活動を参加	香港島大潭郊野公園 ～ 大浪湾 Tai Tam Country Park ~ Big Wave Bay	緑色力量 Green Power	Toshiba International Procurement Hong Kong, Limited
社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	北京にある小学校	地球村	エプソン(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	蘇州他	中国科学技術院 蘇州工業園区 管理委員会	オルガノ(蘇州)水処理有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	龍崗市の公園	各日系企業	カシオ電子(深圳)有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	自社		カシオ電子(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	全国	中国野生動物保護協会	スバル自動車(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	全国範囲	中国共産主義青年団・中華全国青年連合会	トヨタ自動車(中国)投資有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)、植樹活動の実施			パナソニックチャイナ
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)		中国国有資産管理委員会	パナソニックチャイナ
資金支援(寄付金・協賛金等)、各種セミナー講演	北京	中国銀行業協会、北京銀監局、 中国人民銀行、清華大学	みずほ(中国)北京支店
社員ボランティア	大連市郊外		みずほコーポレート銀行(中国) 有限公司 大連支店
社員ボランティア	江蘇省無錫市恵山		ヤンマー農機(中国)有限公司
省エネ事業へ投資	山西省		伊藤忠(中国)集団有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	上海		伊藤忠(中国)集団有限公司
社員ボランティア	弊社および併設する横 浜杭州タイヤ有限公司 の3社		横浜密封材料/ホース配件(杭州) 有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	深圳市内	日本商工会	欧姆龍電子部品(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	湖南省岳陽市東洞庭 湖国家自然保護区	中国野生動物保護協会、東洞庭 湖国家自然保護区、首都青少年 生態文化研究センター、首都大 学生環境保護ボランティア協会	佳能(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	北京	WWF	佳能(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	中国東北地方、雲南、 貴州、四川など	WWF	佳能(中国)有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	自社建物、提携小中 学校、外部施設	蘇州工業園区	吉田建材(蘇州)有限公司
社員ボランティア、植樹活動	深圳市内の公園	深圳市	吉田拉链(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)		広東省環境保護基金会	吉田拉链(深圳)有限公司

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
環境	植林活動	砂漠化が進む華北地域での植林活動。
	鉱山における植樹活動	鉱山における植樹活動の実施。
	内モンゴル植林活動	内モンゴルにおける植林実験、植林必要資材の提供。
	近接道路の清掃活動(ゴミ拾い等)	環境月間に際し、近接する道路等の清掃活動の実施。
	貴州黔東南植林活動	2009年2月に、社員4名が三菱中国植林活動に参加し、貴州黔東南で植林。
	環境説明会	環境意識を向上させるため、環境監査、環境法則に関する説明会を支援。
	地元小学校での環境授業	地元の小学校で環境を大切にすることを教育授業を実施。
	植林活動(中国資生堂グループとして)	昨年より10年間にわたり、ボランティアを含む社員で植林活動を行なう。
	会社辺りに緑活動を開始して全員が参加し三日間実施する予定	会社の近隣で3か月に1回定期的に大掃除を実施。
	緑化活動	内モンゴル自治区の「ホルチン砂漠」において緑化活動を推進。資金面の支援に加え、NPO法人と連携して、ボランティア社員を募り緑化活動。
	植樹	植樹活動への資金支援
	地域への植樹活動	地域への植樹活動
	緑の協力隊	中国砂漠化を抑制し、緑の大地を復活させるための植林活動を実施。
	環境関連施設の導入	2007年～2008年に、鑄造業者として、周辺環境への影響度を出来るだけ低くするために、排気、排水、騒音制御の面に、大いに資金を投入して、沢山の環境施設を導入。
	四川大地震以外に関する活動	環境分野への支援
	植樹活動	毎年、北京地区の東芝グループ社員および家族を対象とする植樹活動を実施。
	「Earth Hour (アース・アワー)」活動への参加	2009年3月28日、世界自然保護基金(WWF)が主催する「Earth Hour (アース・アワー)」活動の一環として、北京、上海、広州、成都、大連の5都市に設置している東芝のロゴのネオン広告を午後8時30分から1時間消灯した。
	植樹活動	近隣の公園等での植樹活動。
	『NECの林』植林活動	中国地区では、北京郊外の荒地に緑を取り戻すため、現地法人が個別に行っていた植林活動を統合し、2005年から『NEC之林』プロジェクトを開始した。『五輪のために美しい都市を創ろう』との決意の下、2005年から2009年までの5年間で、北京だけで3,000名以上の従業員が参加し合計5,000本を植樹した。更に延慶県林業局と連携することで、植林した木が確実に育つよう植林後のサポート体制も整え98%の生育率を達成した。従業員の環境意識を高めるため、上海や香港でも植樹活動を行っている。
	内モンゴルの砂漠緑化活動	緑化ネットワークに業務を委託し、村民の方々と一緒に緑化、砂漠防止活動を実施(年に1度は現地ホルチン砂漠へ出向き、又、緑化ネットワークの報告書等にて状況把握に努めている。毎年少しずつ緑が増えてきている。)
	植樹活動 魚放流活動	会社は河西園林局と水産研究所に寄付して、社員が植樹活動と魚放流活動に参加。
	清掃活動	社員は無錫市内の公園で塵を取る活動(06年07年2回)
	植樹活動	毎年リコー華南グループ関連会社の共同活動による、植樹活動。
	環境保全に関する啓蒙活動	環境保護に関する活動を紹介して、その重要性を主に学生に認識してもらい、日常の活動を変えてもらう。
	植樹活動	毎年、環境の日に合わせて植樹活動を行う。
	外部植樹活動への参加	イオングループ主催の植樹活動に、出向者、家族、ローカルスタッフ総勢20名程度で参加。

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	華北地域	地方政府	広汽本田汽車有限公司
社員ボランティア	鉱山		江南-小野田水泥有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	内モンゴル		三井化学
労働奉仕活動	大連市経済技術開発区東北二街(工場の近隣のみ)		三光化成塑膠(大連)有限公司
社員ボランティア	貴州		三菱商事(広州)有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	東北、華南、華中地区	三洋電機(株)本社	三洋電機(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	小学校	小学校	三洋能源
社員ボランティア	甘粛省蘭州市	蘭州市政府	資生堂(中国)研究開発中心
連合活動	会社の隣	アルプス、シャープ等	住化電子材料科技(無錫)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア			捷報(大連)信息技术有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			深圳大豊香化粧料有限公司
社員ボランティア	蘇州近郊の山林		蘇州松下電工有限公司
社員ボランティア	恩格貝・左翼后旗	フジの森・緑化ネットワーク・SSASS	蘇州富士膠片映像機器有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	自社内	大連市環境保護局大孤山半島分局	大連(林)精密鑄造有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、他		中国青年連合会、成都市共青団委員会	東京海上日動火災保険株式会社代表処
社員ボランティア	北京市近郊の山		東芝(中国)有限公司
WWFの活動への参画	北京、上海、広州、成都、大連	世界自然保護基金(WWF)	東芝(中国)有限公司
植樹	近隣公園		東芝照明(福州)有限公司
社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	北京市近郊	延慶県林業局	日電(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	内モンゴル自治区通遼市のホルチン砂漠	緑化ネットワーク(NPO団体)	日立建機(上海)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	河西区有誼南路と珠江道の間 劉庄橋北側海河の西側	河西園林局 天津水産研究所	富士通天国際貿易(天津)有限公司
市内公園で塵を取る活動			無錫住化電子
社員ボランティア	深圳市内		理光軟件研究所(北京)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	北京日航新世紀飯店	中日電子政府応用技術協会	理光軟件研究所(北京)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	北京市内の植樹活動が必要な場所		理光軟件研究所(北京)有限公司
社員ボランティア	解甲鎮 治頭南山	イオングループ	烟台矢崎汽車配件有限公司

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
医療・社会福祉	献血活動	社員より無償献血を実施。
	孤児・身体障害児の専門機関「社会福祉院」への物品支援	社員に募金を募り、ミルクやおむつ等の必要品を購入し支援。
	健康快車	貧困地域に治療設備を備えた列車を走らせ現地で白内障治療を行なうプログラムに、工会と共同で20万円の寄付を実施(人道支援も該当)。
	老人ホームのボランティア活動(09年7月)	保全スタッフが老人ホームへ訪問、電気製品の修理サービスを提供する活動。
	障害者の雇用	深圳市の障害者雇用ガイドライン0.5%の維持。
	老人ホームの慰労訪問	毎年1回、地域内の老人ホームを慰労訪問。社員代表約20名にて、お菓子、食べ物、自社製品の体温計などを提供。
	障害者施設への物品の寄付	深圳市内の障害者施設へ、機能回復のためのトレーニング機器を寄付。
	HIVイベント支援	2009年3月13日に実施された、AIESEC国際経済学商学学生聯合会主催のHIVに関連する大連論談イベントへ、専用資金として6,240円を支援。資金は、AIDS患者に特定して援助提供を行う公益組織への寄付として利用。
	献血活動:会社で毎年実施	従業員ボランティアによる集団献血奉仕。
	障害者雇用	障害者雇用を目的とする防塵服クリーニング部門を設立。 <a href="http://www.epson.jp/osirase/info070518.htm">http://www.epson.jp/osirase/info070518.htm</a>
	献血活動	社員を対象に医療貢献の見地から毎年献血を行う。
	老人ホーム(敬老院)慰問活動	孤独な老人生活を過ごしているお年寄り達に贈り物をし、余興を楽しんで頂いた。
	Walk for Millions'への日立グループとしての参加	日立グループの従業員がボランティアで題記イベントへ参加し、参加者の数に応じて会社がコミュニティ chestsへ寄付。
	扶貧帮困送温暖活動	基本的な生活を送るのが困難な人々に、皆で暖かいお正月が迎えられるように、春節を前に5万円を寄付。
災害支援	各種震災支援活動	①香港共同募金会によるチャリティーイベント'WALK FOR MILLIONS'への寄付 ②香港赤十字による四川大地震犠牲者のための募金活動
	四川省大地震支援	会社従業員からの義捐金を集めて送金。
	災害支援(四川大地震へ寄付金)	2008年5月15日、会社/社員/工会で10万円(RMB)の寄付金を大連市紅十字会経由で四川地震災害区に支援。
	地元大学との産学共同の人材育成	地元大学と産学共同での人材育成の為に、2004年から、10万円/年の資金を支援し、社会向けの専門技術人材(大卒)を計447人育成。それに、地元大学に実験設備(18.3万円)を16set提供。
	文化活動への支援(現地政府主催の文芸演出に参加)	地域社会活動への援助(芸術・文化面)として、08年5月社員を25人派遣し、北京市外資系総工会主催のオリンピック迎え・四川地震支援の文芸演出に参加。09年1月、大連高新区政府主催のITパーク文化活動豊富の為の大型文芸出演に参加(社員70人派遣)。09年7月、社員を84人派遣して建国60周年迎え合唱試合に参加(累計9万円の支出)。
	四川地震被災地への教育支援活動	四川地震被害を受けた現地小学校に50万円を寄付し、永久性抗震希望小学校を建設。
	希望工程	四川大地震の被害があった地域への教育施設建築のための資金提供。
	地震被害への寄付金提供	地震被害のあった地域に対し、寄付金提供。また社員がボランティアで寄付金を集める。
	千本映画無料放送	四川地震被災地の住民たちに心のケアをするため無料で1000本の映画を放映。
	トヨタ移動図書館	3台のコースタを使って被災地にある50校の中・小学校へ月に1回図書を送って、学生の心のケアを応援

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
社員ボランティア	社内		NEC東金電子(呉江)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	呉江市の孤児・身体障害児の専門機関である社会福利院		NEC東金電子(呉江)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)		中華健康快車基金会	パナソニックチャイナ
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	老人ホーム		愛信精機(佛山)自動車部品
働く場所の提供	自社		欧姆龍電子部品(深圳)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	深圳市内		欧姆龍電子部品(深圳)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	深圳市内		欧姆龍電子部品(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)		大連理工大学	共立精機(大連)有限公司
社員ボランティア	会社内	蘇州市赤十字社	蘇州エプソン
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)			蘇州エプソン
社員ボランティア	会社内	蘇州市血防中心	蘇州富士膠片映像機器有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	沙井敬老院		東麗塑料(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	香港	コミュニティチェスト	日立(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	無錫市濱湖区華庄街道	無錫市濱湖区華庄街道事務所	無錫大昌機械工業有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	Hong Kong	①The Community Chest of Hong Kong ②Hong Kong Red Cross	ITOCHU HONG KONG LTD. 伊藤忠商事(香港)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	社内		NEC軟件系統科技(杭州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	寄付活動場所は会社、寄付金贈呈場所は大連市紅十字会。	大連市紅十字会	アルパイン電子(中国)有限公司大連開発センター
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	地元大学	大連東軟信息学院、大連中日友好交流中心、大連理工大学、大連交通大学、大連交通大学軟件園、遼寧師範大学大連海事大学	アルパイン電子(中国)有限公司大連開発センター
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	文芸活動:北京市、大連市(テレビ台など)		アルパイン電子(中国)有限公司大連開発センター
資金支援(寄付金・協賛金等)	四川省涼山州会理県鎖水村鎖水小学校	中国青少年發展基金会	エプソン(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	四川	中国青少年基金	スバル汽車(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	四川	中国慈善總會	スバル汽車(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	四川地震被災地区	光彩基金会	トヨタ自動車(中国)投資有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	広元、綿陽、綿竹等の四川被災地	光彩基金会	トヨタ自動車(中国)投資有限公司

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
災害支援	トヨタ助学金特別枠	トヨタ助学金PJTをプラットフォームとして地震の影響で大学進学のコストを負担しきれない学生に資金提供。
	災害発生時人工衛星データ提供	災害発生時に中国政府機関へ人工衛星データを迅速に提供。
	四川大地震被災地への支援	マツダグループとして、義捐金を寄付。 その後、上海赤十字社を通じて災害支援用の車両を1台寄付。
	中国水害救援義捐金	2007年夏に中国南部で発生した深刻な水害救援のため、有志にて義捐金拠出。
	中国南部雪害義捐活動	2008年初に中国南部で発生した大規模雪害救援のため、募金実施のほか、現地農産物の共同購入を実施。
	四川大地震義捐金	2008年春の四川大地震被災救援のため、有志義捐金を実施。
	四川省地震災害に関する義捐金の支給	2008年5月12日四川大地震以来、みずほコーポレート銀行(中国)有限公司大連支店では高い関心を持ち、災害直後に行員126人が自発的に義捐金31,380円を募集、大連市赤十字会経由で被災地に寄付。
	四川大地震直後の被災地へ発電機の提供	四川大地震直後の被災地へ発電機の提供
	四川地震災害支援	四川地震災害の助勢として、社内で寄付金を募り援助支援。
	災害への資金提供援助	社員全員から義捐金を募り、中国赤十字を通して寄付。
	台湾大地震への義捐金の寄付	全社員を対象にして、義捐金を募り、中国赤十字を通して、寄付。
	四川大地震への義捐金	会社および従業員による義捐金を募り、深圳市赤十字会等に265,566円を寄付。
	広東省水害対策義捐金	2005年広東省水害対策義捐金5万円(深圳市福永街道) 2006年台風寄付金10万円(深圳市福永街道)。
	“5.12”四川大地震の援助	2008年“5.12”四川大地震の際、会社及び社員全体で、松本董事長と総経理と共に、二日間で10.35万円を寄付し、大連赤十字会を通して、資金支援した。大連晩報の愛心寄付欄(2008/05/16 B2版)に記載された。また、孟総経理は重慶出張の途中で、余震の危険がある地震災害現地を訪れ、持っている現金3,000円余りを全部寄付した。(それ以前、既に会社で5千円寄付)。2008年7月、会社として四川大地震災害地域にテント100個を寄贈。
	“莫拉克”台風災害の支援	2009年8月、全社員は“莫拉克”台風災害の被災者を対象にした、7,725円を寄付して、大連赤十字会を通して資金支援した。
	四川大地震復興支援	四川大地震発生後、会社の人事総務部が主体となり、従業員から募金をしてもらい、それらを赤十字社に献金した。
	四川大地震に関する活動	四川大地震に関する復興資金支援
	四川大地震に関する活動	日本人クラブ主催による、四川大地震災害支援金の寄付。
	2008年中国四川大地震へ寄付	2008年中国四川大地震へ寄付。スタッフより集めた募金を四川省信息产业庁に渡した。
	中国南方雪災害へ寄付	中国南方雪災害へ寄付。会社から寄付金を商務部に寄贈した。
	江西省九江市地震へ寄付	スタッフより集めた募金を江西省九江市政府に寄付した。
	四川大地震に対する義捐金拠出	四川大地震の義捐金として、社内で寄付を募り、集まった寄付と同額を会社が拠出。合計を紅十字会を経由して寄付。
	四川大地震に対する災害見舞金寄付	四川大地震に対する災害見舞金で、社員の寄付金と同額を拠出して、蘇州市紅十字会に贈呈。
	四川大地震復興支援	香港赤十字への寄付。
	四川大地震復興支援	被災地訪問、寄付金、製品提供。
	四川省地震災害支援	四川省地震災害支援として20万円を寄付。
	四川大地震に関する活動	四川大地震の被災者に対し、日本赤十字を通じて義援金を寄付。
	四川省地震関係の義捐	華鐘小学校の設立、汶川孤児にそれぞれ50万円、18万円を資金支援した。

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)	西南交通大学、重慶大学	宋慶齡基金会	トヨタ自動車(中国)投資有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	中国国内	中国政府機関:国務院、民政部、科学技術部、測絵局	バスコチャイナ
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	四川・上海	上海赤十字社	マツダ(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	北京	中国日本商会、中国民政部	みずほ(中国)北京支店
資金支援(寄付金・協賛金等)、地元農産物購入	北京	中国日本商会、北京日本人会、北京外商投資企業協会	みずほ(中国)北京支店
資金支援(寄付金・協賛金等)	北京	中国日本商会、中国民政部、中国紅十字總會	みずほ(中国)北京支店
資金支援(寄付金・協賛金等)	大連市赤十字界		みずほコーポレート銀行(中国)有限公司 大連支店
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、他		赤十字を通じて提供	ヤンマー農機(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	社内	NPO	奥得時精密電子(蘇州)有限公司
	自社		欧姆龍電子部品(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	自社		欧姆龍電子部品(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			吉田拉錠(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)		深圳市福永街道	吉田拉錠(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)			共立精機(大連)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			共立精機(大連)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	会社内	広州赤十字	広州曙光制動器有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、他			杭州アスレ有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			佐藤(西安)工程管理有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			三井物産(中国)有限公司(三井物産(株)北京事務所)
資金支援(寄付金・協賛金等)			三井物産(中国)有限公司(三井物産(株)北京事務所)
資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)			三井物産(中国)有限公司(三井物産(株)北京事務所)
資金支援(寄付金・協賛金等)	蘇州新区	蘇州市紅十字会	三光化成塑膠(蘇州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	社内		三光化成塑膠(蘇州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	香港	香港赤十字	三菱電機香港集团有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	四川 綿竹市	蘇州市政府	三洋能源
資金支援(寄付金・協賛金等)		大連開發区総工会	斯大精密(大連)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			捷報(大連)信息技術有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	雅安榮経県		上海華鐘投資コンサルタント

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
災害支援	愛心消費、援助災区 大型公益活動	四川省・成都市の書記、市長、紅標会とともに2009年5月8日から年末まで、店内・本社・本社組合・シンガポール現地法人・主要取引先とともに募金を募り10万円の募金を成都紅標会へ支援する。
	四川大地震発生時の資金支援	四川大地震に関する復興資金支援
	四川大地震支援	四川大地震で資金支援をした。
	四川大地震への寄付金	日本人会、地元政府を通して、四川大地震の被害者への寄付金を支援。
	四川大地震に関する活動	2008年5月四川地震への災害支援として、現地法人を代表として会社全員が寄付金合わせて1.3万円を寄付。
	四川大地震に関する資金支援	四川大地震時に会社から8万円の資金支援を実施、また社員から7万円の寄付。合計で15万円の資金支援を実施。
	四川大地震義援金活動	四川大地震義援金活動
	四川大地震への寄付	社員から寄付を募り、同額を会社がプラスして寄付。
	四川地震災害寄付	四川地震災害寄付。
	中国四川大地震寄付金を中国赤十字会へ贈呈	地震発生後二日目から、中国四川省汶川の地震による被災者を支援するために、義捐金募集活動を行う。その後、さらに第二回、第三回義捐金送付実施。
	中国南部暴風雪害に義捐金、救援物資寄付及び支援活動を実施	2008年1月より、中国南部で暴風雪の深刻な被害を受けた被災者を支援する為、義捐金、救援物資の寄付及び支援活動を行う。
	四川大地震支援	四川大地震に合計16万円を寄付。内、会社から10万円、社員個人行為で6万円を寄付。
	寄付	四川大地震の被害者への寄付金
	四川大地震に関する活動	四川大地震に関する復興資金支援
	四川大地震の復興支援	震災直後に東芝グループとして、総額1億円相当の現金と物資を被災地に寄贈。そのうち139万円を、「抗震希望教室」50室分の建設に充ててもらふこととし、中国青少年発展基金会へ寄付。また、綿陽にある綿陽富樂中学校と綿陽花園小学校2校の復興支援として、約22万円相当の東芝照明器具を寄付。
	四川大地震への寄付	会社から1万円、個人寄付で約1万円を寄付。
	台湾への台風被害の寄付	台湾台風被害に対して5千円の寄付。
	四川大地震への寄付	四川大地震に関して20万円を寄付。
	中国四川大地震支援活動	NECグループは四川大地震の被害に対し、寄付・製品寄贈、社員義捐金など総額5,000万円超を支援した。日本国内NECグループ57社の従業員による義捐金・約900万円(約60万円)は、日本赤十字社に寄付した。中国地区では、NECグループ現地法人38社から1万人を超える従業員が寄付活動に参加し、会社からの寄付と併せて約210万円が集まった。他にも世界各地で寄付活動を展開した。義捐金は赤十字やユニセフなど救援NGOに寄付。
	四川大地震への寄付	四川大地震に支援するために、天津市紅十字会に寄付。
	四川大震災への寄付金	会社、社員による現金寄付。
	1998年武漢大洪水に寄付金2万円	98年武漢大洪水時、市民政局に2万円寄付。
	四川大地震復興支援	四川地震へ支援 紅十字会に約5万円を寄付。
5.12四川地震損款	無錫市政府指示により、08年5月に、無錫市紅十字会を経由して5万円を寄付。	
5.12四川地震損款	自社の労働組合が、自主的に社員からの寄付金を集めて、無錫市紅十字会を通して30,873.50円を震災被災区に送る。	
四川大地震に関する活動	四川大地震発生後、社内で寄付金を募り、会社寄付金と一緒に収めた。	
四川大地震に関する活動	四川大地震で被災された地域に対し10万円を資金支援。	
四川大地震への義捐活動	全社的に募金活動を行い、30万円弱の義捐金を深圳市赤十字經由被災地へ寄付済み。	
自然災害時での募金活動	大地震発生時における募金活動。	

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	成都伊勢丹、東京本社、シンガポール現地法人(当地の日本外の出資会社)	(株)伊勢丹 伊勢丹労働組合 ISETAN(SINGAPORE) LIMITED	成都伊勢丹百貨有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)			成都豊田紡汽車部件有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			西安凱愛房地產開發有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	青島市		青島倍速得汽車部件有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	会社	会社従業員	蘇州井上中鼎弁公機器製品有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			蘇州松下系統科技有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			蘇州松下電工有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	上海(他中国現地法人も実施)	赤十字	村田(中国)投資有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	北京		太平洋水泥(中国)投資有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	天津	弊社日本法人	大宇宙信息創造(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	中国全土弊社グループ会社	中国・日本関連企業	大宇宙信息創造(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	大連開発区	大連市くれない十字会	大連(林)精密鑄造有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	社内		天津太平洋汽車部件有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)		中国青年連合会、成都市青団委員会	東京海上日動火災保険株式会社代表処
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	四川地区	中国青少年發展基金会	東芝(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	会社内	赤十字	東芝照明(福州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	会社内	市政府	東芝照明(福州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	上海	赤十字社	東洋工程(上海)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	日本、中国及び世界各地のNECグループ会社	中国赤十字協会等	日電(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	天津市紅十字会	天津市紅十字会	富士通天国際貿易(天津)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	社内	中信集団武漢市建築設計院	武漢東芸建築設計有限公司(I株式会社AO竹田設計)
資金支援(寄付金・協賛金等)	市民政局		武漢東芸建築設計有限公司(I株式会社AO竹田設計)
小学校の建設支援	工場内		無錫住化電子
資金支援(寄付金・協賛金等)	無錫市	無錫市紅十字会	無錫大昌機械工業有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	無錫市 自社内	無錫市紅十字会	無錫大昌機械工業有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	大連	利優比(大連)機器有限公司	利優比压铸(大連)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	湖北省武漢市經濟技術開發区	湖北省武漢市赤十字会	理研汽車配件(武漢)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	社内		理光軟件研究所(北京)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	会社内	中国日本商会	理光軟件研究所(北京)有限公司

活動分野	活動事例	活動概要
	名称	
災害支援	四川大地震の支援	現地企業として四川大地震に献金したと同時に、会社の中で社員を招集して献金を募った。
	四川大地震寄付	会社、工会、従業員にて義捐金(300千円)を寄付。
	四川への義捐金	四川への義捐金
人道支援	四川大地震募金活動	四川大地震救援のための募金活動。NECグループ総体的な活動
	太陽村児童センター支援活動	受刑者の子女・孤児等を保護、教育支援活動を行っている北京市太陽村を支援するため、北京外資銀行メンバーとして基金、衣類・書籍贈呈等を実施。
	少数民族貧困地域振興のため、大連市慈善総会への寄付	2009年8月5日、みずほコーポレート銀行(中国)有限公司大連支店の有志行員は東北地域の少数民族貧困地域振興のため、大連市傘下の大連慈善総会を經由し、各自が持ち寄った洋服、本、文房具等の物資計274点を寄付(社会福祉にも該当)。
	江西省大地震後に希望小学校設立の資金提供	江西省大地震後に希望小学校設立の資金提供
	障害者への手伝い	障害者施設に毎年少なくとも5万円を寄付
	貧困地域支援	貧困地区低所得層の子供(60名/年)への就学援助として、毎年38,000円を寄付。
	①安徽省・河南省の小学校への建設支援 ②四川省で出身の社員への支援と紅十字会への寄付 ③市内公園での大掃除活動	国内の困難場所の小学校への支援 毎年5円ぐらい。
	敬老愛幼活動	商業性を持たない幼稚園、老人ホームと子供のいない老人宅、障害を持つ軍人宅、低所得家庭への林内ガス器具の無料設置、無料点検、無料手入れ(一部の部品交換は有料)サービスを継続的に実施。
	闘病患者の高額手術費用を支援するための社内募金活動	闘病患者の高額手術費用を支援するための社内募金活動。
	大連市残疾人連合会への寄付	2008年3月に、大連市残疾人連合会に5000円を寄付した。
	献血活動	献血活動を定期的にも実施。
	障害者への支援	大連身体障害者連合会に1万円を寄付。
	大連慈愛月への寄付	災害被災者、貧困者への金銭的支援。
	自発的な募金活動	社員による自発的な募金活動。
	品物寄付	自分が必要の無いものを寄付しよう社員に呼び掛けて、集めてきた物を民政部门を通して内陸部に寄付。(活動中)
	四川大地震被災者支援	四川地震災害出身者への寄付金約2万円。
	寄付活動	07年白血病を発症した社員のため全社員から10万円が寄付。
武漢市貧乏家庭の重病生徒を支援する活動	武漢市において貧困層家族の重病生徒に対し10,000円を資金支援。	
交通安全	安全運転普及活動	安全運転知識の啓発と教育。
その他	模倣品対策	模倣品の取り締まりを強化するため、三洋電機㈱とともに、JETROや優良ブランド保護委員会などの団体を通じて日系、欧米の現地企業と協働し、税関など関係行政機関に対して模倣品の鑑定説明会を開催するなど、関係行政機関による取締活動を支援。

活動形態	活動場所	関係団体	企業名
資金支援(寄付金・協賛金等)	会社内		广州从化科昂诗汽车配件有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	現地法人	民生局	烟台矢崎汽車配件有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			佛山日克耐熱材料有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	社内	NECグループ	NEC東金電子(吳江)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	北京	北京市銀行協会、太陽村、北京銀監局	みずほ(中国)北京支店
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	大連慈善総会		みずほコーポレート銀行(中国)有限公司 大連支店
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	江西省瑞昌市	江西棉花科学研究所子弟学校	ヤンマー農機(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	北京	中国残疾人福利基金会	伊藤忠(中国)集团有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	庄河市布雲山郷	大連市“希望工程”	斯大精密(大連)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	小学校の本地		住化電子材料科技(無錫)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	中国全土	上海ガス集団	上海林内有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	天津、広東省、他		大宇宙信息創造(中国)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	大連市	大連市残疾人連合会	大連(林)精密鑄造有限公司
献血	会社内		東芝照明(福州)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	不特定	大連身体障害者連合会	東芝大連有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	不特定	市政府	東芝大連有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)	会社内		東麗塑料(深圳)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	社内		東麗塑料(深圳)有限公司
資金支援(寄付金・協賛金等)			無錫住化電子
資金支援(寄付金・協賛金等)			無錫住化電子
資金支援(寄付金・協賛金等)	湖北省武漢市	武漢市赤十字会 武漢市教育局	理研汽车配件(武漢)有限公司
物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア	広州・北京・上海・成都等		广汽本田汽車有限公司
自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	浙江省、広東省など	三洋電機(株)本社	三洋電機(中国)有限公司

## II. 商工会議所別社会貢献活動事例

本調査で収集した社会貢献活動事例を商工会議所別に分類した一覧表を下記に示す。

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
惠州日本人会	AEON CREDIT SERVICE(ASIA)CO., LTD.	【ユニセフ青年大使プログラム2010】	国際交流・協力	資金支援(寄付金・協賛金等)
		【第22回香港特別行政区優秀学生コンテスト】	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
		【清華の友—イオン奨学金】	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		【中山大学—イオン奨学金】	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		【中山大学—イオンクレジット教育基金2008】	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		【清華大学-イオン教育と研究リサーチプログラム】	学術・研究	資金支援(寄付金・協賛金等)
		【事業活動を通じてお客様と取り組む社会貢献活動】	地域社会活動	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	Agehan Japanese Restaurant	香港リトルリーグ、GAY-WUラグビークラブ、サッカークラブ、香港ドラゴンボートクラブ	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
	ITOCHU HONG KONG LTD. 伊藤忠商事(香港)有限公司	各種震災支援活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
	MAXELL ASIA,LTD.	Friend of the Earthでの植林活動	環境	社員ボランティア
	MEP Hong Kong Limited	現地の日本人少年サッカーチームのコーチング	教育・スポーツ	社員ボランティア
Toshiba International Procurement Hong Kong, Limited	Green Power Hike	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員が活動を参加	
	食物銀行への寄付	地域社会活動	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	
	Dress Special Day	地域社会活動	資金支援(寄付金・協賛金等)	

活動場所	活動概要	関係団体
香港及び発展途上国(中国甘肅やネパールなど毎年異なります)	当プログラムは世界の子供の権利についての世間の関心を高めるため、また、一連のトレーニングや活動プログラムを通じて、青少年のリーダーシップの育成を目的としている。弊社はこのプログラムへのメインスポンサーとして毎年180,000～200,000香港ドルを協賛しており、2010年で3年目となる。	Hong Kong Committee for UNICEF
香港及びその他の国や地域(日本や台湾など毎年異なります)	当プログラムは個人の品格・能力の開発、市民としての意識、社会に対する関与などバランスの取れた青年リーダーを育成し、地域社会に貢献することが目的のプログラムである。香港内のセカンダリースクールの校長先生からの推薦がある、特に優秀な学生のみがエントリーできるコンテストで、論文と面接により10名の優秀学生が選ばれる。今年で22回目となる当プログラムへ当社はメインスポンサーとして毎年120,000～200,000香港ドルを協賛しており、2009年で3年目となる。	Yuen Long Junior Camber
中国・北京 清華大学	当プログラムは次世代を担う小売業を志す優秀な貧困家庭の子女に対しイオンより奨学金を付与し財政的援助を行い、これを通じ、真に国際社会で活躍できる「商人」を育成し小売業の発展を通じて平和に貢献することを目的としている。毎年合計30万人民元を以下3社の協賛で行っており、2009年で2年目となる。イオン1%クラブ イオンストアーズ(香港) イオンクレジットサービス(アジア)	清華大学教育基金会 イオン1%クラブ イオンストアーズ(香港)
中国・広州 中山大学	当プログラムは教育事業の発展を促進するため、優秀な大学生を奨励し、学生たちが予定通りに卒業でき、社会へ優れた人材をより多く輩出することを目的としている。2009年度より、5年契約で毎年30万人民元を以下3社で協賛している(5年間合計150万人民元)。イオン1%クラブ 広東吉之島天貿百貨有限公司 イオンクレジットサービス(アジア)と協働。	中山大学教育發展基金会 イオン1%クラブ 広東吉之島天貿百貨有限公司
中国・広州 中山大学	当プログラムは中山大学華南日本研究所の日本研究の研究費や書籍発行に対して協賛することにより、日本語スピーカーの育成を目的としている。当社は毎年12万人民元を協賛しており、2010年で2年目となる。	中山大学華南日本研究所
中国・北京 清華大学	当プログラムは中国の教育・ビジネスおよび技術におけるキャリアの開発が目的のプログラムで奨学金(1学部対象)、研究リサーチ、校内緑化プログラムの3つの柱からなる。当社はイオンストアーズ(香港)と共同で2000年より2008年まで総額130万香港ドルの協賛を行う。2008年度からは日本のイオン1%クラブ主導、イオンストアーズ(香港)と弊社3社共同の全学部を対象として奨学金プログラム「清華の友-イオン奨学金」として引き継がれている。	Development Research Academy for the 21st Century of Tsinghua University イオンストアーズ(香港)
香港	弊社の主要事業であるクレジットカード事業活動を通じて社会に貢献するため、以下のような取り組みを行っている。1.社会貢献型カード(チャリティーカード)の発行。2.カードのご利用で獲得したイオンボーナスポイントによる寄付の受付。3.クレジット決済による寄付の受付。4.支店営業所への募金箱の設置 上記の取組みにより、多くのお客様の善意を各慈善団体にお届けしている。	Sowers Action SPCA 聖雅各福群會眾膳坊 香港公益金 等
香港	香港にある各スポーツクラブに対して資金支援。実績は以下のとおり。香港リトルリーグ:HK\$2万/年、GAY-WUラグビークラブ:HK\$2万/年、サッカークラブ:HK\$2万/年、香港ドラゴンボートクラブ:HK\$1万5千。	
Hong Kong	①香港共同募金会によるチャリティーイベント「WALK FOR MILLIONS」への寄付 ②香港赤十字による四川大地震犠牲者のための募金活動	①The Community Chest of Hong Kong ②Hong Kong Red Cross
Tai Lam Country Park	国立公園に苗木を植林。	Friend of the Earth
香港島および九龍	香港で活動する少年サッカークラブチームのコーチの引き受け。	Junior J Leaguer
香港島大潭郊野公園～大浪湾 Tai Tam Country Park ~ Big Wave Bay	現地の環境教育のために、「緑色力量(Green Power)」の例年活動グリーンパワーハイクの長距離慈善レースに参加し、4万円の寄付金を集めた。	緑色力量 Green Power
オフィス	社員たちは自発的に購入したインスタントラーメン、コメなどの食料品を都市の社会的弱者支援に役立てるため香港「衆膳坊」(Food Bank)機関に寄付。	聖雅各福群會「衆膳坊」(St James Settlement - People's Food Bank)
オフィス	出勤時にスーツを着用することを義務付けているが、毎年の「公益服装デー」では、60香港ドル以上を寄付した人がスーツ以外の服装で出勤できる。2009年には約5,000香港ドルを集め「香港公益金」へ寄付。	香港公益金(Community Chest Hong Kong)

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
惠州日本人会	Toshiba International Procurement Hong Kong, Limited	Caritas Hong Kong - Computer Refurbish Project	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
	五洋建設株式会社	学生見学会	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
	三菱電機香港集团有限公司	四川大地震復興支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		HKPO(Hong Kong Philharmonic Orchestra)への協賛金	芸術・文化	資金支援(寄付金・協賛金等)
		Hong Kong & Kowloon Walk	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
湖南省日本人会	湖南平和堂実業有限公司	お客様、従業員から古本、子供衣料を集め僻地へ送る活動。	地域社会活動	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
広州日本商工会	カシオ電子(深圳)有限公司	公園緑化運動	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		エコバッグの配布	環境	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	欧姆龍電子部件(深圳)有限公司	障害者の雇用	医療・社会福祉	働く場所の提供
		老人ホームの慰労訪問	医療・社会福祉	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
		障害者施設への物品の寄付	医療・社会福祉	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		植樹	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア
		災害への資金提供援助	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		台湾大地震への義捐金の寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		会社前の公道に横断歩道橋を寄付する	地域社会活動	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		障害者スポーツへの支援	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
	深圳大豊香化粧料有限公司	植樹	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)
	東麗塑料(深圳)有限公司	老人ホーム(敬老院)慰問活動	医療・社会福祉	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		社外道路の清掃活動	地域社会活動	社員ボランティア
自発的な募金活動		人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
品物寄付		人道支援	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	
香港日本人商工会議所	香港三井物産	インターンシップ生受け入れ	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		チャリティ・ゴルフ参加による寄付金の抛出	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
昆山会	NEC軟件系統科技(杭州)有限公司	地元の日本人学校への図書寄贈	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		四川省大地震支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)

活動場所	活動概要	関係団体
オフィス	低所得層の子供を対象にしたコンピューター再生計画に参加し、自社製品のコンピューター及びマウスなどを香港明愛(Hong Kong Caritas)に寄付。	香港明愛 (Caritas Hong Kong)
建設工事現場	日本人学校の学生職業体験。	日本人学校
香港	香港赤十字への寄付。	香港赤十字
香港	HKPO(Hong Kong Philharmonic Orchestra)へ協賛金を提供	HKPO
Hong Kong	Community Chestへの協賛金。	Community Chest
店頭	お客様、従業員から古本、子供衣料を集め、僻地の子供たちに使わなくなった本や衣料品を送る。	麦田計画 湖南分社
龍崗市の公園	毎年深圳市の緑化運動に参加し、約30人のスタッフが指定の公園に苗木を植える運動。	各日系企業
自社	自社でエコバッグを製作し、取引先お客様及びスタッフに配布した。スタッフに配布することにより、環境活動への意識を高めることが出来るとともに、継続的にエコバッグを使用し環境活動へ貢献している。	
自社	深圳市の障害者雇用ガイドライン:0.5%の維持。	
深圳市内	毎年1回、地域内の老人ホームを慰労訪問。社員代表約20名にて、お菓子、食べ物、自社製品の体温計などを提供。	
深圳市内	深圳市内の障害者施設へ、機能回復のためのトレーニング機器を寄付。	
深圳市内	毎年1回、政府の主催する植樹イベントに参加する。社員代表:50名、植樹する苗木の購入資金を寄付。	日本商工会
自社	社員全員から義捐金を募り、中国赤十字を通して寄付。	
自社	全社員を対象にして、義捐金を募り、中国赤十字を通して、寄付。	
会社前の道路	自社の社員の安全確保を目的として、横断歩道橋の建設資金を寄付。	
自社	障害者のスポーツ選手を社員として雇用。昨年の北京でのパラリンピックにも中国代表として出場し、金メダルを取った。	障害者のスポーツ団体
	植樹活動への資金支援	
沙井敬老院	孤独な老人生活を過ごしているお年寄り達に贈り物をし、余興を楽しんで頂いた。	
会社外回りの道路	自発的に社員を集めて社外道路の清掃活動。	
会社内	社員による自発的な募金活動。	
社内	自分が必要の無いものを寄付するよう社員に呼び掛けて、集めてきた物を民政部门を通して内陸に寄付。(活動中)	
三井物産香港オフィス	香港内大学よりインターンシップ生として学生を毎年若干名受け入れ、社内各部門にて数週間に渡る研修を行う。	香港大学
香港内ゴルフコース	日本人倶楽部主催、スマートーン・ボーダフォン社協賛のチャリティ・ゴルフイベントに社員が参加。この参加費用は、香港公益金および港日文化・教育交流基金に寄付される。	香港日本人倶楽部、SmarTone-Vodafone、香港総領事館、香港日本商工会議所、香港公益金、港日文化・教育交流基金
杭州日本人学校	今年9月に児童図書を約150冊寄贈。	
社内	会社従業員からの義捐金を集めて送金。	

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
昆山会	横浜密封材料/ホース配件(杭州)有限公司	近隣地域への植樹ボランティア	地域社会活動	社員ボランティア
		杭州の杜活動	環境	社員ボランティア
	杭州アスレ有限公司	四川大地震に関する活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、他
上海日本商工クラブ	江南-小野田水泥有限公司	歙山における植樹活動	環境	社員ボランティア
成都日本商工クラブ	成都伊勢丹百貨有限公司	愛心消費、援助灾区 大型公益活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
	成都伊藤洋華堂有限公司	小学校寄付	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス
	成都豊田紡汽車部件有限公司	四川大地震発生時の資金支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
	東京海上日動火災保険株式会社代表処	四川大地震に関する活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		四川大地震以外に関する活動	学術・研究	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、他
		四川大地震以外に関する活動	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、他
		四川大地震以外に関する活動	環境	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、他
西安日本人クラブ	兄弟縫纫机(西安)有限公司	工場周辺の清掃活動(従業員参加型の環境保護活動の推進)	地域社会活動	社員ボランティア
		ミシン寄贈による農村女性の自立支援(地域社会への経済的な支援の推進)	地域社会活動	社員ボランティア
		従業員家族の工場参観	地域社会活動	社員ボランティア
	佐藤(西安)工程管理有限公司	四川大地震に関する活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
	西安凱愛房地產開發有限公司	四川大地震支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
日本語資料室の提供		学術・研究	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	
青島日本人会	山東安吉丸食品有限公司	今年行われている花の博覧会の資金支援	芸術・文化	資金支援(寄付金・協賛金等)
	青島寿技研商貿有限公司	日中中小企業の交流	国際交流・協力	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	青島倍速得汽車部件有限公司	地元小学校への奨学金寄贈	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
		四川大地震への寄付金	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
蘇州日商俱樂部	ヤンマー農機(中国)有限公司	四川大地震直後の被災地へ発電機の提供	災害支援	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、他
		江西省大地震後に希望小学校設立の資金提供	人道支援	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		地域清掃活動	環境	社員ボランティア
	貝斯(無錫)信息系統有限公司	江南大学奨学金付与制度の設置	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)

活動場所	活動概要	関係団体
浙江省山門寺院内	近隣の山門にある寺院へ植樹。	
弊社および併設する横浜杭州タイヤ有限公司の3社	杭州にある横浜ゴム関連3社にて植樹を実施。昨年は12,000本の植樹を実施。今年度は10月17日に実施。	
	四川大地震に関する復興資金支援	
鉦山	鉦山における植樹活動の実施。	
成都伊勢丹、東京本社、シンガポール現地法人(当地の日本外の出資会社)	四川省・成都市の書記、市長、紅標会とともに2009年5月8日から年末まで、店内・本社・本社組合・シンガポール現地法人・主要取引先とともに募金を募り10万円の募金を成都紅標会へ支援する。	(株)伊勢丹 伊勢丹労働組合 ISETAN (SINGAPORE) LIMITED
	07年より毎年1校の小学校へ20万円を寄付し建物の老朽化防止や学習用具を寄付。	四川省教育庁
	四川大地震に関する復興資金支援	
	四川大地震に関する復興資金支援	中国青年連合会、成都市青団委員会
	学術・研究分野への支援	中国青年連合会、成都市共青団委員会
	教育・スポーツ分野への支援	中国青年連合会、成都市共青団委員会
	環境分野への支援	中国青年連合会、成都市共青団委員会
工場周辺	工場周辺の清掃活動(従業員参加型の環境保護活動の推進)	
陝西省渭南市培華芸術学校や自社工場	学費を支払うことが困難な農村女性を対象にした、職業訓練学校へのミン寄贈による農村女性の自立支援を定期的実施。	陝西省渭南市培華芸術学校
自社工場	従業員の家族を対象にした、家族の工場参観を毎年実施。	
	日本人クラブ主催による、四川大地震災害支援金の寄付。	
	四川大地震で資金支援をした。	
	日本語資料室を提供	
	今年行われている花の博覧会の資金支援	
都度状況に応じて実施	日中経済貿易機構を通じて日中中小企業の交流のサポート。	日中経済貿易センター
青島市城陽区前桃林工業園	地元の低所得層の生徒向けに、教材や学費に充当してもらった目的で毎年1万円寄贈。(2005年まで)	
青島市	日本人会、地元政府を通して、四川大地震の被害者への寄付金を支援。	
	四川大地震直後の被災地へ発電機の提供	赤十字を通じて提供
江西省瑞昌市	江西省大地震後に希望小学校設立の資金提供	江西棉花科学研究所子弟学校
江蘇省無錫市恵山	年に1度、有志社員で地元の山の清掃活動。	
江南大学	江南大学奨学金制度の設置	江南大学

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態	
		名称			
蘇州日商俱樂部	住化電子材料科技(無錫)有限公司	①安徽省・河南省の小学校への建設支援 ②四川省で出身の社員への支援と紅十字会への寄付 ③市内公園での大掃除活動	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	
	住化電子材料科技(無錫)有限公司	会社辺りに緑活動を開始して全員が参加し三日間実施する予定	環境	連合活動	
	無錫住化電子	四川大地震復興支援	災害支援	小学校の建設支援	
		小学校建設支援	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	
		国際交流展示会への参加	国際交流・協力	展示会への参加	
		四川大地震被災者支援	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		寄付活動	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		5S活動内容の啓発	地域社会活動	5S内容の宣伝	
		会社施設での運動	地域社会活動	社外の運動をすること	
	清掃活動	環境	市内公園で塵を取る活動		
	無錫大昌機械工業有限公司	貧困学生助学金	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		牽手奨学金	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		第十屆運動会損款	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		扶貧帮困送温暖活動	医療・社会福祉	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		5.12四川地震損款	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		5.12四川地震損款	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
	大連日本商会	アルパイン電子(中国)有限公司大連開発センター	災害支援(四川大地震へ寄付金)	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
			地元大学との産学共同の人材育成	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
			文化活動への支援(現地政府主催の文芸演出に参加)	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		キヤノン大連事務機有限公司	大連市「キヤノン杯」日本語弁論大会	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
			希望工程小学校の開設と継続的な支援	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
地元大学奨学金制度の実施			教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	
各種環境美化活動			地域社会活動	社員ボランティア	
みずほコーポレート銀行(中国)有限公司 大連支店		四川省地震災害に関する義捐金の支給	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	

活動場所	活動概要	関係団体
小学校の本地	国内の困難場所の小学校への支援 毎年5元ぐらい。	
会社の隣	会社の近隣で3か月に1回定期的に大掃除を実施。	アルプス、シャープ等
工場内	四川地震へ支援 紅十字会に約5万円を寄付。	
無錫市体育館	08年09年2つの小学校への建設支援(安徽・河南)。	
	無錫市の国際交流展示会への参加(06年07年08年09年4回)。	
	四川地震災害出身者への寄付金約2万円。	
	07年白血病を発症した社員のため全社員から10万円を寄付。	
	会社所在地無錫において2006年に職場環境維持に関する5S活動内容(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の啓発活動を実施。	
	会社の設置(サッカー場、バスケットボール場)での運動(08年から約10回)。	
	社員は無錫市内の公園で塵を取る活動(06年07年2回)	
無錫市濱湖区	家庭経済が困難な学生の学業支援のため、民政局を經由して毎月800元の資金支援。	無錫市濱湖区民政局
無錫市	教育事業の発展を支持し、家庭経済が困難な学生を助けるため、立信職教学校へ毎年10万円の資金援助。	支援先:立信職教学校、連携会社:無錫明芳と台湾信昌
無錫市	建国60周年記念無錫市第10回運動会のため、政府要請による寄付。	無錫市十運会組委會と無錫市体育局
無錫市濱湖区華庄街道	基本的な生活を送るのが困難な人々に、皆で暖かいお正月が迎えられるように、春節を前に5万円を寄付。	無錫市濱湖区華庄街道事務所
無錫市	無錫市政府指示により、08年5月に、無錫市紅十字会を經由して5万円を寄付。	無錫市紅十字会
無錫市 自社内	自社の労働組合が、自主的に社員からの寄付金を集めて、無錫市紅十字会を通して30,873.50元を震災被災区に送る。	無錫市紅十字会
寄付活動場所は会社;寄付金贈呈場所は大連市紅十字会。	2008年5月15日、会社/社員/工会で10万円(RMB)の寄付金を大連市紅十字会を經由して四川地震災害区に支援。	大連市紅十字会
地元大学	地元大学と産学共同での人材育成の為に、2004年から、10万円/年の資金を支援し、社会向けの専門技術人材(大卒)を計447人育成。それに、地元大学に実験設備(18.3万円)を16set提供。	大連東軟信息学院、大連中日友好交流中心、大連理工大学、大連交通大学、大連交通大学軟件園、遼寧師範大学大連海事大学
文芸活動:北京市、大連市(テレビ台など)	地域社会活動への援助(芸術・文化面)として、08年5月社員を25人派遣し、北京市外資系総工会主催のオリンピック四川地震支援の文芸演出に参加。09年1月、大連高新区政府主催のITパーク文化活動豊富な為の大型文芸出演に参加(社員70人派遣)。09年7月、社員を84人派遣して建国60周年合唱試合に参加(累計9万円の支出)。	
大連市内のホテルの特設会場	1989年から毎年大連市政府との共催により、小・中・高・大学生、社会人を対象に日本語弁論大会を開催。20回目を迎えた今年は、予選を含めた参加者が約11,000人を数えた。	大連市人民政府
大連市内:4地域	大連市内の経済的に恵まれない地域に、小学校を設置し、毎年継続的に教材・器材等の支援を行っている。	大連市希望工程弁公室
大連理工大学	地元の大連理工大学で奨学金制度を実施。経済的に恵まれない学生を対象に奨学金を支給。	
会社周辺、および大連市内	当社の環境活動の一環として、年間計画に基づき、主に社員ボランティアを募り、会社周辺や市内観光地の美化活動、市政府主催の植樹活動・海岸美化活動への参加などを実施。	大連市政府
大連市赤十字界	2008年5月12日四川大地震以来、みずほコーポレート銀行(中国)有限公司大連支店では高い関心を持ち、災害直後に行員126人が自発的に義捐金31,380元を募集、大連市赤十字会を經由して被害地に寄付。	

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
大連日本商会	みずほコーポレート銀行(中国)有限公司 大連支店	湾岸掃除活動の実施	地域社会活動	社員ボランティア
		植樹ボランティア活動の実施	環境	社員ボランティア
		少数民族貧困地域振興のため、大連市慈善総会への寄付	人道支援	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		行員及び親族の子女に対する「子ども参観」の実施	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		亜細亜大学「アジア夢カレッジ」での講義を実施	教育・スポーツ	講義の実施
	共立精機(大連)有限公司	希望小学校に対するの援助	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア
		希望小学校に対するの援助	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
		希望小学校に対するの援助	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		希望小学校に対するの援助	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		希望小学校に対するの援助	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		希望小学校に対するの援助	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
		希望小学校に対するの援助	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		'5.12'四川大地震の援助	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		'莫拉克'台風災害の支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		HIVイベント支援	医療・社会福祉	資金支援(寄付金・協賛金等)
	三光化成塑膠(大連)有限公司	近接道路の清掃活動(ゴミ拾い等)	環境	労働奉仕活動
	斯大精密(大連)有限公司	四川省地震災害支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		貧困地域支援	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		従業員による近隣清掃活動	地域社会活動	社員ボランティア

活動場所	活動概要	関係団体
大連付家庄公園	2008年11月8日、みずほ(中国)大連支店は中国東北地方で最も有名な海浜の一つ付家庄公園の海岸でゴミ拾い活動を行う。当日は101人の行員が参加。	
大連市郊外	2009年5月9日、みずほ(中国)大連支店の有志行員81名が、大連市郊外での植樹ボランティア活動に参加。大連市が推進するCO <sub>2</sub> 削減と環境改善に呼応して、参加者は緑化に適している荒地に約200本の苗木を植樹。	
大連慈善總會	2009年8月5日、みずほコーポレート銀行(中国)有限公司大連支店の有志行員は東北地域の少数民族貧困地域振興のため、大連市傘下の大連慈善總會を経由し、各自が持ち寄った洋服、本、文房具等の物資計274点を寄付(社会福祉にも該当)。	
みずほコーポレート銀行(中国)有限公司大連支店	2009年8月19日、みずほコーポレート銀行(中国)有限公司大連支店は「子ども参観」を実施し、行員及び親族の子供13名が参加。子供達は支店見学やお金に関する知識を学び、父母の仕事に対する理解を深めるとともに行員間の交流に役立った。	
大連外国語学院	2008年11月13日、みずほ(中国)大連支店太田支店長は、大連外国語学院で開催されたアジア大学の産学連携教育プログラム「アジア夢カレッジ」で、日中の大学生27人に「中国の仕事と生活」について講義した(国際交流・協力にも該当)。	
	2006年9月、経済的に困難な状況にある庄河市栗子房鎮永記小学校を対象に、大連希望工程事務所を通じ合計6万円の資金支援。	
	2007年11月、会社及び社員より、庄河市栗子房鎮永記小学校に学校の教育条件改善のための費用として、12,117円の資金支援。	
	2007年、2009年、社員から庄河市栗子房鎮永記小学校に勉強用具、書類など8220件の物品を提供、会社からはデジタルカメラ、各種スポーツのボール30個を寄贈。	
	2006年以来、経済的に困難な状況にある庄河市栗子房鎮永記小学校を対象にした、毎年の「中秋節」の際、会社の党支部書記と工会主席より、従業員代表として学校の全従業員と学生に月餅を寄贈。	
大連市内	2009年6月13日、経済的に困難な状況にある庄河市栗子房鎮永記小学校の全従業員と学生を対象に「大連一日旅行」のイベントを行い、社員がボランティアの形で参加した。(聖亜海洋世界、大連観光塔、中山路沿い、会社内の参観)。この活動は大連晩報(2009/06/15 B7版)、半島晨報(2009/06/14 B05版)、新商報(2009/06/14 05版)で報道された。	
	2009年9月、経済的に困難な状況にある庄河市栗子房鎮永記小学校を対象に、会社より27,915円を資金支援し、学生服、従業員・学生のスポーツ用服、無線マイク、テーマ測量器、卓球用具、MP3デジタル放送器等を購入。また全従業員の健康検査を行った。	
庄河市栗子房鎮永記小学	2009年8月に、経済的に困難な状況にある庄河市栗子房鎮永記小学校を対象に、会社から出資し、大連理工大学の大学生による半月間の現地教育支援イベントを行った。	
	2008年「5.12」四川大地震の際、会社及び社員全体で、松本董事長と総経理と共に、二日間で10.35万円を寄付し、大連赤十字会を通して、資金支援した。大連晩報の愛心寄付欄(2008/05/16 B2版)に記載された。また、孟総経理は重慶出張の途中で、余震の危険がある地震災害現地を訪れ、持っている現金3,000円余りを全部寄付した。(それ以前、既に会社で5千元寄付)。2008年7月、会社として四川大地震災害地域にテント100個を寄贈。	
	2009年8月、全社員は「莫拉克」台風災害の被災者を対象に、7,725円を寄付して、大連赤十字会を通して資金支援した。	
	2009年3月13日に実施された、AIESEC国際経済学商学学生联合会主催のHIVに関連する大連論談イベントへ、専用資金として6,240円を支援。資金は、AIDS患者に特定して援助提供を行う公益組織への寄付として利用。	大連理工大学
大連市経済技術開発区東北二街(工場の近隣のみ)	環境月間際に、近接する道路等の清掃活動の実施。	
	四川省地震災害支援として20万円を寄付。	大連開発区総工会
庄河市布雲山郷	貧困地区低所得層の子供(60名/年)への就学援助として、毎年38,000円を寄付。	大連市「希望工程」
会社に隣接する公共場所	従業員による会社周辺の清掃活動を実施。	

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態	
		名称			
大連日本商会	捷報(大連) 信息技术有限公司	四川大地震に関する活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		緑化活動	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	
	大連(林)精密铸造有限公司	四川大地震支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		環境関連施設の導入	環境	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	
		大連市残疾人連合会への寄付	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
	東芝大連有限公司	東芝希望小学校の設立、継続支援	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	
		障害者への支援	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		大連慈愛月への寄付	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		植樹活動	地域社会活動	社員ボランティア	
			地区納涼祭の協賛	地域社会活動	資金支援(寄付金・協賛金等)
	利優比压铸(大連)有限公司	四川大地震に関する活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
	中国日本商会	アルプス(中国)有限公司	大学生への奨学金	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
			走近日企感受日本	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア
		エプソン(中国)有限公司	エプソン「愛心教室計画」農村教育支援プロジェクト	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
四川地震被災地への教育支援活動			災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
エプソン「グリーン次世代」青少年環境保護教育プロジェクト			環境	社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	
スバル自動車(中国)有限公司		希望工程	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)	
		地震被害への寄付金提供	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア	
		スバル生態保護基金	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	
トヨタ自動車(中国)投資有限公司		中国青年トヨタ環境保護賞	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		河北省豊寧県社員ボランティア植林活動	地域社会活動	社員ボランティア	
		交通安全体験活動	地域社会活動	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	
		千本映画無料放送	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		トヨタ移動図書館	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	
		トヨタ助学金特別枠	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)	

活動場所	活動概要	関係団体
	四川大地震の被災者に対し、日本赤十字を通じて義援金を寄付。	
	内蒙古自治区の「ホルチン砂漠」において緑化活動を推進。資金面の支援に加え、NPO法人と連携して、ボランティア社員を募り緑化活動。	
大連開発区	四川大地震に合計16万円を寄付。内、会社から10万円、社員個人として6万円を寄付。	大連市くれない十字会
自社内	2007年～2008年に、鑄造業者として、周辺環境への影響度を出来るだけ低くするために、排気、排水、騒音制御の面に、大いに資金を投入して、沢山の環境施設を導入。	大連市環境保護局大孤山半島分局
大連市	2008年3月に、大連市残疾人連合会に5000円を寄付した。	大連市残疾人連合会
東芝希望小学校および自社	農村地域の子供達に教育の機会を与えるために、小学校を設立すると共に継続的に支援を行う。また、自社に児童を招待し、生産ラインなどの見学を通じて社会に関する学習の機会を提供。	
不特定	大連身体障害者連合会に1万円を寄付。	大連身体障害者連合会
不特定	災害被災者、貧困者への金銭的支援。	市政府
大連開発区林業管理部門の指定場所	東芝グループの150万本植樹活動の一環として植樹。	大連開発区林業管理部門
社区会場	自社のある社区(共産党の地域組織)が行う地域住民を対象とした納涼祭を協賛。	翠竹社区
大連	四川大地震発生後、社内で寄付金を募り、会社寄付金と一緒に収めた。	利優比(大連)機器有限公司
大連	大学生への奨学金として16万円を毎年支援。	
北京・日本	北京地区の大学生を年2回日本での研修旅行へ派遣。企業見学、日本の大学との交流、ホームステイ等。	中国日本商会
甘肅省天水市秦安県千戸郷の山村小学校	08～09年に、権威のある教育機構及び教育専門家と連合をし、甘肅省天水市秦安県千戸郷の山村小学校に対する調査、研究、教育、教師向け育成トレーニング、学生夏キャンプなどの一連の教育支援活動。	中国21世紀メディア集団 中国青少年発展基金会
四川省涼山州会理県鎖水村鎖水小学校	四川地震被害を受けた現地小学校に50万円を寄付し、永久性抗震希望小学校を建設。	中国青少年発展基金会
北京にある小学校	毎年、北京にある小学校の学生、教師を対象に、環境保護トレーニングを行う。	地球村
四川	四川大地震の被害があった地域への教育施設建築のための資金提供。	中国青少年基金
四川	地震被害のあった地域に対し、寄付金提供。また社員がボランティアで寄付金を集める。	中国慈善総会
全国	中国野生動物を保護するための基金活動。	中国野生動物保護協会
全国範囲	中国青年の省エネと環境保護に対する責任感と主体的意識を育成するため環境保護活動における優秀な個人及び団体に資金提供等の形で表彰。	中国共産主義青年団・中華全国青年連合会
河北省豊寧県	トヨタ豊寧県植林PJTに付随する社員ボランティア植林活動で年1回実施。	
今まで上海、広州、天津で実施	幾つかの体験項目を設置して、一般来場者に死角確認・シートベルトの重要性、子供の視野、緊急時の脱出方法、チャイルドシートの装着方法などについて体験してもらって、交通安全意識を向上させる。	現地交通管理部門
四川地震被災地区	四川地震被災地の住民たちに心のケアをするため無料で1000本の映画を放映。	光彩基金会
広元、綿陽、綿竹等の四川被災地	3台のコースタを使って被災地にある50校の中・小学校へ月に1回図書を送って、学生の心のケアを応援	光彩基金会
西南交通大学、重慶大学	トヨタ奨学金PJTをプラットフォームとして地震の影響で大学進学費用を負担しかねる学生に資金提供。	宋慶齡基金会

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
中国日本商会	パソコチャイナ	災害発生時人工衛星データ提供	災害支援	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
	パナソニックチャイナ	子ども環境教育	教育・スポーツ	社員ボランティア
		パナソニック育英基金	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		植樹活動	環境	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)、植樹活動の実施
		環境専門人材育成	環境	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		健康快車	医療・社会福祉	資金支援(寄付金・協賛金等)
		中国指導力研究センター(清華・Panasonic共同プロジェクト)	学術・研究	資金支援(寄付金・協賛金等)、講師の派遣
		みずほ(中国)北京支店	みずほ奨励基金	教育・スポーツ
	みずほ基金		教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	中国日本商会「走近日企、感受日本」事業への参画		国際交流・協力	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア
	中国水害救援義捐金		災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
	太陽村児童センター支援活動		人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
	中国南部雪害義捐活動		災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、地元農産物購入
	四川大地震義捐金		災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
	日中写真文化交流事業「北京写真展」協賛		芸術・文化	資金支援(寄付金・協賛金等)
	北京オリンピック関係支援活動		地域社会活動	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
	環境配慮型金融普及に関する啓蒙活動		環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、各種セミナー講演
	ワコール(中国)時装有限公司	ピンクリボン活動	地域社会活動	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
	伊藤忠(中国)集团有限公司	省エネ事業を推進	環境	省エネ事業へ投資
		障害者への手伝い	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア
華東師範大学の環境保護科学課題の支援		環境	資金支援(寄付金・協賛金等)	
欧姆龙(中国)有限公司	オムロンデー活動	地域社会活動	社員ボランティア	

活動場所	活動概要	関係団体
中国国内	災害発生時に中国政府機関へ人工衛星データを迅速に提供。	中国政府機関: 国務院、民政部、科学技術部、測絵局
北京市内の小学校	2009年5月から、従業員が小学校へ出向く環境教育をスタートさせた。同様の活動を中国国内の全事業所が同時に行い、10年間で10万人の児童に対する環境教育を実施することを目指す。環境活動にも関連している。	
	1995年に松下育英基金(当時)を設立、以後中国各地の大学生に奨学金を支給。これまでに約5,500名の学生に対し、累計約550万円の奨学金を支給。	
	中国国内の各事業所が毎年従業員の人数分ずつ植樹を行ない、10年間で100万本の植樹を目指す。2009年5月よりスタート(地域社会活動、国際交流にも該当)。	
	これまでにグループ内で培った環境保全のノウハウを中国企業とシェアするための講座。講師派遣、研修内容やテキストの提供を実施。09年5月よりスタート。第1回講座は中国国有企業の人材を対象に開催され、30名余りが受講。	中国国有資産管理委員会
	貧困地域に治療設備を備えた列車を走らせ現地で白内障治療を行なうプログラムに、工会と共同で20万円の寄付を実施(人道支援も該当)。	中華健康快車基金会
	清華と共同で次世代のリーダー育成のための講座を06年に開設。中国政府幹部候補生に対しリーダーシップ研修を実施。これまでに累計で約4,500名の幹部候補生(全国17省(直轄市、自治区)から選抜された副処長以上のクラス)が当該講座を受講している。	清華大学公共管理学院
北京	中国における基礎教育分野での支援を目的に北京の中学校3校に基金設置。各校生徒・教師を対象に毎年各40万円の奨励金を授与。計10年間の活動を行っている。	中国人民大学附属中学、北京大学附属中学、清華大学附属中学
北京	将来、中国の金融界で活躍する若者の育成支援を目的として、対外経済貿易大学に50万米ドルの基金設置。現地の学生や教師を対象に金融セミナー開催。教育関係設備贈呈等様々な活動を展開。	対外経済貿易大学
北京、日本	中国の若い世代に日本企業・文化を理解してもらうため、中国日本商会主催の中国大学生訪日派遣事業に100万円を寄付するとともに、日本での企業見学、ホームステイ受入等、積極的に活動に参画。	中国日本商会、中日友好協会
北京	2007年夏に中国南部で発生した深刻な水害救援のため、有志にて義捐金拠出。	中国日本商会、中国民政部
北京	受刑者の子女・孤児等を保護、教育支援活動を行っている北京市太陽村を支援するため、北京外資銀行メンバーとして基金、衣類・書籍贈呈等を実施。	北京市銀行協会、太陽村、北京銀監局
北京	2008年初に中国南部で発生した大規模雪害救援のため、募金実施のほか、現地農産物の共同購入を実施。	中国日本商会、北京日本人会、北京外商投資企業協会
北京	2008年春の四川大地震被災救援のため、有志義捐金を実施。	中国日本商会、中国民政部、中国紅十字總會
北京	日中写真文化交流の促進を目的としたNPO写真展開催にあたり、協賛金1万円を拠出。	在中国日本大使館、中国日本商会、中日青年交流中心、日本中国写真文化交流協会
北京	北京オリンピック期間中の邦人トラブルサポートのため、日本からの緊急送金プログラム整備。また、期間中の緊急医療支援のため、有志による献血ボランティアも実施。	日本領事部、FESCO
北京	中国での環境配慮型金融普及のため、金融当局、銀行業協会、大学・シンクタンク等向け講演会、セミナー実施。環境保護投資大会にも協賛。	中国銀行業協会、北京銀監局、中国人民銀行、清華大学
上海、北京	毎年10月乳がん早期発見啓蒙活動に協賛し、イベントへの社員参加。	
山西省	現地で省エネ項目のR&D	
北京	障害者施設に毎年少なくとも5万円を寄付	中国残疾人福利基金会
上海	毎年10万円寄付	
オムロングループ各社の所在する場所	5/10の創業記念日にオムロングループ各社でボランティア活動を実施。	

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
中国日本商会	佳能(中国)有限公司	羌(Qiang)民族無形文化財保護プログラム	芸術・文化	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		「大学生映像公益行」2009 キヤノン緑援使者調査活動プログラム	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		WWF児童環境保護教育ウェブサイトの協賛	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		WWF中国野生動植物保護小額基金への支援	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)
		「影像・希望之光」教育支援プログラム	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
		キヤノン愛心助学活動	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
		北京大学キヤノン奨学金基金	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		清華大学日本研究センターへの資金支援	学術・研究	資金支援(寄付金・協賛金等)
	河南	中国大学生「歩近日企、感受日本」プログラムへの参画	国際交流・協力	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		尚庄郷東芝希望小学校に援助している	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	京セラ株式会社北京事務所	東芝希望小学校を援助している	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		奨学金支給他	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
		三井化学	内モンゴル植林活動	環境
	三井物産(中国)有限公司(三井物産(株)北京事務所)	2008年中国四川大地震へ寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)

活動場所	活動概要	関係団体
四川省現地採集、展覧会やDBの贈呈式は北京	3000年の歴史を持つ羌(Qiang)民族は、四川大地震で人口が十分の一に減り、口コミで受継いできた文化は伝承人の遭難によって絶滅寸前な状態になった。2009年5月から、この文化保護プログラムのワークチームは汶川の山奥に入り、ありのままの羌文化を静態、動態、3Dなどの技術で全方位に記録した。映像のデータベースは祭り文化や手工芸、音楽、伝統祭りの四つに分かれて、国家無形文化財保護センターに贈呈される。また、一般市民に関心と保護意識を高めるため、11月5日から2週間の間に、北京にある国家大劇院で「感動羌魂、雲影共生-羌(Qiang)民族無形文化財保護成果展覧会」を開催する。	深圳派爱文化科技有限公司
湖南省岳陽市東洞庭湖国家自然保護区	キヤノン(中国)は映像の力で環境保護を支援し、中国の自然や多様性の発展に力を注ぐ。2009年より、大学生を対象に、自然保護の最前線で生態や地元経済発展の実態調査など、貴重な社会実践の機会を提供。キヤノン(中国)は研究活動に必要な資金や機材を協賛する。今後も毎年実施する予定。	中国野生動物保護協会、東洞庭湖国家自然保護区、首都青少年生態文化研究センター、首都大学生環境保護ボランティア協会
北京	2008年から、キヤノン(中国)がWWFの「児童環境保護教育ウェブサイト」(www.delightearth.org)を協賛し、三年間に渡ってウェブサイトの建設をサポート。	WWF
中国東北地方、雲南、貴州、四川など	WWFの動物保護基金に毎年15万元の資金支援を提供し、レッサーパンダと東方白鸚の分布範囲や数量、生存状況、保護措置の研究をサポート。	WWF
今年は湖北、安徽、広西、四川、甘肅、寧夏、江蘇、遼寧の八つの省から始まる。	2009年から中国青少年発展基金会の基金で建設された希望小学校の中で「撮影教室」を開設し、写真を撮ることを通じて、子供たちの世界への認知と感受性を高めることをサポート。三年間で100校を目指す。また、映像交流活動を通じて、青少年たちの視野を広げ、彼らに心の交流を深めてもらう。キヤノンは資金と機材の提供で支援している。	中国青少年発展基金会(CYDF)
雲南省麗江地域	2006年から、キヤノン(中国)が中華慈善総会と協力し、特定モデルのキヤノン複写機を一台販売したら100元を雲南省麗江貧困地域の子供たちに援助する。その援助金は貧しい子供の学費に使われる。2008年末までは、90校近くの800名余りの生徒がこの援助金に恵まれた。今後も継続する予定。	中華慈善総会
北京大学	1998年、キヤノンが北京大学建校100周年を記念して「北京大学佳能奨学金基金」を設立した。基金の金額は5,000万円で、毎年大学生の奨学金として支給する。	
清華大学(北京)	2009年4月10日、キヤノンは、他の日本企業と協力し、清華大学で日本の社会研究や日中間の人材交流などを進める研究機構「日本研究センター」を設立。日本研究センターの運営には、キヤノン、セコム、野村総合研究所、三井住友海上火災保険、全日本空輸などが支援。総額で1億~2億円の資金を提供し、中国人学生らの日本での研修費用なども負担する。	セコム、野村総合研究所、三井住友海上火災保険、全日本空輸など
日本国内	中日友好協会と中国日本商会は2007年3月22日、「走近日企・感受日本(日本企業に触れ、日本を感じよう)」をテーマとする中国大学生訪日交流プロジェクトを立ち上げた。同プロジェクトは毎年30~60人の中国大学生を日本に招待するというもので、内容は日本企業の視察、大学間交流、農村探訪、日本の一般家庭でのホームステイなど。キヤノンも参画して、5年間継続する方針。	中日友好協会と中国日本商会
会社	毎年、尚庄郷東芝希望小学校に援助している。四川省汶川大地震に現金を94,937元寄付した。	尚庄郷東芝希望小学校
会社	毎年、東芝希望小学校に資金を寄付している	東芝希望小学校
	西部地区の12の大学の学生(約300名/年)に奨学金支給。京セラの主たる拠点所在地の小中学生約40名を日本に招待。	中日友好協会、友好平和発展基金会
内モンゴル	内モンゴルにおける植林実験、植林必要資材の提供。	
	2008年中国四川大地震へ寄付。スタッフより集めた募金を四川省信息产业庁に渡した。	

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
中国日本商会	三井物産(中国)有限公司 (三井物産(株)北京事務所)	中国南方雪災害へ寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		江西省九江市地震へ寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		故宮・神武門での共同写真展に協賛	芸術・文化	資金支援(寄付金・協賛金等)
		「走近日企・感受日本」	国際交流・協力	資金支援(寄付金・協賛金等)
		北京大学三井創新論壇	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	三洋電機(中国)有限公司	環境説明会	環境	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		模倣品対策	その他	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	資生堂(中国)研究開発中心	植林活動(中国資生堂グループとして)	環境	社員ボランティア
	太平洋水泥(中国)投資有限公司	四川地震災害寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
	大宇宙信息創造(中国)有限公司	“大宇宙助学金”、中国天津市3校大学で毎年給付を実施	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		天津各大学スポーツイベントのスポンサーや地元中学校への教育援助交流など、「教育事業と人材育成」支援	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		地元中学校への教育支援	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		中国四川大地震寄付金を中国赤十字会へ贈呈	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
		中国南部暴風雪害に義捐金、救援物資寄付及び支援活動を実施	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
		闘病患者の高額手術費用を支援するための社内募金活動	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		東芝(中国)有限公司	東芝カップ 中国師範大学師範専門理科大学生教学技能創新実践コンテスト	教育・スポーツ
	希望工程小学校建設支援		教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)

活動場所	活動概要	関係団体
	中国南方雪災害へ寄付。会社から寄付金を商務部に寄贈した。	
	スタッフより集めた募金を江西省九江市政府に寄付した。	
	NPO法人日中写真文化交流協会が主催する「日中写真文化交流事業－故宮・神武門での共同写真展－」に協賛	NPO法人日中写真文化交流協会
	中国の若者の日本に対する理解深化を目的とする民間活動。所要資金は全額中国日本商会(=北京日本商工会)会員企業(親会社を含む)の寄付によるもので、2007年から5年間継続して年間50ないし60名の中国人大学生を日本に招聘する活動。日本では協賛企業の有志社員によるホームステイも実施する(当社々員も受け入れた)。	
	日中間の経済・文化交流並びにビジネス活動と相互理解を促進する目的で北京大学の在學生(EMBA、MBA、EDPコース)や同コースの卒業生、企業関係者を対象に世界トップクラスの企業CEOまたは中国地区総代表、日中の著名学者を講師として年間6～8回の講座を開講するもの。	
東北、華南、華中地区	環境意識を向上させるため、環境監査、環境法則に関する説明会を支援。	三洋電機株式会社
浙江省、広東省など	模倣品の取り締まりを強化するため、三洋電機株式会社とともに、JETROや優良ブランド保護委員会などの団体を通じて日系、欧米の現地企業と協働し、税関など関係行政機関に対して模倣品の鑑定説明会を開催するなど、関係行政機関による取締活動を支援。	三洋電機株式会社
甘肅省蘭州市	昨年より10年間にわたり、ボランティアを含む社員で植林活動を行なう。	蘭州市政府
北京	四川地震災害寄付。	
中国天津市の天津大学、南開大学、天津理工大学の3校	2008年12月、「第3回大宇宙助学基金」給付を行った。対象大学は、中国天津市の天津大学、南開大学、天津理工大学の3校。「大宇宙助学基金」は、経済的な理由で学習が困難な優秀な大学生を支援するため、2006年に設立したのもで、給付を実施するのは今年が3回目。各校の計算機学部、日本語学部の学生15名を給付対象者に選定。	
天津大学ソフトウェア学院、コンピューター学院、環境学院、電信学院など4つの学院	天津大学「大宇宙」杯バスケットボール大会は、天津大学ソフトウェア学院、コンピューター学院、環境学院、電信学院など4つの学院及び学部が共同で主催するもので、2007年4月から1ヶ月間、計50試合を行う。今年開催された試合は、多くの感動とドラマを生み出した。	天津大学
天津	地元中学校への教育支援、パソコン・椅子・デスク・書籍寄付・教員ボランティア。	天津市慈善協会と天津市修学援助基金連合会
天津	地震発生後二日目から、中国四川省汶川の地震による被災者を支援するために、義捐金募集活動を行う。その後、さらに第二回、第三回義捐金送付実施。	弊社日本法人
中国全土弊社グループ会社	2008年1月より、中国南部で暴風雪の深刻な被害を受けた被災者を支援する為、義捐金、救援物資の寄付及び支援活動を行う。	中国・日本関連企業
天津、広東省、他	闘病患者の高額手術費用を支援するための社内募金活動。	
予選:各師範大学、決勝:北京師範大学(2008年)	・中国の師範大学生を対象に、将来の優秀な理系部門の教師を育成し、中国の科学および自主創新の振興を目指し、2008年から中国教育部との共催によりスタート。 ・師範大学から将来、理系(数学、物理、化学)の教師になることを志す4年生が参加し、各大学での予選を経た代表者が全国大会(決勝)に出場。小中学生向けの教案論文をまとめ、発表を行う。それぞれの優秀者には、表彰状と副賞を贈呈し、さらに日本での研修を実施。	中国教育部
中国全土	中国青少年發展基金会と共同で、中国東芝グループとして毎年2校の建設支援を続けており、既に15校が開校している。	中国青少年發展基金会

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
中国日本商会	東芝(中国)有限公司	大学生に対する奨学金	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		宏志班の支援	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		植樹活動	環境	社員ボランティア
		「Earth Hour(アース・アワー)」活動への参加	環境	WWFの活動への参画
		東芝春季音楽会	芸術・文化	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		四川大地震の復興支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
	日電(中国)有限公司	『NEC愛心書庫』書籍寄贈活動	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		アモイ大学『NEC中日友好奨学金』	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
		中国障害者向け車椅子テニス講習会	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		『NECの林』植林活動	環境	社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		中国四川大地震支援活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
	日立(中国)有限公司	日立希望小学校	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		日立フェローシップ	学術・研究	資金支援(寄付金・協賛金等)
		Walk for Millions'への日立グループとしての参加	医療・社会福祉	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア
	理光軟件研究所(北京)有限公司	植樹活動	環境	社員ボランティア
		地域清掃活動	地域社会活動	社員ボランティア
		四川大地震への義捐活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)

活動場所	活動概要	関係団体
清華大学および浙江大學	教育支援の観点から、清華大学および浙江大學の成績優秀な学生を対象にした、「東芝之友奨学金」を継続実施中。	清華大学および浙江大學
北京広渠門中学校	全国初の宏志班である北京広渠門中学校の宏志班支援を継続実施。毎年、文具や生活用品を寄贈。	
北京市近郊の山	毎年、北京地区の東芝グループ社員および家族を対象とする植樹活動を実施。	
北京、上海、広州、成都、大連	2009年3月28日、世界自然保護基金(WWF)が主催する「Earth Hour(アース・アワー)」活動の一環として、北京、上海、広州、成都、大連の5都市に設置している東芝のロゴのネオン広告を午後8時30分から1時間消灯した。	世界自然保護基金(WWF)
北京市内音楽ホール等	文化活動の面から地元北京に対する社会貢献を行う主旨で、2000年からスタート。毎年、各種の音楽家を招いてのコンサートを開催。	北京地区の東芝グループ
四川地区	震災直後に東芝グループとして、総額1億円相当の現金と物資を被災地に寄贈。そのうち139万円を、「抗震希望教室」50室分の建設に充ててもらふこととし、中国青少年發展基金会へ寄付。また、綿陽にある綿陽富樂中学校と綿陽花園小学校2校の復興支援として、約22万円相当の東芝照明器具を寄付。	中国青少年發展基金会
長春、北京、西安、武漢、杭州、アモイ	「NEC愛心書庫活動」とは、中国で日本語を勉強している学生に対して、日本から副読本として本を寄贈し、日本語学習を支援するプログラムだ。家庭や職場で不要になった書籍を日本の従業員が出勤時に持参し、それぞれの職場に設置された収集箱に入れる。収集した書籍は、「障害者の雇用促進」を目的としたNECの特例子会社であるNECフレンドリースタッフ株式会社の従業員により40～50冊づつ、ダンボールに詰められ、中国の大学や専門学校へ送られる。寄贈先の学校では、現地にある中国法人の協力により、寄贈式典を行っている。	
アモイ大学	中国の学校教育を支援する社会貢献活動の一環として、NEC中国はアモイ大学と協力して、家庭の経済が困難ながら、勉強に頑張っている大学生を対象に『中日友好奨学金』を設けた。活動は2007年からスタートし、毎年学校側が選出した30名の優秀学生を対象し、約1,000元の助学金を贈呈しており、学生らの成長を見守ってきた。	アモイ大学外文学院
北京、天津、上海、広州、南京、昆明	NEC(中国)は中国各地の障害者連合会と協力して、2004年から中国における車椅子テニスの普及とレベルアップに貢献してきた。中国における車椅子テニスは、認知度が低くスポーツ用の車椅子さえ普及していない状態だった。NECでは選手育成を目指し、国際大会への遠征や日本の選手との交流試合、選手合宿などの支援を行った。北京パラリンピック出場など、選手の活躍が認められ、2007年からは中国政府による支援も開始される。	中国障害者連合会及び各地方の障害者連合会
北京市近郊	中国地区では、北京郊外の荒地に緑を取り戻すため、現地法人が個別に行っていた植林活動を統合し、2005年から『NEC之林』プロジェクトを開始した。『五輪のために美しい都市を創ろう』との決意の下、2005年から2009年までの5年間で、北京だけで3,000名以上の従業員が参加し合計5,000本を植樹した。更に延慶県林業局と連携することで、植樹した木が確実に育つよう植林後のサポート体制も整え98%の生育率を達成した。従業員の環境意識を高めるため、上海や香港でも植樹活動を行っている。	延慶県林業局
日本、中国及び世界各地のNECグループ会社	NECグループは四川大地震の被害に対し、寄付・製品寄贈、社員義捐金など総額5,000万円超を支援した。日本国内NECグループ57社の従業員による義捐金・約900万円(約60万円)は、日本赤十字社に寄付した。中国地区では、NECグループ現地法人38社から1万人を超える従業員が寄付活動に参加し、会社からの寄付と併せて約210万円が集まった。他にも世界各地で寄付活動を展開した。義捐金は赤十字やユニセフなど救援NGOに寄付。	中国赤十字協会等
江西省黎川県	江西省黎川県の小学校の寄宿舎の建設費用を支援。また、毎年運道具、寄宿舎用の布団などを寄付。	中国青少年發展基金会
日本(研究の実施)、北京(選考場所)	中国の代表的なシンクタンクの若手研究者の日本での研究の支援。	国務院發展研究センター、社会科学院、發改委マクロ經濟研究院、商務部研究院
香港	日立グループの従業員がボランティアで題記イベントへ参加し、参加者の数に応じて会社がコミュニティチェストへ寄付。	コミュニティチェスト
深圳市内	毎年リコー華南グループ関連会社の共同活動による、植樹活動。	
所在地域	工場周辺への清掃活動などにより、環境活動に貢献。	
社内	全社的に募金活動を行い、30万円弱の義捐金を深圳市赤十字經由被災地へ寄付済み。	

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
中国日本商会	理光軟件研究所(北京)有限公司	自然災害時での募金活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		環境保全に関する啓蒙活動	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		植樹活動	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
天津日本人会	天津太平洋汽車部件有限公司	寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
	富士通天国際貿易(天津)有限公司	植樹活動 魚放流活動	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア
		四川大地震に寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
東莞長安鎮日商企業連絡事務所	惠州南油林業経済発展有限公司	地元小学校における絵画コンクール	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
南京日本商工クラブ	名古屋銀行 南通事務所	日本への留学生の授業料負担	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
南通日本人会	NEC東金電子(呉江)有限公司	四川大地震募金活動	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア
		会社周辺の清掃活動	地域社会活動	社員ボランティア
		献血活動	医療・社会福祉	社員ボランティア
		孤児・身体障害児の専門機関「社会福祉院」への物品支援	医療・社会福祉	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア
	オルガノ(蘇州)水処理有限公司	環境対象論文「オルガノ賞」の設置と表彰者への奨学金授与	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	奥得時精密電子(蘇州)有限公司	四川地震災害支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
	吉田建材(蘇州)有限公司	環境社会活動	環境	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	三光化成塑膠(蘇州)有限公司	市内公園清掃活動	地域社会活動	社員ボランティア
		四川大地震に対する義捐金拠出	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		四川大地震に対する災害見舞金寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		蘇州市内公園清掃	地域社会活動	社員ボランティア
	三洋能源	地元小学校での環境授業。	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		四川大地震復興支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
三洋バスケットエネルギー杯		教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	
地区運動会		教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)	
蘇州エプソン	障害者雇用	医療・社会福祉	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	

活動場所	活動概要	関係団体
会社内	大地震発生時における募金活動。	中国日本商会
北京日航新世紀飯店	環境保護に関する活動を紹介して、その重要性を主に学生に認識してもらい、日常の活動を変えてもらう。	中日電子政府応用技術協会
北京市内の植樹活動が必要な場所	毎年、環境の日に合わせて植樹活動を行う。	
社内	四川大地震への被害者への寄付金	
河西区有誼南路と珠江道の間 劉庄橋北側海河の西側	会社は河西園林局と水産研究所に寄付して、社員が植樹活動と魚放流活動に参加。	河西園林局 天津水産研究所
天津市紅十字会	四川大地震に支援するために、天津市紅十字会に寄付。	天津市紅十字会
主に広東省紫金市藍塘県などの事業地で山村の分校などへの支援を意識している	地域の小学校における絵画コンクール実施を提案、支援。	地元鎮政府、地元小学校
愛知県	南通市出身の南山大学(名古屋)への留学生のうち、毎年1名の授業料を負担。	
社内	四川大地震救援のための募金活動。NECグループ総体的な活動	NECグループ
会社周辺	会社周辺の環境改善のため、塵拾い等の清掃を行う。	NECグループ全世界一斉の社会貢献活動として実施
社内	社員より無償献血を実施。	
呉江市の孤児・身体障害児の専門機関である社会福利院	社員に募金を募り、ミルクやおむつ等の必要品を購入し支援。	
蘇州他	環境対象論文を対象とした「オルガノ賞」を設置。優秀な論文を表彰し奨学金を授与。	中国科学技術院 蘇州工業園区管理委員会
社内	四川地震災害の助勢として、社内で寄付金を募り援助支援。	NPO
自社建物、提携小中学校、外部施設	蘇州工業園区内の小中学校と提携し、社外外部環境活動への参加、学生への環境勉強会の実施、蘇州工業園区主催の蚤の市への参加等。	蘇州工業園区
蘇州新区内の公園(場所は毎年変わる)	毎年秋に市内の公園のゴミ拾いを、社員のボランティアとして実施。	
蘇州新区	四川大地震の義捐金として、社内で寄付を募り、集まった寄付と同額を会社が拠出。合計を紅十字会を経由して寄付。	蘇州市紅十字会
社内	四川大地震に対する災害見舞金で、社員の寄付金と同額を拠出して、蘇州市紅十字会に贈呈。	
蘇州市内で会社近辺の公園	毎年10月に蘇州市内の公園のゴミ拾いを社員有志(60名くらい)で行う。	
小学校	地元の小学校で環境を大切に教育授業を実施。	小学校
四川 綿竹市	被災地訪問、寄付金、製品提供。	蘇州市政府
社内	地元対象のバスケットボール大会を開催。	地元政府
地元小学校	地元の運動会に寄付金贈呈。	地元政府
	障害者雇用を目的とする防塵服クリーニング部門を設立。 <a href="http://www.epson.jp/osirase/info070518.htm">http://www.epson.jp/osirase/info070518.htm</a>	

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
南通日本人会	蘇州エプソン	献血活動:会社で毎年実施	医療・社会福祉	社員ボランティア
		清掃活動 老人ホーム慰問 等	地域社会活動	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	蘇州井上中鼎弁公機器製品有限公司	四川大地震に関する活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
	蘇州松下系統科技有限公司	四川大地震に関する資金支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
	蘇州松下電工有限公司	四川大地震義援金活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		地域への植樹活動	環境	社員ボランティア
		公共場所の清掃活動	地域社会活動	社員ボランティア
蘇州富士膠片映像機器有限公司	緑の協力隊	環境	社員ボランティア	
		献血活動	医療・社会福祉	社員ボランティア
武漢日本商工クラブ	東風本田汽車	小学校建設	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
	武漢東芸建築設計有限公司(株式会社AO竹田設計)	四川大震災に寄付金	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		1998年武漢大洪水に寄付金2万元	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		希望工程に寄付金、物品寄贈、ボランティア	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
	理研汽车配件(武漢)有限公司	四川大地震に関する活動	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		武漢市貧乏家庭の重病生徒を支援する活動	人道支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
艾迪系統開発(武漢)有限公司	华中科技大学ソフトウェア学院「日本ID奨学金制度」	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	
	湖北経済学院計算機学院「ID日本語講座基金」	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	
北京日本人会	マツダ(中国)有限公司	四川大地震被災地への支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
	華鐘コンサルタント	四川省地震関係の義捐	地域社会活動	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		華鐘希望小学校建設と奨学基金	地域社会活動	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		アイセック	国際交流・協力	見学場所を提供している
	三菱電機空調映像設備(上海)有限公司	中国希望工程プログラムに則った、貧困地区への学校建設支援	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
上海華鐘投資コンサルタント	華鐘希望小学校建設と奨学基金	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)	

活動場所	活動概要	関係団体
会社内	従業員ボランティアによる集団献血奉仕。	蘇州市赤十字社
会社内	社員ボランティアによるゴミ拾い 社員ボランティアによる老人ホーム慰問 等	
会社	2008年5月四川地震への災害支援として、現地法人を代表として会社全員が寄付金合わせて1.3万円を寄付。	会社従業員
	四川大地震時に会社から8万円の資金支援を実施、また社員から7万円の寄付。合計で15万円の資金支援を実施。	
	四川大地震義援金活動	
蘇州近郊の山林	地域への植樹活動	
工場周辺	公共場所の清掃活動	
恩格貝・左翼后旗	中国砂漠化を抑制し、緑の大地を復活させるための植林活動を実施。	フジの森・緑化ネットワーク・SSASS
会社内	社員を対象に医療貢献の見地から毎年献血を行う。	蘇州市血防中心
東風本田勵志小学校	小学校建設費用を支援。	東風ホンダグループ
社内	会社、社員による現金寄付。	中信集団武漢市建築設計院
市民政局	98年武漢大洪水時、市民政局に2万円寄付。	
クラブ総会や忘年会	武漢日本商工クラブが主催した希望工程に協力	武漢日本商工クラブ
湖北省武漢市経済技術開発区	四川大地震で被災した地域に対し10万円を資金支援。	湖北省武漢市赤十字会
湖北省武漢市	武漢市において貧困層家族の重病生徒に対し10,000円を資金支援。	武漢市赤十字会 武漢市教育局
各大学	学費の支払いが困難な大学生を対象に、学費、生活費、実習、就業の機会を提供、支援。	武漢市人民政府
各大学	コンピューター技術専攻の大学生を対象に、大学内に日本語講座を新設し、講座運営資金を支援。	武漢市人民政府
四川・上海	マツダグループとして、義捐金を寄付。その後、上海赤十字社を通じて災害支援用の車両を1台寄付。	上海赤十字社
四川榮經県及び汶川	汶川孤児に18万円を支援し、四川華鐘希望小学校の設立に50万円を支援。	
上海青少年發展基金会	華鐘希望小学校を対象にして、上海青少年發展基金会の奨学金に毎年10万円を支援。	
自社	国際交流。	
安徽省六安市霍山県	希望工程に寄付を実施し、貧困地区への学校建設(08年度にて資金提供)。	安徽省希望工程弁公室、安徽省青少年發展基金
内蒙古自治区、雲南省、四川省	華鐘小学校の設立、奨学金プログラムに毎年10万円を上海青少年基金会にて資金支援。	

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
北京日本人会	上海華鐘投資コンサルタン ト	四川省地震関係の義捐	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		アイセック	国際交流・協力	見学場所を提供している
	上海林内有限公司	敬老愛幼活動	人道支援	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
	清水建設(中国)有限公司	地下鉄駅構内整列要員・交差点交通指導員などの社員ボランティア	地域社会活動	社員ボランティア
	村田(中国)投資有限公司	大学生への奨学金援助	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		四川大地震への寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
	東洋工程(上海)有限公司	近隣小学校へのPCの寄贈及びトレーニングの実施	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		インターンシップ	教育・スポーツ	インターンシップ
		四川大地震への寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		日本航空 上海支店	上海市大学生日本語弁論大会活動支援	教育・スポーツ
	日立建機(上海)有限公司	内モンゴルの砂漠緑化活動	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)
		小学校建設一部支援	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
廊坊日本人会	華昇富士達電梯有限公司	中国児童少年基金会「春の蕾」	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
厦門日本商工倶楽部	東芝照明(福州)有限公司	近隣小学校への寄贈	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)
		献血活動	人道支援	献血
		植樹活動	環境	植樹
		四川大地震への寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		台湾への台風被害への寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
烟台・威海日本人会	烟台矢崎汽車配件有限公司	四川大地震寄付	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		地域住民公開イベント	教育・スポーツ	自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
		外部植樹活動への参加	環境	社員ボランティア
		老人ホーム慰問	地域社会活動	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
		身障者児童村の慰問	地域社会活動	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
		低所得児童への学費支援	地域社会活動	資金支援(寄付金・協賛金等)
蕭山日商クラブ	愛信精機(佛山)自動車部品	老人ホームのボランティア活動(09年7月)	医療・社会福祉	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
	吉田拉鏈(深圳)有限公司	四川大地震への義捐金	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)

活動場所	活動概要	関係団体
雅安榮經県	華鐘小学校の設立、汶川孤児にそれぞれ50万円、18万円を資金支援した。	
自社	国際友好交流及びさまざまな社会活動を実施している。	アイセック
中国全土	商業性を持たない幼稚園、老人ホームと子供のいない老人宅、障害を持つ軍人宅、低所得家庭への林内ガス器具の無料設置、無料点検、無料手入れ(一部の部品交換は有料)サービスを継続的に実施。	上海ガス集団
シュウジャファイ駅地下鉄構内及び同区における交差点。	区の要請に応じて地下鉄駅構内での整列指導活動や、交差点での交通指導員活動を行う。	シュウホエ区
大学	貧困学生への支援。	四川大学・中国科学技術大学・浙江大學・武漢大学
上海(他中国現地法人も実施)	社員から寄付を募り、同額を会社がプラスして寄付。	赤十字
Wanliao Primary School in Shanghai	近隣小学校へのパソコンの寄贈及び基本的な操作方法的先生へのトレーニング実施。	
上海本社	中国人大学生に対してインターンシップを実施。	
上海	四川大地震に関して20万円を寄付。	赤十字社
上海市	上海市大学生日本語弁論大会(年1回開催)に航空券の支援。	上海市教育委員会
内モンゴル自治区通遼市のホルチン砂漠	緑化ネットワークに業務を委託し、村民の方々と一緒に緑化、砂漠防止活動を実施(年に1度は現地ホルチン砂漠へ向向き、又、緑化ネットワークの報告書等にて状況把握に努めている。毎年少しずつ緑が増えてきている。)	緑化ネットワーク(NPO団体)
山東省臨沂市開発区	地域社会貢献を代理店共同で実施することを考えていた際、弊社子会社が修理工場を新設する臨沂の地方政府幹部から話があり、図書館・パソコン教室・食堂(計280㎡)及びグラウンド建設、校舎(教室棟)塗り替え等の費用を寄付。	主催企業:山東省青少年發展基金 共同会社:青島誠日建機有限公司
四川省平昌	中国児童少年基金を通じて女子50名の中学教育支援(10万円)および文房具等を寄付。	中国児童少年基金会
横嶼小学校にて	近隣の小学校へ文房具等の寄贈。	
会社内	献血活動を定期的実施。	
近隣公園	近隣の公園等での植樹活動。	
会社内	会社から1万円、個人寄付で約1万円を寄付。	赤十字
会社内	台湾台風被害に対して5千円の寄付。	市政府
現地法人	会社、工会、従業員にて義捐金(300千円)を寄付。	民生局
福山区河辺広場	毎年8月に福山区公園にて『矢崎の夕べ(文芸会)』を企画し地域社会との融合を図っていたが、本年は福山地区公安と協同主催にて交通安全啓蒙活動を企画実施。	福山区総工会、烟台市公安局福山分局交警大隊
解甲鎮 治頭南山	イオングループ主催の植樹活動に、出向者、家族、ローカルスタッフ総勢20名程度で参加。	イオングループ
烟台市福山区回里鎮	毎年旧暦9月9日(重陽節)前に会社、工会約15名で老人ホームを慰問。10,000元程度の生活設備寄贈と会社の文芸部による催し物。	
烟台市福山区張格庄鎮	毎年6月1日児童節前に会社、工会約10名で身障者児童村への慰問。お菓子等のお土産と児童村の生活環境改善用設備7,000元程度を寄贈。	
福山区小学校	低所得児童を対象に学費支援(小学校~高校卒業まで2,500元/年)。	福山区民政局
老人ホーム	保全スタッフが老人ホームへ訪問、電気製品の修理サービスを提供する活動。	
	会社および従業員による義捐金を募り、深圳市赤十字会等に265,566元を寄付。	

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
蕭山日商クラブ	吉田拉链(深圳)有限公司	広東省水害対策義捐金	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		深圳市の海岸清掃活動	地域社会活動	社員ボランティア
		植樹活動	環境	社員ボランティア、植樹活動
		広東省環境保護基金	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)
	广汽本田汽車有限公司	植林活動	環境	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
		安全運転普及活動	交通安全	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
		各種寄付金寄贈や献血活動	地域社会活動	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア
	広州	日中交流サロン	国際交流・協力	資金支援(寄付金・協賛金等)、社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	廣州曙光制動器有限公司	四川大地震復興支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		植樹活動	地域社会活動	植樹活動に参加
		社員による植樹活動の推進	地域社会活動	社員ボランティア、自主企画による事業の実施(イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	三井住友海上火災保険(中国)広東支店	広東省国際諮問会議への参加と、広東省に対する提言	国際交流・協力	広東省に対する提言
		中山大学冠講座への参加	教育・スポーツ	講演
	三菱商事(広州)有限公司	陽春市合水鎮三菱商事希望小学校建設援助	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
		海豊県三菱商事希望小学校建設援助	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
		清遠地区連山三菱商事希望小学校建設援助	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)
		2007年度清遠連山県太保希望小学校教育設備支援	教育・スポーツ	物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
		2008年度、汕尾市海豊県三菱商事希望小学校運動場改善及び教育設備支援	教育・スポーツ	資金支援(寄付金・協賛金等)、物品寄贈やサービス、施設の提供(自社製品・サービスの提供、各種事業等)、社員ボランティア
		希望小学校優秀学生代表及び先生の広州視察招待	教育・スポーツ	社員ボランティア
		貴州黔东南植林活動	環境	社員ボランティア

活動場所	活動概要	関係団体
	2005年広東省水害対策義捐金5万元(深圳市福永街道) 2006年台風寄付金10万元(深圳市福永街道)。	深圳市福永街道
深圳市海岸	深圳市の海岸清掃活動(従業員有志(48名)によるボランティア活動)	
深圳市内の公園	2004年 植樹活動 樹木50本 5万元 (架山公園) 2005年 植樹活動 樹木180本 10万元 (蓮花山公園) 2006年 植樹活動 樹木50本 2万元 (中心公園) 2007年 植樹活動 樹木376本 12万元 (大沙河公園) 2008年 植樹活動 樹木200本 8万元 (南山公園) 2009年 植樹活動 樹木200本 8万元 (大沙河公園) 2010年 植樹活動 樹木100本 3~4万元 (PLAN)	深圳市
	2006年環境保護を目的に環境保護基金会上に寄付(10万元) 2007年環境保護を目的に環境保護基金会上に寄付(10万元)。	広東省環境保護基金会
華北地域	砂漠化が進む華北地域での植林活動。	地方政府
広州・北京・上海・成都等	安全運転知識の啓発と教育。	
会社内(広州を中心)	大規模災害時に随時、従業員とともに寄付金寄贈を実施。	
広州市内の喫茶店	広州の地元の大学にある日本語学科の学生と日本人ボランティアの交流会を運営。日本に興味、関心を持っている学生が「生」の日本人と接する機会は極めて少ない。一方、日本人には中国人と交流したいと思っているがきっかけがない、中国語がしゃべれない、など気持ちはあるが実現できていない人も多い。この2つのニーズを組み合わせた交流会を07年12月よりスタート、毎月1回のペースで開催。休日の2時間程度、喫茶店を借切って、小グループ(日本人数人+学生数人)に分かれて自由なおしゃべりを楽しんでいる。会話は日本語が中心。毎回、約50名が参加。毎回の費用(ドリンクと軽食)を当社が負担している。日本人メンバーは広州総領事館員、広州日本人学校教員、民間企業の駐在員など様々で、合計40名ほど。毎年秋には広州総領事館が主催する「Japan Day」にも参加している。	
会社内	四川大地震発生後、会社の人事総務部が主体となり、従業員から募金をしてもらい、それらを赤十字社に献金した。	広州赤十字
開発区内	地区に於ける環境緑化の一環として、会社の周辺で植樹活動を行った。	開発区役所
会社の所在地である番禺区内にて。	自然環境の改善・保護をめざし、会社の所在地である番禺区内にて植樹活動を定期的に行う。	
広東省政府	広東省長に対して、広東省の経済発展の為の提言実施と、諮問会議への参加。(日本本社社長)	広東省人民政府
中山大学	広州日本商工会、広州日本総領事館による中山大学冠講座の第7回目について、中国現地法人 南董事総経理が講演。	広州日本商工会 広州日本総領事館
陽春市合水鎮	2002~2003年、陽春市合水鎮三菱商事希望小学校に対して、建設援助。	
汕尾市海豊県	2003~2004年、海豊三菱商事希望小学校に対して、建設援助。	
清遠地区連山	2004~2005年、清遠地区連山三菱商事希望小学校に対して、建設援助。	
清遠市連山県	2007年、清遠市連山県太保希望小学校に対し、合計約10万元の図書、黒板、本棚等の教育設備を寄付。	
汕尾市海豊県	海豊県三菱商事希望小学校に対し、約15万元を運動場の改善の支援、及び体育用品、図書に寄付。	
広州	2009年9月に、援助した清遠市連山県太保希望小学校、海豊県三菱商事希望小学校、陽春市合水鎮平北三菱商事希望小学校の優秀学生代表及び先生合計12名を広州に招待。ヤクルト工場、科学センター見学等を行った。	
貴州	2009年2月に、社員4名が三菱中国植林活動に参加し、貴州黔東南で植林。	

商工会議所	企業名	活動事例	活動分野	活動形態
		名称		
蕭山日商クラブ	佛山東海理化汽車部件有限公司	近隣老人ホームへの寄付 現地小学校に奨学基金の設置	地域社会活動	社員ボランティア、自主企画による事業の実施 (イベント、奨学金プログラム、各種事業等)
	佛山日克耐熱材料有限公司	四川への義捐金	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
	广州从化科昂诗汽车配件有限公司	四川大地震の支援	災害支援	資金支援(寄付金・協賛金等)
		『従化十五年』記念本の作成 資金に献金した	地域社会活動	資金支援(寄付金・協賛金等)

活動場所	活動概要	関係団体
近隣老人ホーム 現地小学校	近隣老人ホームへの慰問と寄付贈呈を実施 現地小学校の成績がよいが家庭が貧しい生徒を対象に、資金を支援。(09年実績5000元、以後は未定)	
	四川への義捐金	
会社内	現地企業として四川大地震に献金したと同時に、会社の中で社員を招集して献金を募った。	
『従化十五年』編委会	従化市成立15周年を記念するために、『従化十五年』記念本の作成資金に献金。	

## 中国における日系企業の 社会貢献活動に関する調査報告書 [第3回調査]

---

2010年9月発行

---

●発行 国際交流基金  
〒106-0004 東京都新宿区四谷4-4-1  
Tel. 03-5369-6061 Fax. 03-5369-6037  
URL <http://www.jpff.go.jp/>

---

●デザイン trans>act 高田嘉幸

---

●DTP TSY 林猛夫

---

●印刷・製本 相和印刷株式会社

---

本書の一部または全部を無断で複写、複製、引用することを禁じます。  
乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Printed in Japan ©2010 The Japan Foundation  
ISBN 978-4-87540-125-4





JAPAN FOUNDATION



国際交流基金 The Japan Foundation

事業開発戦略室

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1

tel: 03-5369-6061 fax: 03-5369-6037

4-4-1 Yotsuya, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0004, Japan

URL [www.jpf.go.jp](http://www.jpf.go.jp) E-mail: [csr@jpf.go.jp](mailto:csr@jpf.go.jp)

ISBN978-4-87540-125-4

定価1,000円 本体952円

